

明治四十三年三月三十一日

極秘

外交要報

第十二號

外務大臣官房

分
A
庫
番

7-0179

0127

外交要報第十二號

(明治四十三年三月三十一日)

目次

- 「アルソップ」會社要償ニ關スル件……………(在米内田特命全權大使報告)……………一
- 露國外交ト輿論附米國提案ニ對スル露國新聞ノ論調ニ關スル件……………(在露落合臨時代理大使報告)……………一
- 清國郵傳部經營事業報告ニ關スル件……………(在清伊集院特命全權公使報告)……………四三
- 比律賓群島新總督施政方針演說進達ノ件……………(在「マニラ」岩谷副領事報告)……………五一
- 蘭領「ボルネオ」島東南部視察報告中機密ニ涉ル事項(在「パタビヤ」芝間)……………(在外務書記生報告)……………七九
- 安重根外三名ニ對スル判決……………一〇一

外務省
官印
圖書館
41.7.27

外交要報第十二號(明治四十三年三月三十一日)

○「アルソツプ」會社要償ニ關スル件

○公第二二七號(明治四十二年十一月三十日附)

小村 外務大臣

在 米 内田 全權大使

久シク智利國ト當國トノ間ニ懸案トナリ居タル「アルソツプ」要償案件ハ客秋以來又々米智兩國間交渉問題トナリ爲メニ一時ハ暫ク兩國々交ノ斷絶ヲ見ントスル迄ノ危機ニ迫リタルカ結局相方ノ交讓ニ依リ今般英國皇帝陛下ノ仲裁ヲ仰クコトニ兩國間ノ協議成立候間御參考迄高橋三等書記官ノ調査ニ係ル本件從來ノ顛末同封差進候間御一覽相成度此段中進候敬具

「アルソツプ」會社要償案件顛末

「アルソツプ」會社(Trade & Co.)ハ千八百七十年十二月三十一日ヲ以テ成立シ當時十人ノ社員ヲ以テ組織シタリ内七人ハ有限責任社員ニシテ三人ヲ無限責任社員トス十人ノ社員悉ク米國市民ニシテ内二名ノ無限社員カ智利國 Valparaiso ニ住所ヲ有スルノ外他ハ悉ク米國ニ住所ヲ有シ居タリ而シテ同社ハ智利國 Valparaiso 於テ Society "en comandita Simple"トシテ登記ヲナシ且ツ同地ニ住所ヲ置ケリ「アルソツプ」會社ハ Pedro Lopez Gama トイフモ

○「アルソツプ」會社要償ニ關スル件

○「アルソツツ」會社要債ニ關スル件

ノニ對シ米貨一百萬弗以上ノ立替ヲナシ(多分「ボリヱイア」政府ニ於テ同人ヲ通シテ「アルソツツ」會社ヨリ借款シタルモノナラム)其代償トシテ Gama 同人自身カ「ボリヱイア」政府ヨリ得タル或要求ト權利トヲ千八百七十五年四月「アルソツツ」會社ニ讓渡シルカ同會社ハ翌年清算ニ付セラレ無限責任社員 John Wheelwright ナルモノ他ノ社員等ヨリ清算人ニ指名セラレ右「ホイールライト」ニ於テ盡力ノ結果同人ハ「ボリヱイア」政府ト左ノ趣旨ノ契約ヲ千八百七十六年十二月二十六日ヲ以テ締結スルコトヲ得タリ

即チ(一)「ボリヱイア」國政府ハ「アルソツツ」會社ニ對シ「ボリヱイア」銀貨八三五、〇〇〇弗ノ元金及本契約調印ノ日附即チ七十六年十二月二十六日ヨリ右元金ニ五分ノ利ヲ付シ支拂フコトヲ約ス尤モ右利息ニハ復利ヲ付セサルモノトス而シテ之カ支拂ノ方法トシテハ「ボリヱイア」及「ペルー」兩國間ニ於テ當時有効ノ稅關條約カ消滅スヘキ日附以後 Arica (當時「ペルー」領)所在ノ Northern Custom-House ノ收入中ヨリ「ボリヱイア」カ取得スヘキ分前ヨリ「ボリヱイア」銀貨四〇五、〇〇〇弗ヲ控除セル殘額(前記四〇五、〇〇〇)「ボリヱイア」弗ハ當時前記稅關條約ノ下ニ「ボリヱイア」カ「ペルー」國ヨリ年々領收シ居タル額ナリ)ニ對シ「ホイールライト」ハ二ヶ月毎ニ手形ヲ振出スコトヲ得但シ右支拂方法ハ前記稅關條約カ兩國ノ間ニ更新セラル、カ若クハ「ボリヱイア」ノ National Custom-House カ再設セラレタル場合ニ行フヘキモノトス(二)尙他ノ支拂方法トシテ「ボリヱイア」國海岸縣ニ於テ同國政府ニ所屬ノ一切銀礦 (Flor del Desierto 礦ヲ除ク)ノ純益ノ四割ヲ右元金及利子ノ支拂ニ宛ツルモノトス Flor del

Desierto 礦純益ノ五割並ニ「ホイールライト」カ選擇スヘキ他ノ一礦ノ純益ノ四割ヲ以テ右元金ニ對シ千八百七十六年以前ニ生シタル利子ノ支拂ニ充當スヘキモノトス而シテ右二礦ノ收入ニヨリ右利子ヲ支拂フニ足ラサルトキハ同利子ヲ免除スヘキモノトス「ホイールライト」ハ三年以内ニ採掘セムトスル礦ヲ選擇スルコトヲ得本契約ノ期限ハ之ヲ二十五ヶ年トシ負債償却ノ殘餘ハ之ヲ「ボリヱイア」ニ返納スヘキモノトス

以上ハ「ホイールライト」ト「ボリヱイア」國大藏大臣トノ間ニ締結セラレタル契約ノ要旨ニシテ千八百七十八年二月「ボリヱイア」議會ニ於テ承認セラレタリ

然ルニ千八百七十九年ニ到リ一方ニ於テハ智利國ト他方ニ於テハ「ボリヱイア」及「ペルー」國トノ間ニ戰爭起リ智利ハ前記契約ニ規定セル礦山所在ノ「ボリヱイア」領並ニ「アリカ」稅關所在ノ「ペルー」領ヲ共ニ占領シ千八百八十四年十一月二十四日智利「ボリヱイア」間講和條約ニヨリ「ボリヱイア」ハ Antofagasta 縣(前記礦山所在地)ヲ智利國ニ割讓シ同年二月四日「ペルー」及智利間ノ條約ニテ「ペルー」ハ智利ニ Tarapaca, Taona 及 Arica 諸地方ヲ割讓シタルカ右ノ事情ニテ「アリカ」稅關ハ「アルソツツ」會社カ「ボリヱイア」政府トノ契約ニヨリ之レカ收入ヨリ一金ヲ引出サ、ルニ先チ智利ノ占領スル所トナリ又同契約ニ規定ノ銀礦モ智利政府ノ干渉ニヨリ採掘スルヲ得ス千八百八十二年銀礦ニ關シ智利國裁判所ニ訴出テタルモ不利少判決ヲ蒙リタリ

○「アルソツツ」會社要債ニ關スル件

千八百八十年ヨリ千八百八十三年ニ到ル迄智利國ハ「アリカ」稅關ヨリ「ボリヱイア」ニ屬スヘ

○「アルソップ」會社要債ニ關スル件

四

キ一切ノ稅關收入ヲ占領シ千八百八十三年ヨリ千八百九十二年ニ至ルマテ智利「ボリヱイア」間ノ休戰條約ニヨリ智利ハ「ボリヱイア」ニ毎年右收入ノ三割五分ヲ拂渡シ四割ヲ「ボリヱイア」ノ計算ニ於テ「ボリヱイア」ニ對スル智利人債權者(尤モ「アルソップ」會社ヲ包含セス)ノ支拂ニ充當シ残り二割五分ハ智利國自身ノ用ニ供シタリ而シテ右ニ關シ「アルソップ」會社側ノ取調ニヨレハ右條約ノ規定ニヨリテ「ボリヱイア」政府ノ手取セル三割五分ヨリ「アルソップ」會社ト「ボリヱイア」政府間契約ニ見ユル四〇五、〇〇〇「ボリヱイア」弗ノ年額ヲ差引クトキハ殘餘ヲ以テ「アルソップ」會社ニ對スル「ボリヱイア」ノ負債元金ヲ支拂フニ足ラス況ンヤ利子ニ及フト能ハス然ルニ千八百八十年ヨリ千八百八十三年ニ到ル迄智利ノ占領シタル金額並ニ千八百八十三年以後智利ノ取得セル二割五分並ニ智利人債權者ヘノ支拂ニ當テラレタル四割ヲ合計スルトキハ毎年四〇五、〇〇〇「ボリヱイア」弗ヲ控除スルモ尙「アルソップ」會社ノ債權ヲ數倍辨濟スルニ餘リアリト言ヘリ

以上ハ米國及智利間ニ於テ「アルソップ」會社案件ト稱スルモノヲ生シタル原因ナリトス
千八百九十二年八月七日米國智利間ニ調印ノ協約ニヨリ當事國一方ニ屬スル市民カ他方政府ニ對スル要債ハ一切之ヲ三名委員ニ附托スルコトニ定メラレタルヲ以テ(別紙甲號參照)合衆國代表者ハ「アルソップ」會社案件ヲ合衆國市民ノ智利國政府ニ對スル要求ノ一トシテ委員會(United States and Chilean Claims Commission)ニ提出シタルカ委員會ハ之ヲ審理スルノ權限ナシトシ却下シタリ千八百九十七年ニ到リ更ニ兩國間ノ協約ヲ以テ千八百九十二年ノ協

約ヲ復活シ本件ハ再ヒ三名ヨリ成ル委員會ニ提出セラレシカ委員會ハ「アルソップ」會社ハ智利國法人即チ同國市民ナルヲ以テ智利國市民ノ同國政府ニ對スル要債ハ委員會ニ於テ審理スルノ權限ヲ有セストテ再ヒ本件ヲ却下セリ右ノ決定ニ署名シタルモノハ三名ノ委員中智利國及瑞西國ノ兩委員ニシテ米國委員ハ反對ノ意見ヲ公ニセリ(「アルソップ」會社カ委員會ノ前ニナシタル一定ノ申立ハ智利國政府ノ不法ナル干渉ヨリ生シタル損害ニ對シ要債ヲナスト言フニ在リタリ)

今委員會決定ノ趣旨ヲ叙スルニ先チ米國委員ノ反對意見ノ結論ヲ舉クレハ第一、凡ソ團體若ハ會社ハ一國主權者ノ特許若ハ命令ニヨリ創設セラレタル場合ニノミ國籍ヲ取得スルコトヲ得ルモノニシテ殊ニ營利ヲ目的トスル團體若ハ會社カ一國ノ國籍ヲ受ケントセハ右ノ外團體トシテ不死ノ生命ナカルヘカラス然ルニ本件「アルソップ」會社ハ英米普通法ニ所謂 Partner-ship ニ準スヘキモノニシテ兩者何レノ條件ヲモ具備セサルヲ以テ智利國市民ト認ムルコトヲ得ス從テ本件ハ「アルソップ」會社々員タル米國人ノ智利國政府ニ對スル要求ナリ第二、本件ノ落着ニヨリ直接ノ利害ヲ感スルモノハ言フ迄モナク「アルソップ」會社々員タル米國人ナリ殊ニ本件顯出人米國人 Henry Channey (前顯「アルソップ」會社清算人 Wheelwright) ハ其後死亡シ千八百九十三年 Henry S. Prevost 代リテ清算人トナリ同人カ自己代理人トシテ Henry Channey ヲ任命シ委員會ニ出頭セシメタリ)ハ事實上「アルソップ」會社ノ債權債務ヲ引受ケタルヲ以テ本件ハ平衡ノ點ヨリ見ルモ米國人ノ要求ト認メ委員會ニ於テ救濟ヲ與ヘ

○「アルソップ」會社要債ニ關スル件

五

サルヘカラスト云フニ在リ
右ニ反シ委員會多數ノ決定ハ願出人 Henry Chancery ハ清算中ノ「アルソツツ」會社ノ清算人 Henry St. Prevost ノ代理人ナリ而シテ「アルソツツ」會社ハ智利國法ノ下ニ創設シ且ツ登記セラレタル Society "en Comandita Simple" (我合資會社ニ相當ス) ニシテ智利國ニ住所ヲ有セリ而シテ Society "en Comandita Simple" ハ智利國法ニヨリ法人ナルカ故ニ「アルソツツ」會社ハ智利法人ナリ且ツ凡ソ會社ハ清算中依然存在スルモノト法理上認メラレ居ルヲ以テ清算中ノ「アルソツツ」會社ハ依然人格ヲ保有シ從テ一個智利市民タルヲ失ハス故ニ本件ハ智利市民ヨリ同國政府ニ對スル要求ナレハ千八百九十二年協約第一條ニヨリ委員會ニ於テ之ヲ管轄スルノ權ナシト言フニ在リ(別紙甲號並ニ乙號參照)而シテ委員會決定文ノ末尾ニ左ノ趣旨ヲ附言セリ曰ク委員會ハタトヘハ Cerruti 案件(本件ニ關シテハ後ニ説明スル所アルヘシ)ノ如キ場合ニ於テハ外交手段ニヨリテ會社財産ニ對シ加ヘラレタル損害ニ對シ會社ノ社員タル個人ニ正當ニ救濟ヲ與ヘ得ヘキコトヲ否定スルモノニ非ス本決定ハ單ニ千八百九十二年協約第一條ニヨリ本會ニ管轄ノ權ナシトスル趣意ニ止マリ願出人若クハ「アルソツツ」會社若ハ其清算人カ外交手續ニヨリ若ハ智利國政府又ハ智利國裁判所ノ前ニ主張シ得ヘキ權利ニ影響ヲ及ホスモノニ非ス將又本決定ハ本件請求ノ實質的價值ニ毫モ傷害ヲ來スコトナシ現ニ智利國代表者提出ノ準備表面ニ依レハ本件請求ハ智利國政府カ「ボリヱイア」ノ計算ニ於テ支拂フコトヲ約スル債務ノ一ナリ智利國政府ハ今日ニ至ルマテ本件ヲ「ボリヱイア」政府カ願出人

ニ對シ負擔セル債務ノ一ト認メ來レリ而シテ多年「ボリヱイア」ト智利トノ間ニ談判ヲ重ネタル確定講和條約ニ調印スル様「ボリヱイア」政府ヲ決意セシムカ爲ニ智利國政府ハ講和條約調印ノ代償ノ一部トシテ智利國政府カ「ボリヱイア」國政府ニ代リ本件其他ノ要求ニ應シ支拂ヲナサムコトヲ申出ツルモノナリコレ從來智利國政府ノ本件ニ對スル立場ニシテ今日ト雖トモ敢テ異ナルコトアラス故ニ「ボリヱイア」ニシテ講和條約ニ調印スルニ於テハ該條約ノ下ニ智利國ハ迅速ニ本件其他ノ支拂ヲ了シ以テ「ボリヱイア」ヲシテ其責ヲ免カレシムヘシト述ヘ居レリ既ニ斯ノ如ク智利國政府ノ證言アル以上ハ本件願出人ハ智利國政府ニ救濟ヲ求めテ可ナリト附言シ居レリ(註千八百九十五年五月調印ノ智利及「ボリヱイア」講和條約第一條ニ「アルソツツ」會社ニ對スル債務ハ智利ニ於テ支拂ヲ引受クルコトヲ規定シ居レリ(別紙丙號參照)

聊カ岐路ニ走ルノ嫌アレトモ右委員會決定文中ニ見エタル Cerruti 案件ハ本件ト類似スル所アレハ參考迄之ヲ説明スヘシ「セルナ」會社(Cerruti & Co.)ハ「コロムビア」國ノ Society "en Comandita Simple" (合資會社)ナルカ社員ノ一人タル「セルナ」(Ernesto Cerruti)ナルモノハ伊國人ニシテ事實上會社全財産ノ所有者ナリキ同人ハ「コロムビア」國ニ於テ革命ノ進行中中立ヲ破リタリトテ同人ノ關係セル「セルナ」會社全財産ハ或ハ破壊シ或ハ沒收セラレタルカ右ノ外「セルナ」自身監禁ヲ蒙ル等ノコトアリタレハ之カ爲伊國並ニ「コロムビア」間ニ不利ヲ生シ遂ニ外交關係斷絶スルニ至レリ同伴ニ關シ最初「コロムビア」政府ハ「セルナ」會社ハ自國

○「アルソツプ」會社要債ニ關スル件

八
法人ナルヲ以テ同會社財産ニ對スル損害ニ對シ「セルナ」ハ個人的ニ損害ヲ要求スルヲ得スト
主張セシカ「コロムビア」政府ハ結局事實上右主張ヲ拋棄シ「コロムビア」ハ少クとも平衡ノ點
ヨリ見テ「セルナ」會社ニ對スル「セルナ」個人ノ利益ニ損害ヲ與ヘタルコトヲ承認シ後ニ到リ
兩國政府ノ合意ニヨリ千八百九十五年本件ヲ米國大統領「クリーブランド」ノ仲裁ニ付シタル
モ右ノ事情ニテ已ニ其以前ニ「セルナ」個人ニ還付スヘキ財産中ニハ「セルナ」會社ノ財産ヲモ
包含スヘキコト双方ノ間ニ決定セラレ居リ且ツ仲裁々判官ニハ頗ル廣濶ナル權限ヲ賦與セシ
ヲ以テ仲裁々判ノ結果「セルナ」會社ノ財産ニ對スル損害ニ關シテモ「セルナ」ニ多額ノ賠償ヲ
與ヘタリト云フ

千九百四年十月二十日智利「ボリヱイア」間ニ調印ノ講和條約第五條ニヨリ智利ハ「二百萬」ペ
ソス「ヲ以テ」ボリヱイア「ニ代リ」アルソツプ「會社」要求其他債務兩三件ヲ辨濟スヘキコトヲ約
セリ(別紙丁號參照)右ハ條約ノ表向キノ文面ナルカ當時之ト同時ニ兩國間ニ秘密書東取交セ
ラレ右ニヨリ智利ハ「アルソツプ」會社ノ要求通り支拂フコトヲ約シ居タリ蓋シ智利ニシテ會
社ノ要求通り支拂フコトヲ引受ケサルニ於テハ合衆國ハ「ボリヱイア」政府ヲシテ支拂ノ責ニ
任セシムヘキコトヲ了解セシメタレハ「ボリヱイア」政府ハ智利國ヲシテ右ノ約束ヲナサシメ
タルナリト云フ當時他ノ債權者等ハ智利政府申出ノ解決法ヲ承諾シ夫レ々々落着シタルトモ
獨リ「アルソツプ」會社ハ應セザリシカ後ニ到リ右ノ秘密書面取交セアルコト發見セラレタリ
ト云フ(因ニ智利カ講和條約ニ依リ「ボリヱイア」ニ割讓セシメタル土地ハ米貨一億弗ノ價格

アリト云フ

本件ハ其後引續キ合衆國ト智利國トノ間ニ外交談判ノ目的トナリシカ智利國政府ハ自ラ支拂
フヘキ義務アルコトハ認メタルモ支拂フヘキ金額ニ關シ双方ノ主張纏ラス解決方漸次遷延シ
來リシカ先般智利國外務大臣ト智利駐劄米國公使トノ間ニ本件ヲ海牙仲裁々判所ニ附托セン
トノ相談整ヒ將ニ調印セムトスルニ當リ智利國政府ハ自國議會ニ對スル政畧上ノ都合ニヨル
モノカ調印ヲ拒ミ且ツ「アルソツプ」會社ノ承繼人ニ對シ六萬七千磅ニ千九百三年以來ノ利子
ヲ付スヘキコトヲ申出タルトモ合衆國政府ハ斷然之ヲ拒絕シ更ニ智利國政府ニ對シ本件ニ關
シ權利者ニ米貨一百万弗ヲ支拂フコトヲ承諾スルカ或ハ海牙裁判所ニ本件ヲ付托スルコトニ
同意スルカ十日以内ニ返答スヘシ然ラサルニ於テハ米國ハ智利ト外交關係ヲ斷絶シ本件ニ關
シ適當ノ措置ヲ採ルヘシト在華府智利公使並ニ在智利米國公使ヲ經テ通牒シタリ時ニ伯刺西
爾國政府ノ斡旋ヲ試ムルアリ本件ハ當事國ノ合意ニヨリ去十一月下旬ヲ以テ英國皇帝陛下ノ
仲裁ニ付スルコトニ決定セリ

(別紙省略)

○「アルソツプ」會社要債ニ關スル件

九

○露國外交ト輿論附北米合衆國提案ニ對スル露國新聞ノ
論調ニ關スル件

○公第一二號(明治四十三年
二月二十一日附)

在 露

小村 外務大臣

落合臨時代理大使

別紙露國外交ト輿論附北米合衆國提案ニ對スル露國新聞ノ論調調査差進候敬具

(別紙)

露國外交ト輿論附北米合衆國提案ニ對スル露國新聞ノ論調

上田 通譯官 稿

一般ノ外交問題特ニ我日本ニ對スル露國新聞ノ論調ハ近年著シク變化ヲ來セリ曩ニ日露戰爭
後親日說ヲ唱ヘタル左黨新聞ハ今ヤ排日論者ト化シ去リ我ニ對シテ敵愾的ノ筆鋒ヲ弄シタ
ル中央派新聞ハ却テ政府機關新聞ト同一ノ步調ニ出テ日本ト親善ノ關係ヲ保持スルコトノ露
國ニ對シテ有利ナルコトヲ說クニ至レリ右黨就中極右黨機關ハ終始一貫我ニ對シ不快ノ記事
ヲ掲ケ日露ノ關係ヲ親善ナラシムルノ必要ヲ說キタルコト極メテ稀ナリキ而
シテ昨今ニ於テハ極右黨機關ノ所說ハ絶對的ニ我日本ト好關係ヲ保ツテ不可トスルコトニ歸
着セリ

○露國外交ト輿論附北米合衆國提案ニ對スル露國新聞ノ論調ニ關スル件

十一

如斯露國新聞ノ論調ノ變化スル所以ハ畢竟スルニ國民カ自國政府ノ外交關係ヲ詳ニセザルニ基因セスムハアラス日露協約ノ締結セラレ、ヤ日露兩國間ニハ絶東ニ於テ何等利益ノ衝突無キノミナラス兩國ノ利益ハ滿洲ニ於テ一致スハ爾賓行政問題ノ如キハ右利益ヲ證明シテ餘リアリ此事ヤ露人カ一般ニ認知シタル所ナリト雖然モ尙日本ノ心事ヲ疑ヒ伯林又ハ維納ヨリ飛來スル絶東危險ニ關スル事實捏造ノ新聞電報ハ露國民ノ心膽ヲ冷カナラシメ野心家ハ之ニ乘シ自ラ爲メニスル所アリテ日露兩國ノ親交ヲ妨クル風説ヲ放テ其結果動モスレハ當局者ナシテ其外交方針ヲ變セシムルニ至ルヤノ懸念ヲ抱クモノアルニ至レリ

蓋シ露國民カ自國ノ外交關係ヲ詳ニスルヲ得サル重ナル原因ニアリ第一、露國ノ外交政策カ國民的タラサルコト第二、露國ノ外交方針カ未タ充分鞏固ナラサルカ如ク認メラル、コト之ナリ

露國ノ政策カ國民的タラサルハ敢テ必シモ今日ニ始マリタルニアラス露國ノ君主專制政體ハ其國民ニ與フル政治問題ニ容喙スルノ自由ヲ以テセス民ハ據ラシムヘシ知ラシムヘカラストハ正ニ是レ露國ノ政治狀態ヲ適確ニ描寫スルモノナリ而シテ膨大ナル國土内ニ住スル國民ハ多種多様ノ民族ヨリ成立シ國民ノ一部ハ他ノ一部ノ民族ノ爲メニ壓セラレ民族間ノ軋轢止ム時ナシ此ノ間ニ於テ輿論ノ一致ヲ求ムルハ誠ニ木ニ因リテ魚ヲ求ムルカ如シ要スルニ露國外交政策カ國民的タラサル所以ハ一、國民カ參政權ヲ有セザルコト二、國民カ諸種ノ民族ヨリ成立スルコトノ二理由ニ因ルモノトス

露國外交方針ノ動モスレハ動搖セントシ未タ充分鞏固ナラサルハ明ナル事實ニシテ今更吾人ノ喋々ヲ要セス最近ノ歴史ハ能ク之ヲ證明セリ而シテ之カ原因ハ内部及外部ニ存ス當局者間ニ意見ノ衝突アルコトハ即チ内部ノ原因ニシテ露國カ日露戰爭ニ失敗シ歐洲ニ於ケル自己ノ國際的地位ヲ失墜シタルコトハ即チ外部ノ原因タリ

右ノ如ク露國ノ外交政策ハ國民的ニアラス又外交ノ方針ハ當局者一個ノ意見ニ左右セラレ往々基礎ノ鞏固ヲ缺キタルコト少ナカラサリシモ近年ニ至リ露國々民ハ參政權ヲ得テ外交ニ注意スルニ至リ又露國ニ内閣ノ制度成リテ施政ノ方針ハ統一セラル、コト、ナリタリ

日露戰爭前ニアリテハ露國民ハ政治ニ干與スルヲ得ザリシカ爲メ外交ニ注意ヲ拂ハサリシコト前述ノ如クナルモ同戰後ニ至リ國民ハ外交問題ニ嘴ヲ容レ當局者ノ外交方針ヲ批評スルコト、ナリタリ而シテ其コ、ニ至リタル原因ハ日露戰爭ニシテ露國民ハ同戰爭失敗ノ罪ヲ行政制度ニ稼シ輿論ハ日露事件カ露國官僚ト日本國民トノ戰爭ナリシコトニ一致シ國民的ノ思想ハ一時ニ勃興シ國民ハ外交ニ注目シ其結果外交政策ハ須ラク國民的タルヘントノ説ハ一世ヲ風靡スルニ至レリ之ト同時ニ國民ハ自國外交關係ノ一斑ヲ識ルニ至リシモ未タ容易ニ其關係ノ全般特ニ日露關係ヲ詳ニスルニ至ラス

如上國民カ自國ノ對外關係ニ注意シ外交問題ニ嘴ヲ容ル、ニ至リタルノ結果トシテ露國政策カ國民的タラントスルノ傾向ヲ呈スルニ至リタルハ蔽フヘカラサルノ事實トス從ツテ今ヤ政府當局者ハ輿論ヲ無視スルコト能ハサルコト、ナレリ

露國ノ對外關係ハ之ヲ區別シテ對歐、對近東、對中東、對日本、對清、對米ノ六トスルコトヲ得ヘシ。對近東關係中ニハ當ニ露ト「バルカン」半島諸邦トノ關係ノミナラス露ト英、獨、埃、佛、伊五大國トノ關係モ亦之ヲ網羅シテ對中東關係中ニハ露ト中亞諸邦及露ト英トノ關係ヲ包含スルヲ以テ對近東及對中東ハ或意味ニ於テ對歐關係ニ外ナラス又右對歐關係ノ中露國ノ對外策ニ最モ密接ノ關係ヲ有スルモノハ對英及對獨ノ二關係ニシテ歐洲ノ二大競爭國タル英獨兩國ニ對スル露國ノ政策ハ當ニ露國ノ歐洲諸國ニ對スル政策ニ關係ヲ及ホスノミナラス歐洲以外ニ對スル政策ニモ亦其影響ヲ及ホスモノナリ故テ以テ露國ノ對英及對獨政策ハ直ニ露國ノ對歐政策トスルヲ得ヘシ又露國政府ノ對日本政策ハ其對絕東政策ノ殆ント全部ヲ占メ或場合ニ於テ對清及對米兩政策ハ對日本政策ノ一分派ニ過キサルコト多キヲ以テ露國ノ對日本政策ノ如何ヲ見テ對絕東政策ノ全般ヲ察知スルヲ得ヘシ

露國外交ノ二大政策ハ對英又ハ對獨及對日本ノ二ナルモ對英又ハ對獨政策ハ主ニシテ對日本政策ハ其從タルモノニ外ナラス英獨ハ互ニ覇ヲ歐洲ニ爭ヒ各々露國ト接近セント欲スルヲ以テ露國カ將來英ト盟フカ將又獨ト結フカハ直接ニ歐洲ノ外交關係ニ一期限ヲ劃スヘキ事件タルノミナラス間接ニ絶東ノ外交ニ大關係ヲ有ス

露國外交ノ中心ハ過去ニアリテハ一時絶東ニ在リシモ日露戰爭後歐洲ニ移レリ日露戰爭前ニ於ケル露國ノ外交ハ積極的ニシテ而モ自動的タリシモ今ヤ其外交ハ消極的タルト同時ニ自動的トナレリ露國外交政策ノ中心將來何レニ存在スルニ至ルヘキヤ之ヲ豫知スルニ難シ

近年露國外交カ消極的ニシテ且受動的トナレル原因ハ第一、内政多事ナルコト第二、刻下平和ヲ必要ナルユトノ二ナリ「ストルイビン」内閣ノ鎮壓策其宜シキヲ得タルカ爲メ自由革命運動ハ今ヤ全ク其跡ヲ斷ツニ至リシモ幾多ノ難件幾多ノ改革問題ハ眼前ニ横ハリ之カ處置解決ハ誠ニ容易ノ業ニ非ス數多ノ年限ト當局ノ努力トヲ要ス然ルニ若シ一朝外ニ事アラシカ内政改善ノ業ハ徒勞ニ歸シ革命鎮壓ノ策ハ無効ニ終リ第二ノ自由革命運動ヲ惹起スルニ至ルヘキヤ必セリ是レ即チ露國ニ平和ノ必要ナル所以ニシテ露國外交政策カ消極的ニシテ且受動的ナルハ誠ニ之カ爲メナリ

中東ニ於テ英露兩國角逐セシ時代ヨリ戰爭前ニ至ルノ間露國ハ歐洲外交上ノ一大勢力トシテ其威望内外ヲ壓シタリシモ今ヤ歐洲ノ外交ハ彼得堡ニ於テ決セラレスシテ倫敦伯林ニ於テ左右セラル歐洲外交ノ二大勢力ハ英及獨ニシテ兩國ハ互ニ雌雄ヲ爭ヒ各々競フテ露ト親善ノ關係ヲ求ムルニ至リ往年露國ノ勢力ヲ減殺スルヲ以テ外交ノ目的トシタル英及獨ハ今ヤ露國カ此上其勢力ヲ失墜スルヲ以テ歐洲平和ノ爲メ危險トスルニ至レリ吾人ハ露國當年ノ雄圖ト今日ノ衰微ト相比照シ露國ノ爲メ一掬ノ涙ナキ能ハサルナリ

右既ニ述ヘシ如ク對歐政策即チ對英及對獨政策ハ露國外交ノ主要ナルモノニシテ「バルカン」半島及波斯ニ對スル政策ハ勿論絶東ニ對スル政策モ亦對英及對獨策ニ依リテ定マルヘキヲ以テ我日本ニ對スル露國新聞ノ論調ヲ明カニスルニハ先ツ右歐洲外交ノ二大勢力タル英獨兩國ニ對スル輿論ノ一斑ヲ詳ニスルコト必要ナリ

露國官僚間ニ親獨及親英ノ兩論者アルカ如ク歐洲外交ノ二大勢力タル英及獨ニ對スル社會ノ輿論モ亦二ニ分レ動カスヘカラサルモノアリ官僚部内ニ於ケル親獨論者ノ勢力ハ頗ル大ナリシト雖天下ノ大勢ハ政府ヲシテ親英論者ノ説ヲ容レシメ其結果中東問題ニ關シ英露協商成ルニ至レリ其後親英論者ハ官僚部内ニ於テ勢力ヲ得來リ外務當局者ハ内閣ノ同意ヲ經テ親英政策ヲ執ルニ至リ「ボスニヤ、ヘルツエゴツ非ナ」事件ハ露國ヲシテ益々英國ト接近スルノ必要ヲ感セシメ英、佛、露ノ所謂三協定ハ之カ爲メニ成立シ以テ今日ニ至レリト雖親獨論ハ未ダ官僚特ニ宮中部内ニ侮ルヘカラサルノ勢力ヲ有セリ

民間ニ於テ親英説ヲ唱道スルモノハ左黨(社會黨一名極左黨)立憲民主黨、平和改進黨即チ政府反對黨及中央黨(十月黨及國民派)ノ一部分即チ政府黨ニシテ是等ノ諸黨ハ親獨論ニ反對ス之ニ反シ親英説ヲ排シテ親獨論ヲ主張スルモノハ右黨(國民派大部分及帝王黨一名極右黨)ニシテ特ニ極右黨ハ英國トノ接近ヲ絶對的ニ否認セリ

露國刻下ノ大問題ハ外交ニ在ラスシテ内政ニ存ス左黨ノ目的トスル所ハ現政府ヲ倒シ内政ヲ根本的ニ改革スルニ在リ中央黨ハ現内閣ヲ援ケ改革ヲ行ハシムルヲ目的トシ而シテ右黨ハ官僚ノ保守派人士ト提携シ舊制度ヲ維持スルヲ以テ目的トス要之内治改革問題ハ各黨ノ等シク其目的トスル所ニシテ又外交問題ヲ顧慮スルノ閑ナキナリ是レ即チ現在露國外交ノ中心カ歐洲ニ存シ其政策カ消極的ニシテ而モ受動的タル所以ナリ

右ノ如ク現下露國ノ急務ハ内ニ在ルヲ以テ右黨カ親獨論ヲ唱道シ左黨カ親英説ヲ主張スルハ畢竟スルニ諸黨派カ外交問題ヲ利用シテ内政問題ノ解決ニ資センカ爲メニ外ナラス英國ハ立憲民主ノ國ナルヲ以テ左黨ハ自由思想ヲ露國內ニ普及セシムル爲メ親英説ヲ唱ヘ右黨ハ保守專制々度ノ維持ヲ計ルニハ獨逸皇帝ノ政府ト接近スルヲ必要トシ親獨論ヲ主張シ而シテ中央黨ハ現内閣カ親英策ヲ執リツ、アルヲ以テ之ヲ支持シ左黨ト共ニ親英説ヲ唱フルモ其目的トスル所ハ各々相異ナレリ斯ノ如ク露國々民ヲ代表スル各黨派ハ各自ニ外交問題ニ特ニ自國ノ對歐政策ヲ以テ内政問題ヲ解決スルノ具ニ供セムトスル結果各黨ノ外交論ハ内政ニ關スル其主義目的ト密接ノ關係ヲ有ス茲ニ於テカ各派機關新聞ノ英獨兩國ニ對スル論調一日瞭然ニシテ歐洲外交界ノ二大勢力ニ對スル輿論ノ趨勢ハ之ヲ知ルニ難カラス翻テ絶東特ニ我日本ニ對スル輿論ノ歸向スル所ヲ見ルニ對歐關係ニ於ケルカ如ク確然一定スルニ至ラサルモノ、如シ」日本ニ對スル露國ノ輿論一定スルニ至ラサル重ナル原因ハ露國民カ日露關係ノ真相ヲ詳ニセサルニ因ルモノナリ其結果諸新聞ノ我ニ對スル論調始終變化スルコトアルハ勿論甚シキニ至リテハ往々ニシテ同一ノ新聞紙上ニ氷炭相容レサル議論ノ掲載セラル、コトアリ然リ而シテ露國新聞ノ我日本ニ對スル論調ハ啻ニ右黨及左黨ノ機關紙ニ於テ一定スルコト無キノミナラス中央派タル政府黨機關紙ニ於テモ亦常ニ變動セリ政府黨機關紙論調ノ變動ハ必シモ政府ノ對日政策ノ變動ヲ意味スルモノニアラサルヘシ然レトモ煙ノアル所必ス火アリ時々ノ論調ハ政府部内ノ一角ニ起リタル意見ノ發露ニ外ナラサルヘキヲ以テ亦輕々ニ看過スヘキニ非ス露國新聞ノ對日本論ハ常ニ變動シテ一定スル所無シト雖其變動ノ跡ヲ尋ヌルコト至難ニ非ス

日露戰爭ハ露國舊制度ノ一大缺點ヲ暴露シタルカ爲メ舊制度ヲ固執セムトスル右黨(保守派)ハ大打撃ヲ蒙レリ彼等ハ日本ヲ以テ露國ノ俱不戴天ノ仇敵トナス又戰爭ノ爲メ自由革命運動ノ機會ヲ得タル左黨(社會黨)乃至立憲民主黨ハ我ヲ以テ露國ノ救濟者トナス獨リ中央黨(十月黨)ハ戰爭ノ失敗ヲ恥ケ内心我ヲ憎ムモ表面ニハ我ニ對シ慎重ノ態度ヲ執レリ然レトモ左黨即チ政府反對黨ハ其目的ニ現政府ヲ倒スニ在ルヲ以テ我國ニ對スル其外交論モ亦之レニ關聯シ政府當局者カ親日本策ヲ執ラムト欲スルトキハ直ニ之ニ對シ反對ヲ試ミルノ傾アリ近年露國新聞ノ我日本ニ對スル論調ノ變化ハ之ナ二期ニ分ツコトヲ得ヘシ第一期ハ第一及第二議會開會當時ニシテ同時期ハ政府反對黨全盛ノ時代タリ第二期ハ第三議會召集以後今日ニ至ルマテノ期間ニシテ同時期ハ實ニ政府黨全盛時代トス

第一期ニアリテハ右黨即チ保守黨ハ全然無勢力ニシテ中央黨即チ政府黨ノ勢力モ亦實ニ微々タルモノナリキ然ルニ獨リ左黨即チ政府反對黨ハ大々的ノ勢力ヲ有シ立憲民主黨ハ議會ニ於テ極左黨タル社會民主黨、社會革命黨、勞動團等ト提携シ政府ニ對抗シタリ當時右黨機關新聞ハ我ニ對シ敵愾的ノ筆鋒ヲ弄シ露國ノ形勢ヲシテコ、ニ至ラシメタルハ日本人及露國內ノ猶太人ノ罪ナリト論斷セリ之ニ反シ左黨機關新聞ハ日本ヲ稱賛シ日本ハ露國ニ教訓ヲ與ヘタリトシ其論調親日的ナリキ中央黨新聞ハ日本ニ對シ比較的慎重ノ態度ヲ持シタリシモ政府反對黨ノ親日論ニ對抗シ往々排日的筆鋒ヲ弄セリ

第二期即政府黨全盛時代ニ於ケル露國新聞ノ我ニ對スル論調變化ハ更ニ之ヲ三小期ニ分ツテ得第一小期ハ滿洲諸懸案ニ關スル日清協約締結以前ニシテ第二小期ハ同協約締結ノ時ヨリ今回滿洲鐵道問題ニ關スル北米合衆國ノ提議マテトシテ第三小期ハ右北米合衆國政府ノ提案以後今日マテノ期間トス

右ニ述ヘシ如ク第一期ハ政府反對黨全盛時代ナリシニ反シ第二期ハ政府黨全盛ヲ極ムルト同時ニ官僚部内ニ緣故ヲ有スル右黨殊ニ極右黨ハ大勢力ヲ有シ左黨即チ政府反對黨ハ全ク勢力ヲ失フニ至レリ其結果對政府策上ヨリ曩ニ日本ヲ稱賛セシ政府反對黨機關ハ今ヤ排日說ヲ唱フルニ至レリ

第二期ノ第一小期ニアリテハ右黨即チ保守派機關紙ハ固ヨリ日本トノ接近ヲ否認セシモ輕燥ニ陥リタルコトナシ之ニ反シ左黨ハ我ニ對シ不愉快ノ筆ヲ弄シ排日論ヲ主張セリ然レトモ政府黨機關ハ常ニ慎重ノ態度ヲ以テ我ニ對シタリキ第二小期ハ排日熱全盛ノ時ニシテ右黨機關新聞ハ再ヒ我ニ對シ敵愾的ノ筆鋒ヲ弄シ左黨機關モ亦同シク我ニ對シ不愉快ノ說ヲ吐キ政府黨機關モ亦排日的ノ社說ヲ掲クルニ至レリ現ニ十月黨機關「ゴロス、アラウドイ」ノ如キハ當時連日其紙上ニ日本ニ不利益ニシテ而モ日露ノ親交ヲ阻害スルノ記事論文ヲ掲ケテ自ラ怪シムコト無カリキ斯ノ如ク各派諸機關殆ント一齊ニ筆ヲ揃ヘテ排日說ヲ主張シタルノ時ニ當リ獨リ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞カ比較的ニ正鵠ヲ失セサルノ社說ヲ掲ケ毅然トシテ枉クル所ナカリシハ頗ル世人ノ注意ヲ惹キタリ第三小期ニアリテハ右黨機關ハ依然我ニ對シ不愉快ノ感ヲ催サシムルノ記事ヲ掲ケ又左黨機關紙ハ熾ニ排日說ヲ唱フルモ政府黨新聞ハ日本

ト親善ノ關係ヲ保有スルヲ必要ナリト説キ特ニ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ノ如キハ絶東ニ於ケル日露兩國ノ利益ハ一致セリ提携徐ニ其歩武ヲ進ムルコトヲ要スト喝破セリ。露國ノ輿論即チ諸新聞ノ論調一定セスシテ常ニ變動シテ止マサル重ナル原因ハ第一露國民カ日露外交關係ノ真相ヲ詳ニセサルコト第二政府反對黨カ日露外交問題ヲ以テ攻撃ノ材料トスルコト第三獨逸新聞ノ譎詐ニ外ナラス

滿洲鐵道中立ニ關シ北米合衆國カ提議ヲ爲シタルコトヲ露國政府カ其機關聖彼得堡電報通信社ヲシテ世間ニ公ケニセシメタルハ本年一月九日ノコトニシテ翌十日同公報ハ諸新聞ニ掲載セラレタリ公報ノ内容ハ單ニ北米合衆國政府カ滿洲鐵道中立及錦愛鐵道ニ關スル提議ヲ爲シ政府ハ之ニ對シ篤ト論議考慮スル所アルヘントノ聲言ニ止マレリ一二新聞ハ直チニ之ニ對シ詳論ヲ加ヘタルモ多クハ默シテ言フ所無カリキ然ルニ一月十四日大藏省ハ其機關商工新聞ヲ以テ右提議ニ對スル露國政府ノ態度ノ一斑ヲ漏ラシ其後諸新聞ハ稍本問題ニ對スル態度ヲ示スニ至リシモ今尙充分ニ其意見ヲ表白スルニ至ラス是レ畢竟諸新聞カ未タ本問題ノ真相ヲ詳カニスルヲ得サルニ因ルモノナリ然レトモ諸新聞カ今日マテ其紙上ニ掲ケタル論文ハ各新聞ノ態度ヲ詳カニスルノ資トシ輿論ヲ窺フノ料トスルヲ得ヘシ

北米合衆國政府ノ提案ニ對スル露國新聞ノ論調ハ之ヲ大別シテ二トスルヲ得ヘシ第一ハ同案ヲ否認シテ之ニ反對スル説ニシテ第二ハ同案ヲ是認シ之ニ贊成スルノ説トス第一説ヲ主張スルモノハ輿論ノ大多數ヲ占ムル中央黨(政府黨)機關紙ニシテ右黨(保守黨)機關紙モ亦第一説

ヲ唱道セリ第二説ハ左黨(政府反對黨)ノ唱道スル所ニシテ立憲民主黨機關「レーナ」新聞ハ主トシテ此説ヲ主張スルト同時ニ熾シニ排日説ヲ唱道セリ

右ノ如ク右黨機關新聞ハ中央黨機關新聞ト同シク北米合衆國ノ提議ニ反對スト雖我日本ニ對シテ依然敵愾的ノ口調ヲ弄シ左黨機關新聞ト同シク排日説ヲ主張セリ中央黨機關紙ハ米國ノ提議ニ反對シ且ツ同提議ハ滿洲ニ於テ共同ノ利害關係ヲ有スル日露兩國ニ對スル大打撃ナリ露國ハ日本ト提携シテ其共同ノ敵ニ對セサルヘカラスト論シ親日論ヲ主張セリ

中央黨機關新聞カ北米合衆國ノ提議ニ反對スルト同時ニ親日論ヲ主張スルニ至リシ原因ハ同黨人士カ絶東ノ形勢ヲ明カニシ來リシカ爲メニ外ナラス右黨機關紙カ中央黨機關紙ト同シク米國ノ提議ニ反對スルニ拘ラス左黨機關紙ト同シク排日説ヲ唱フル原因ハ畢竟スルニ其主義ニ關聯スルモノニシテ對歐政策上親獨説ヲ唱ヘ帝權ノ盛ナル獨逸皇帝ノ政府ト接近シテ保守專制ノ政體ヲ維持セントスルヲ以テ目的トスル保守派カ英國ノ同盟國タル日本ヲ排斥スルハ偶然ニアラザルナリ又左黨機關新聞カ米國ノ提議ニ同意シ同時ニ排日論ヲ主張スルハ單ニ同黨ノ主義カ政府反對ニアルヲ以テナリ政府ニシテ若シ米案ニ同意セハ同機關新聞ハ同案ニ反對シタルナルヘク又中央黨即チ政府黨新聞カ排日論ヲ主張シタリシトセハ立憲民主黨機關新聞ハ親日論ヲ唱道シタルナルヘシ露國ニ於ケル自由改進黨人士カ對歐政策上排獨説ヲ唱フルト同時ニ親英説ヲ主張スルハ自家ノ主義目的上當然ノ事ナルヲ以テ獨逸カ民主的ノ國トナラサル限り露國ノ政府反對黨機關紙カ排獨説ヲ唱フルハ怪シムニ足ラス而モ其説ハ自由改進黨

人士ノ肺肝ヨリ出ツル所ナルモ、同黨機關新聞ノ排日說ハ敢テ同派人士ノ肺肝ヨリ出ツルニアラスシテ單ニ對政府策タルヤ察スルニ餘アリ
露國新聞ハ必シモ悉ク黨派ノ機關ニアラスシテ政治上無主義無方針ノ所謂營業新聞無キニアラスト雖概シテ皆諸新聞ハ一定ノ主義目的ヲ有シ其屬スル黨派ノ意見ヲ代表スルカ又ハ自己ト主義ヲ同シクスル黨派ノ意見ヲ主張ス故ヲ以テ露國新聞ノ論調ヲ明カニスルニハ順序トシテ先ツ諸新聞ノ黨派別ヲナスヲ要ス

露國議會成立以來黨派ハ院ノ内外ニ於テ右黨中央黨及左黨ノ三ニ分レタリ右黨ハ帝王黨(極右黨)國民派及溫和右黨ヨリ成リ中央黨(政府黨)ハ十月黨ヨリ成立シ左黨(政府反對黨)ハ社會民主黨、社會革命黨、勞動團立憲民主黨平和改進黨ヨリ成リ波蘭黨、回々教徒團ハ此左黨ニ組シタリ第一及第二議會ニ於テハ政府反對黨ノ勢力大ニシテ同黨員ハ全議員ノ三分ノ二以上ヲ占メ政府黨及右黨ノ勢力ハ微々タリキ當時露國新聞ノ大多數ハ左黨即チ政府反對黨ノ機關ニ屬シ所謂營業新聞ハ政府反對黨ノ太鼓ヲ敲キタリキ然ルニ第二議會ノ解散ト同時ニ政府反對黨特ニ社會革命黨、社會民主黨及勞動團ノ機關新聞ハ勿論一般ニ左黨ノ新聞ハ其發行ヲ禁止セラレ政府黨ノ大多數ヨリ成ル第三議會ノ召集ト共ニ政府黨機關紙及右黨特ニ極右黨ノ機關新聞發行セラル、ニ至リ又無主義無方針ノ營業新聞ハ其筆鋒ヲ一轉シテ政府黨ノ主義ヲ贊スルニ至レリ

元來中央黨ハ十月黨ヨリ成立スルモ同黨ハ著シク右方ニ傾キ溫和的右黨ト步調態度ヲ一ニシテ提携シテ政府ヲ支持シツ、アルヲ以テ今ヤ中央黨ハ十月黨及溫和的右黨ヨリ成立スルニ至レリ加フルニ昨年冬溫和的右黨ハ國民派ト聯結シ國民團ナル名稱ノ下ニ一團トナリ此國民團ハ十月黨ト共ニ中央黨トシテ政府ヲ支持スルコト、ナリタリ故ヲ以テ政府黨機關新聞ハ大ニ其數ヲ増加シ有力ナル「オウオエ、ウレトミヤ」新聞ノ如キモ亦中央黨機關ニ加ハリ今ヤ政府黨機關紙全盛ノ時代トナリタリ

右ニ既ニ述ヘシ如ク露國刻下ノ大問題ハ内政ニ在ルヲ以テ各派機關新聞ハ内政問題ヲ以テ其論評ノ目的トシ黨派的的眼光ヲ以テ事件ヲ觀察スルヲ常トス此故ニ露國新聞ハ其ノ外交問題ヲ論スルニ際シテモ黨派的ノ見解ヲ其論評ノ根據トス是レ即チ外交問題ニ關スル露國新聞ノ論調ニ轍ニ出テサル所以ニシテ獨逸又ハ我日本ニ於ケル如ク外交問題ニ關シテ輿論ノ一致セサルハ毫モ怪シムニ足ラス獨逸新聞ハ内政問題ニ關シ各々說ヲ異ニシ自由ニ施政ノ方針ヲ論難攻撃スルモ外交ニ關シテハ各紙其說ヲ一ニシテ自國政府ノ外交政策ヲ辯護スルノ傾向アリ其事ノコ、ニ至ル原因ハ獨逸國民ノ愛國心與テ力アルヘキモノナラムモ其重ナル原因ハ新聞紙ニ對スル規律其宜シキヲ得ルカ爲メニ外ナラス然ルニ露國ニ於テハ出版ニ對スル取締頗ル嚴ナルモ未タ此規律行ハル、ニ至ラス

北米合衆國政府ノ提案ニ對スル露國新聞ノ論調ヲ叙スルニ先チテ尙一言シ置クノ必要ハ東清鐵道收入不足問題ニ關聯シ近年國內ニ同鐵道賣却ノ風說起ルニ至リシコト、ス此事ハ昨春以來屢々露國諸新聞ニ記載セラレ又内外新聞ハ露國政府部内ニ右鐵道賣却ノ議アリトノ報ヲ齎

ラシタリキ乍併右報道ハ當時世人ニ等閑ニ附セラレ結局自然ニ消滅スルニ至リタリキ然ルニ昨冬大藏大臣「ゴコフツナフ」氏絶東巡回ノ途ニ上ルヤ之ト前後シテ再ヒ世間ニ東清鐵道賣却ノ風説起リ又同時ニ露國新聞ハ北米合衆國資本家ハ其資本ヲ以テ黑龍鐵道ノ布設ヲ受負ハントシ露國政府ニ向ツテ提議ヲ爲シタル結果露政府ハ之ニ同意ヲ與ヘタリト報道シタリ同報道ハ其後露政府ニヨリテ取消サレタルモ鐵道賣却ノ風説ハ依然トシテ巷間ニ行ハレ牽強附會ノ説ハ百出シ甚シキニ至リテハ大藏大臣ノ絶東行ハ東清鐵道賣却問題ト直接ノ關係ヲ有ストノ臆説ヲ違フスル人サヘアルヲ見ルニ至リキ

東清鐵道カ今日マテ未タ容易ニ收支相償フニ至ラサルハ事實ニシテ國庫ハ同鐵道會社ニ毎年少ナカラサル補助金ヲ與ヘツ、アリテ之カ爲メ國庫ノ蒙ル損失ハ頗ル大ナリ故ヲ以テ露國ニ於テハ財政上同鐵道ヲ賣却スヘシトノ説ヲ有スルモノ無シトセス而シテ此説ハ管ニ在野政治家間ニ唱ヘラル、ノミナラス政府部内ニ於テモ亦同説ニ左袒スル人士アリト云フ然レトモ朝野多數人士ノ意見ハ政治及經濟並軍事上東清鐵道ハ露國ノ爲メ必要欠クヘカラサルノ交通機關ナリトシテ賣却説ニ反對セリ

東清鐵道賣却説ハ元ト露國在野政治家ノ口ヨリ出テタリ此説ハ第一及第二議會開會當時屢々政府反對黨議員ニヨツテ唱ヘラレタリ而シテ之カ賣却説ノ動機ハ單ニ財政問題ニ關係シ同鐵道ノ收支償ハサルコト其主タル原因ナリキ此説ハ直チニ歐米人ノ耳朶ニ達シ其後右鐵道賣却ニ關スル諸種ノ風説ハ却テ外ヨリ來ルニ至レリ近頃日本ハ露國ニ對シ極力戰鬪準備中ナリトノ虛説傳ヘラル、ニ至ルヤ絶東ノ外交關係ヲ詳ニセザル露國々民ハ直チニ此虛説ノ爲メニ動かサレ其結果ハ管ニ冒險家ヲシテ此機會ヲ利用シ野心ヲ滿サントセシメタルノミナラス有識者中ニモ亦風説ニ動かサレ戰爭ノ危險ヲ避クルコトニツキ百方苦心セシモノアリト稱セラ

露國ハ現下多クノ事ナ内ニ有スルヲ以テ國力ヲ養成シ内部ノ整理ヲ爲シ外ニ發展スルノ基礎ヲ固フヌルニハ少クモ向後十年間ノ平和ヲ必要トストノ事ハ昨冬總理大臣「ストルイピン」氏カ「ウオルガ」新聞記者ニ爲シタル談話ノ一節ニ依リテモ亦之ヲ詳ニスルヲ得ヘシ是レ即チ露國カ「ボスニヤ、ヘルツエウイナ」事件ニ關シ消極的態度ヲ執リタル所以ナリ

露國カ平和ヲ必要トシ外政ニ關シ消極的ノ態度ヲ旨トスルノ折柄日本カ露國ニ對シ戰鬪準備中ナリトノ惡戯的捏造説ハ一時國ノ四方ニ流布セラレ有識者ヲ惱マシムルニ至レリスノ如ク有識者カ平和ヲ渴望シ絶東戰爭ノ危險ヲ避クルヲ必要トスルノ結果或部内ニハ東清鐵道ヲ第一三國ノ手ニ委ネ日本ノ北進ヲ遮キルヘシトノ主意ヲ以テ外交關係上ヨリ東清鐵道賣却ノ議提出セラレ、ニ至リタリトノ風説アリキ本提議ハ何人ノ手ニ成リシカ又外國ヨリ出テタルヤ將又國內ニ起リタル説ナリシヤ否ヤノ疑問ニ對シ露國新聞ハ遂ニ讀者ニ説明ヲ與ヘサリキ大藏大臣「ゴ、フツオフ」氏カ絶東巡回ノ旅ニ上ルヤ氏ハ途次莫斯科ニ立寄り同地商工業家ニ歡迎セラレ實業家ハ氏ノ名譽ノ爲メ商業取引會議所ニ於テ宴ヲ開キタリ藏相ハ宴會ノ席上ニ於テ商工業政策ニ關スル一場ノ演説ヲ爲シ話頭ヲ東清鐵道ノコトニ及ホシテ同鐵道ハ露國ノ

利益ヲ計ルノ具ナリト聲言シタリ又藏相ハ絶東着後東清鐵道ノ視察ヲ終ルヤ哈爾濱ニ於テ鐵道役員ヲ集メテ訓示的ノ演說ヲ爲シ東清鐵道ハ將來收支相償フニ至ルヘキコトヲ說明シタリ以上藏相ノ演說ハ諸新聞ニ掲載セラレ其結果巷間ニ行ハレタル東清鐵道賣却說ハ全ク一掃セラル、ニ至ラザリシモ其風說ハ大ニ薄ラクニ至レリ

大藏大臣「コ、フツオフ」氏絶東視察ヲ終リ彼得堡ニ歸來スルヤ當地新聞ハ氏ノ旅行カ露國ノ對絶東政策ニ大關係ヲ有スルトシ就中或新聞ハ同政策ニ關スル大藏大臣ノ意見ハ外務大臣ノ意見ト異ナレリト報セリ然ルニ「コ、フツオフ」氏ハ之ニ對シ直ニ署名ノ取消文ヲ出シ以テ氏ノ意見ハ外相ノ意見ト同一ニシテ符節ヲ合スルカ如シト聲言シ世人ノ惑ヲ解キタリ

以上ハ北米合衆國提案問題カ世間ニ漏サレタル以前ノ事ニ屬ス又露國ニ於テ同問題カ公ケノ筋ヨリ世ニ漏ラサレタルハ北米合衆國國務卿「ノックス」氏ノ談話カ電報ニヨリ傳ヘラレタル以後ノコトニシテ其以前ニハ世人ハ北米合衆國カ日露兩國ニ對シ此種ノ提議ヲ爲シタルコトヲ全ク知ラザリシコトハ事實ナリ

北米合衆國國務卿談話ノ次第カ新聞電報トシテ現ハル、ヤ之カ露國ニ達スルニ先チ露國政府ハ直チニ其機關彼得堡電報通信社ヲシテ右提案ノコトヲ世ニ公ケニセシメタリ世人ハ同提案ヲ以テ異口同音ニ日本ニ對抗シタルモノナリトシ從ツテ日本政府ハ直チニ同案ニ對シ反對ノ態度ヲ執ルニ至ルヘントノ觀察ヲ下シタリト雖同案カ露國ニ對抗シ加之露國ノ利益ニ反スルモノナルヤ否ヤノ問題ニ關シテハ露國新聞ノ見解ハ二二分レタリ即チ多數ノ新聞ハ同案ヲ以

テ露國ヲ輕蔑シタルモノナリトスルニ反シ少數ノ新聞ハ同案ヲ以テ露國ノ利益ニ適合スルモノナリトセリ斯ノ如ク露國新聞ノ見解ハ二二分ル、ニ拘ラス諸新聞ハ北米合衆國提案ヲ以テ露國絶東政策ノ運命ヲ定ムルモノナリトシ從ツテ露國カ之ニ同意スルト否トハ露國將來ノ絶東政策ニ大關係ヲ有スルモノナルヲ以テ政府カ之ニ對シ其態度ヲ定ムルニハ豫メ十二分ノ詮議ヲ要スヘク從ツテ露國政府カ同案ニ對シ北米合衆國ニ回答ヲ與フルマテニハ今後尙數ヶ月ノ日子ヲ要スヘシトノ說ニ一致セリ然ルニ露國政府ハ露國新聞ノ豫想ニ反シ右案ニ對シ意外ニ迅速ニ其態度ヲ明カニシ大藏省ハ其機關商工新報ヲ以テ露國政府ノ東清鐵道ニ對スル決心ヲ明カニシ又「ノオウオエ、ウレ」ミヤ新聞ハ極力北米合衆國提案ニ反對ノ說ヲ唱フルニ至レリ「本問題ニ關スル」ノオウオエ、ウレ「ミヤ」新聞ノ說ハ當初ヨリ世人ヲ以テ露國外務省ノ意見ナリトシ之ニ對シ大ニ注意ヲ拂ヘリ斯ノ如ク露國政府カ本問題ニ關シ速カニ其方針ヲ定メ直接又ハ間接ニ其態度ヲ世ニ公ケニセシコトハ世人ノ頗ル意外トスル所ナリ

右ノ如ク北米合衆國政府ノ提案ニ對スル露國政府ノ態度ハ畧ホ世ニ明白トナリシト雖露國政府ハ「ワシントン」政府ニ交付スヘキ回答文ノ内容ヲ世ニ公ケニスルニ至ラザルヲ以テ露國新聞ハ本問題ニ關シ未タ充分ニ其意見ヲ發表スルニ至ラス是レ畢竟露國民カ絶東外交關係ヲ詳細ニセサルノ結果ニ外ナラス然レトモ露國諸新聞ハ右提案ノ件世ニ發表セラレタル以來既ニ今日マテ本問題ニ對シ多少ノ評論ヲ加ヘ又本問題ニ關スル記事ヲ掲ゲタリ而シテ其評論及記事ハ之ヲ綜合シテ以テ本問題ニ對スル諸新聞ノ態度論調ト認ムルヲ得ヘシ

本問題ニ關シ率先シテ北米合衆國ノ提案ヲ否認セシハ獨リ「ノオウオエ、ウレミヤ」新聞ニシテ同新聞ハ「ロシントン」政府カ右提案ヲ爲シタリトノ公報諸新聞ニ掲ケラレタルノ當日即チ一月十日ノ紙上ニ社説ヲ掲ケ大體ニ於テ北米案ヲ否認スルノ態度ヲ示シタリ同月十四日大藏省直接機關商工新報カ右提案ニ對スル政府ノ態度ヲ漏ラスニ至ルヤ其後「ノオウオエ、ウレミヤ」新聞ハ更ニ社説ヲ掲ケテ具體的ニ北米ノ提案ヲ否認シ又諸新聞ハ之ヲ前後シ本問題ニ關スル記事論説ヲ掲ケタリ要スルニ右商工新報ノ論文ハ本問題ニ關シ一方ニハ露國政府ノ態度ヲ世ニ知ラシメタルト同時ニ他方ニハ輿論ヲシテ本問題ニ對スルノ態度ヲ定メシムルニ至レリ

斯ノ如ク商工新報ノ論文ハ本問題ニ關スル露國ノ輿論ト密接ナル關係ヲ有スルノミナラス近キ將來ニ於テ露國政府カ北米合衆國政府ニ交付スヘキ回答旨意モ亦右論文ノ精神ト同一ナルヘキヲ以テ北米合衆國ノ提案ニ對スル露國新聞ノ論調ヲ綜合スルニ先チ順序トシテ商工新報所掲論文ニ着目スルコト必要ナルヲ以テ左ニ其内容ヲ明カニセントス

大藏省機關商工新報所掲論文ノ大要ニ曰、清國獨立保全及門戶開放主義ハ現在滿洲ニ於テ何等侵害ヲ蒙リツ、アルニアラスシテ此主義ヲ保護スルコトハ東清鐵道ノ事業ニ關係シ此保護ハ完全ニ行ハレツ、アリ東清鐵道會社ニ對シテ監督權ヲ有スル露國政府ハ同會社ノ事業ヲ支持ス北米合衆國提議ノ第一提案即チ滿洲鐵道ヲ列國ノ監督ノ下ニ置クコトハ東清鐵道布設當時ノ狀態及露國政府並東清鐵道會社ノ利益ヲ顧慮スルヲ要シ右米國提案ノ實行ハ露國ニ對シ

大ナル打擊タリ東清鐵道會社ハ株式會社ニシテ個人之ニ出資セリ同會社ノ契約年限ハ八十年ニシテ此期間會社ハ一定ノ權利及特權ヲ有シ三十六年ヲ經過セハ清國政府ハ之ヲ買戻スノ權ヲ有ス右契約後既ニ六年ヲ經過シタルヲ以テ今後尙二十年間清國ハ露國ニ同鐵道買戻ノ申込ヲ提起スルヲ得ス右ノ年限内ニ東清鐵道ヲ賣却スルハ露國ノ爲メ不利益ナリ東清鐵道會社ハ滿洲ニ特權ヲ有ス露國ハ「ボーツマス」平和條約ヲ以テ滿洲ニ於ケル優越權ヲ放棄シタリト雖清國政府カ東清鐵道會社ニ與ヘタル特權ハ依然存續シ此特權ハ侵害セラレヘキモノニアラス東清鐵道會社カ「コンセツション」ヲ以テ得タル租借地帯ニ於ケル行政權ヲ維持スルコトニツイテハ管ニ同會社ノミナラス同地帯内ニ在リテ各種ノ事業ニ從事スル露國臣民大ニ利害關係ヲ有ス東清鐵道布設工事着手以來今日マテ過去十二年間ニ滿洲ニ於テハ露國人ノ村落起リ現ニ哈爾濱ニ於ケル露國民ノ人口ハ約四〇、〇〇〇トス租借地帯内ニ於ケル商取引高ハ大ニ發達シ現在一ケ年ノ取引高ハ約一五、〇〇〇、〇〇〇留ナリ露國臣民ハ政府ノ保護ヲ必要トス而シテ此保護ハ内地ニ在リテハ官憲之ヲ與フト雖北滿洲ニ於テハ東清鐵道會社ノ機關ハ清國ト「コンセツション」ニ依リ露國民ヲ保護スルノ任務ヲ有ス若シ此「コンセツション」ノ廢セラレ、場合ニハ露國人ハ保護機關ヲ失ヒ困難ナル境遇ニ立至ルヘシ現ニ南滿ニ於テハ南滿線カ日本ノ有トナリシ爲メ露國ハ其事業ヲ廢止シタリ右北米提議ノ第一案ニ對シテハ大ニ注意ヲ要ス何トナレハ東清鐵道ハ管ニ個人的ノ利益ヲ代表スルノミナラス國家的ノ利益ヲ代表シ且又國際的ノ利益ヲ計ルモノナレハナリ同鐵道ハ絕東邊境ヲ歐露ノ中心ト連絡シ露國商品ヲ絶

東地方ニ供給セシムルノ方便利ニシテ露國ノ爲メ國家的ノ任務ヲ有ス加フルニ同鐵道ハ滿洲ノ天産ヲ開拓スルモノナリ又東清鐵道ハ露國ノ對絶東貿易ヲ發達セシムルノ任務ヲ有ス此點ニ關シ同鐵道ハ現ニ其效果ヲ證明シリ現在露國商品ハ滿洲ニ於テ大ニ需要アリ斯ノ如ク露國品カ滿洲ニ其販路ヲ求ムルヲ得タルハ東清鐵道ノ力ニ外ナラス北米合衆國ノ提案實行セラレ、場合ニハ東清鐵道ハ現在ノ狀態ヲ一變シ其結果露國ハ其任務及目的ニ對シ大ナル打擊ヲ受ケ損害ヲ蒙ルニ至ルヘシ此故ニ露國々家の利益上露國カ右北米ノ提案ニ同意スヘカラサルコト明カナリ東清鐵道ハ西伯利鐵道ノ關節トシテ重要ナル國家的任務ヲ行フヘキモノナルヲ以テ露國政府ハ同鐵道會社資本ヲ保證シ且又其收入不足ヲ填補スルコトニ關シ莫大ノ犧牲ヲ辭セシメシテ之ニ補助ヲ與ヘツ、アリ東清鐵道ハ露國皇帝ノ裁可ヲ經テ組織セラレタル株式會社ニシテ特別ノ任務ヲ有シ而シテ其事業ハ國家ト密接ノ關係ヲ有シ又同鐵道ノ管理問題ハ露國ニ大ナル關係ヲ有ス故ヲ以テ露國政府ハ同鐵道カ列國機關ノ管理ノ下ニ在ルモ又露國皇帝ノ裁可ヲ經テ成リタル株式會社即チ東清鐵道會社ノ管理ノ下ニ在ルモ敢テ關スル所ニアラストノ見解ヲ有スルヲ得サルナリ東清鐵道ハ西伯利鐵道ノ一關節ニ外ナラサルヲ以テ東清鐵道ハ西伯利鐵道ヲ完全ニ使用スルニ必要缺クヘカラサルモノナリ又北米合衆國提案ノ右第一案ハ財政上ノ點ヨリ之カ實行頗ル困難ナリ次ニ世間ニハ東清鐵道財政狀態ノ考查ニ關シ諸說紛々タリ元來東清鐵道會社ハ烏蘇里及蘇城鐵道ヲ管理シ且又後黑龍鐵道接護旅團ヲ有シ是等ノ經費ヲ負擔ス東清鐵道收入ノ不足ハ即チ同會社ノ經費中是等ノ經費ヲ含ムカ爲メナリ要之北

米合衆國ノ提議ノ第一ハ之カ實行困難ニシテ露國ノ見地ヨリ同情ヲ表シ得ヘカラサルモノナリ又其第二案タル錦愛鐵道問題ハ露國ニ重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ露國ハ充分ニ本問題ノ真相ヲ明カニシ而シテ後之ニ對スル態度ヲ一定スヘシ

所謂一種ノ政府黨機關ノ如クナリタル「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞社說ノ大意ニ曰、北米合衆國ノ提案ハ東清鐵道ヲ放棄スルカ否ヲラズンハ錦愛鐵道布設ニ加入スヘシト云フニ在リ吾人ハ之ニ對シ答フルニ東清鐵道ハ露領絶東邊境ヲ歐露本土ト連絡スル爲メ布設セラレタルモノニシテ露國ハ之カ爲メ莫大ノ國帑ヲ消費シタルヲ以テ吾人ハ同鐵道ヲ放棄スルノ理由ヲ認メストノ言ヲ以テスルモノナリ北米ノ提議ハ企業的野心ヲ有スル所以ニ外ナラス北米合衆國ハ一方ニハ滿洲ニ自國製作品ノ販路ヲ求ムルヲ以テ其目的トスルト同時ニ他方ニハ露國カ財政ニ困難スルヲ機トシ露國ニ資金ヲ供給シ且又露國ノ爲メ滿洲ニ所謂緩衝地ヲ設定スルヲ以テ目的トス北米合衆國ハ東清鐵道カ其收支償ハサルカ爲メ露國ハ如何ナル條件ノ下ニ於テモ同鐵道ノ賣却ニ承諾ヲ與フヘシト考フルナラムモ東清鐵道ノ損失ハ其實北米人ノ考フルカ如ク左程大ナルモノニアラス東清鐵道實際ノ價格ハ頗ル大ナリ吾人ハ北米合衆國カ果シテ此價格ニ應スルノ資金ヲ調達シ得ルヤ否ヤヲ疑フモノナリ東清鐵道ノ西伯利大鐵道ノ一關節タルヲ以テ露國ハ清國トノ契約有效年限内之ヲ自己ノ手中ニ置クヲ要ス契約年限滿ツルニ至ル頃ニハ露國ハ他ニ方法ヲ講シテ絶東邊境ヲ本土ト連絡スルノ交通機關ヲ求ムルコトヲ得ラルヘシ然レトモ其以前ニ東清鐵道ヲ賣却スルハ

犯罪的行爲ナリ吾人ハ幾百萬弗ノ黄金ト雖我國ノ政治家ヲ誘惑スルヲ得サルヲ信シテ疑ハス
錦愛鐵道問題ニ對スル吾人ノ態度ハ右ト其趣ヲ異ニス清國ハ自國ノ鐵道事業ヲ發達セシムル
ノ必要ヲ感セリ露國ハ清國ト友邦ノ緣故ヲ以テ同事業ニ對シテハ出來得ル限りノ援助ヲ清國
ニ與フルヲ要スト以上ハ大藏省機關商工新報カ其論文ヲ以テ本問題ニ關スル政府ノ意向ヲ漏
ラシタル前後ノ社説ニシテ其後「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ハ再三本問題ヲ論シ更ニ具體
的ニ北米ノ提案ヲ否認セリ其論調ニ曰北米合衆國々務卿「ノツクス」氏ハ英國ハ提案ニ同意シ
タリト公言セシモ事實ハ之ニ相違セリ英國カ之ニ同意スルコトハアリ得ヘカラサルコトナリ
吾人ハ確ナル筋ヨリ英カ北米合衆國ヲ支持セサルヘキヲ聞知セリ本問題ニ關シテハ滿洲ニ大
ナル利害關係ヲ有スル日露兩國ノ同意アルニアラサレハ英ハ之ニ同意セサルヘシ云々又其後
ノ社説ノ内容ニ曰西伯利鐵道ハ露國ノ爲メ必要欠クヘカラサルモノナリ之ヲ外國銀行家ノ
手ニ一任スルコトハ即チ歐露ト露領太平洋沿岸トノ連絡ヲ切斷スルコト、同意味ナリ故ニ露
國ハ北米合衆國ノ提案ニ同意スルヲ得サルナリ北米合衆國ノ國務卿ハ右提案ノ實行カ困難ナ
ルコトヲ篤ニ承知セリ日本ハ戰爭ニテ露國ヨリ南滿鐵道ヲ獲タリ日本ハ如何ナル事アルモ其
高價ニテ獲タル權利ト特權トヲ容易ニ放棄セルサヘシ日本カ既ニ之ヲ放棄スルヲ欲セサル以
上露國ニ北滿鐵道ヲ放棄スルノ理由無シ此事ヤ何人ニモ明瞭ナリ米國々務卿カ右案ヲ提起セ
シ眞意ハ必スシモ之ヲ實行スルカ爲メニアラスシテ他ニ目的ヲ有セリ日本ハ清國市場ニ於ケ
ル米國ノ競争者ナリ日本ニ對シテ清國ヲ使喚スルコトハ米國ノ爲メ必要ナリ又日露兩國間ニ

不和ノ起ルコトハ米國ノ大ニ希望スル所ナリ右ノ二目的ヲ達スルコトハ米國ノ眞意ナリ今ヤ
米國ハ右二目的ノ一ヲ達シタリ清國ハ滿洲鐵道ヲ列國監督ノ下ニ置クコトヲ妙策トセリ然レ
トモ清國人ハ直チニ此案カ妙策ニアラスシテ却テ不利益ノモノタルヲ知ルニ至レリ何トナレ
ハ同案ニ從ヘハ清國ハ滿洲ニ於ケル日露兩國ノ權利ヲ認ムル代リニ列國ノ權利ヲ認ムルコト
、ナルヘケレハナリ米國自身モ亦初メヨリ右提案ノ實行ヲ疑ヒタリ而シテ同案ノ目的ハ清國
ニ排日力排露熱ヲ吹込マシメンカ爲メニ外ナラス露國ニシテ若シ日本ノ反對スル同案ニ同意
セハ日本ハ露國ニ敵愾心ヲ以テ對スルニ至ルヘシ而シテ日本ハ米國ノ企望通り清國及露國ニ
對抗シ來ルヘシ然レトモ露國ニハ米國ノ幸福ノ爲メ日本ヲ敵トスルノ必要ナン右ニ述ヘシ如
ク露國カ滿洲鐵道ニ對スル自己ノ權利ヲ維持スルコトニ利害關係ヲ有スルコト及露國ニ日本
ト好關係ヲ保持スルノ必要アルコトハ吾人ナシテ米國ノ提案ニ對シ全然否認の態度ヲ執ル
ノ必要ヲ認メシムルニ至レリ此事ヤ自己黨派の目的ヲ以テ露國々家ノ根本的利益ヨリモ大
ナリトスル黨人カ吾人ヲ攻撃スルノ原因トナルヘシ我國ノ保守派ハ日本ニ對シ敵愾的ノ筆鋒
ヲ以テシテ吾人ヲ攻撃セリ又革命派ハ日本トノ戰爭ヲ誘惑スルノ目的ヲ以テスルモノナリト
シテ吾人ヲ攻撃セリ然レトモ今ヤ吾人ハ毫モ憚ル所ナク日本諸新聞ト同一ノ論調ヲ採ルニ至
レリ云々

十月黨機關「ゴロス、ブラウドイ」新聞ノ論調ニ曰、米國ノ提案ハ露國ヲ壓迫スルモノニシテ露
國ノ威嚴及絶東ニ於ケル露國ノ位置ヲ滅却スルノ性質ヲ有ス同案ハ戰爭以上ノ打擊ナリ戰爭

ハ勝敗ヲ以テ其運命ヲ決スヘキモ同案ハ戰爭ニ依ラスシテ露國ヲ壓セントスルモノナリ米國ノ提議ハ太平洋ニ於ケル露國ノ利益ヲ無視シ且又露國ヲ輕蔑シタルモノナリ米國ノ提議ハ日露兩國ニ滿洲ヲ斷念スヘシト忠告スルモノニ外ナラス吾人ハ此提案ニ同意スルコト能ハス日本モ亦之ニ同意スルコト無カルヘシ何トナレハ日本ハ「バナマ」運河落成マテハ充分米國ニ對抗スルノ力ヲ有スレハナリ云々又同黨機關「ゴロス、モスクウイ」ハ米國提案ニ反對シ同案ヲ以テ絶東ノ現狀ヲ破リ太平洋岸ニ變亂ヲ喚起スルモノトセリ

又一定ノ主義政見ヲ有セスシテ時勢ト共ニ其口調ヲ變化スル所謂營業新聞「ビルヂエウイ、ウエードモスナ」「ベテルブルグスキー」、「リストーク」其他ハ本問題ニ關シ以上政府機關ト畧ホ同一ノ口調ヲ弄シ米國提案ニ反對セリ「ベテルブルグスキー」、「リストーク」曰、米國案ハ露國ヲ輕蔑シタルモノナリ同案ハ滿洲ニ於ケル政治及經濟ヲ中立ニスルト云フニ歸ス米國ハ日本ヲ太平洋ニ於ケル唯一ノ競爭者トシテ恐レ居レリ吾人ハ滿洲經營ノ爲メ既ニ金ヲ費シ血ヲ流シタリ米國ノ提案ハ日露兩國ノ同意アルニアラサレハ實行セラレ得ヘカラス云々又「ビルヂエウイ、ウエードモスナ」新聞曰、米國ノ提議ハ日露兩國ニ對スル打擊ナリ日露ノ利益ハ滿洲ニ於テ一致スルヲ以テ兩國間ニハ協定成ルニ至ルヘシ協定ニ關シテハ日本ハ南滿ニ於テ自己ノ權利ヲ維持スルト同時に北滿ニ於ケル露國ノ權利ヲ尊重スルヲ要ス此事ヤ協定ノ基礎タリ云々

右黨機關「スウエート」、「ルスコエ、ズナーミヤ」「ゼムシナナ」諸新聞ハ同一口調ヲ以テ政府黨

即チ中央黨機關乃至露國政界ニ於ケル一種ノ晴雨計タル營業新聞ト同シク米案ニ反對スルモ本問題ニ關聯シテ他新聞カ親日論ヲ主張スルヲ喜ハス「スウエート」新聞曰、東清鐵道ハ露領絶東ト歐露トヲ連絡スルノ具タリ此鐵道ヲ外國人ノ手ニ委ヌルハ露國ノ國家的利益ニ反ス露國ハ國家的見地ヨリシテ米國案ニ同意シ難シト

左黨即チ政府反對黨機關「レーナ」、「ルース」、「ソウレメン」「ノエ、スローウオ」、「ルースキヤ、ウエードモスナ」諸新聞ハ米案ニ贊成シ親清說ヲ唱ヘテ右黨機關ト同シク排日口調ヲ弄セリ

「レーナ」新聞所論ノ要旨ニ曰、露國カ米國ノ提議ニ同意セハ何チカ損スルヤト問ハハ吾人ハ之ニ對シテ答フルニ露國カ自國ニ何等ノ利益ヲ與ヘサル鐵道ヲ失フノミトノ言ヲ以テスルノミ露國ニシテ若シ今尙絶東ニ戰畧的ノ目的ヲ有ストセハ北滿洲ニ軍事上ノ根據地ヲ有スルモ必要ナラン然ルニ吾人ハ今日絶東ニ此目的ヲ有セスシテ單ニ防禦一方ナルヲ以テ露國ハ北滿洲ヲ有スルノ必要ナシ米國ノ提案ニ對スル日本ノ關係ハ全ク之ト趣ヲ異ニス日本ハ米案ニ同意セハ大ニ損失ヲ蒙ルモノニシテ米案ハ日本ニ對スル大打撃ナリ日本ハ滿洲ニ於ケル列國ノ商業的競爭者ナリ日本ハ米獨英ニ對シ商業上ノ危險物ナリ米國ノ提案ハ右米獨英ノ危險ヲ除去スルト同時に滿洲ニ於テ露國カ日本ヨリ受クル軍事上ノ危險ヲ一掃シテ露國ノ絶東ニ於ケル防禦ヲ容易ニスルモノナリ吾人若シ米國ノ提議ヲ支持セハ清國問題ニ關シ日本ヲ不利益ノ位置ニ立タシムルコトヲ得ヘシ茲ニ於テ吾人ハ直チニ清國保全ヲ尊重スル者ハ日本ナルカ將又露國ナルカヲ清人ニ了セシムルニ足リ且又日本ノ膨脹ヲ遮キリ露國及列國ニ對スル危險ヲ防

止スルヲ得ヘシ云々、其後同紙ハ再三本問題ヲ論シ「ノオウオエ、ウレミヤ」ノ社説ヲ否難攻撃シ又外務大臣「イズウオリスキ」氏ハ米案ハ絶東ニ於ケル露國ノ利益ニ反ストノ意見書ヲ内閣ニ提出シ同大臣ハ之カ反對ノ理由トシテ近年露ト同一ノ態度ヲ執ルニ至リタル日本カ同案ニ反對スルカ故ニ露國モ亦之ニ反對スルヲ要ストセリトシ外務當局者ノ政策ヲ否難シテ曰政府ハ清國ノ利益ニ反スルノ態度ヲ執リテ日本ノ利益ト一致スルノ態度ヲ執レリ當局者ハ露國ノ爲メ強國日本ヲ敵トスルハ不利ニシテ弱邦タル清國ト親シムハ不利ナリトセリ日本ハ露國トノ接近ヲ利用シ其間ニ實力ヲ養成シ露國ニ反抗シ來ルニ至ルヘシ米國ト露國トノ接近ハ我國家ノ利益ナリ日本カ今日我ニ對スルノ態度ハ同國カ清國及朝鮮ニ對スル態度ト同一ニシテ指圖的ナリ云々

「ソウレメン」ノエ、スローウオ」ノ所論ニ曰、米國ノ提案ニ對スル露國ノ態度ハ一定シタリト稱セラル露政府ハ同案ニ同意セサルヘシト云フ現ニ大藏省機關紙ハ此旨意ヲ漏セリ同機關紙ノ説ハ露國外務大臣カ合衆國ノ提案ニ對シ回答スヘキ公文ノ内容ニ外ナラス然レトモ吾人ハ他ノ點ヨリ米國ノ提起セル滿洲鐵道中立案ヲ以テ露國ノ爲メ有利ナリト認ムルモノナリ米案實行セラル、場合ニハ露清日三國間ニ國際的緩衝地成リ而シテ緩衝地ハ將ニ起ラントスル清國及日本ノ戰畧的動作ヲシテ困難ナラシムルノ效アリ米國ノ提案ハ日本ニ對抗シタルモノナリ滿洲カ中立地トナルコトハ日本カ清國ヲ自己ノ勢力ノ下ニ服セシムルコトヲ難事ナラシメ日本ニ妨害ヲ與フルモノナリ日本ハ右提案ニ極力反對スヘシ日本ハ英國ヲシテ同案ニ同意セ

シメサルカ爲メニ努ムル所アルヘシ日本ハ露國カ同案ニ反對スルコトヲ歡迎スヘシ露國ニシテ若シ米案ニ同意セハ日本ハ露國ニ對スルニ敵愾心ヲ以テスルニ至ルヘシ吾人ハ如何ニ日本ト好關係ヲ保ツニ汲々タリトシテモ米國ノ提案ハ吾人決シテ之ヲ無視スヘカラサルナリ同提案カ若シ現在ノ形式ニテ實行シ難キモノナリトセハ之ヲ修正ノ上實行シテ可ナリ何トナレハ本問題ハ露國刻下ノ政治的狀態ニ大關係ヲ有スレハナリト

「ルース」新聞所説ノ大要ニ曰、米國政府ノ提案ハ其本質上吾人ハ絶東ニ於テ依然積極的政策ヲ繼續スヘキカ將又此政策ヲ放棄スヘキカノ二問題ニ歸着ス露國カ積極的政策ヲ繼續スル場合ニハ吾人ハ同案ニ同意シ難クシテ滿洲ハ決シテ之ヲ列國ノ手ニ委スルヲ得サルヘシ然レトモ露國カ自己ノ國力ニ鑑ミ國家的任務ヲ顧慮スル場合ニハ露國ハ右提議ニ同意スルヲ要ス絶東ハ露國ノ中心ヨリ隔絶セルノ地ナリ同地ハ其中心ヨリ近東以上ノ遠距離ノ所ニアラナリ露國カ絶東ニ力ヲ用ユルコトハ失敗ノ原因ニシテ又我歴史の任務ニアラス絶東ニハ露國ノ歴史の任務無クシテ單ニ「ベツブラゾフ」氏ノ妄想アルニ過キス露國カ日本ヨリ貢フタル國民的創傷ハ未タ癒ユルニ至ラス露國ハ今日絶東ニ目的ヲ有スルノ必要無シ此點ヨリシテ露國ハ米國ノ提案ニ同意スルコト必要ナリ吾人ハ同提案ニ同意シ絶東ニ於テハ積極的ノ政策ヲ斷念シ絶東ノ現狀ヲ維持スルヲ自國ノ爲メ策ノ得タルモノト認ムルモノナリ露國カ同案ニ同意セハ日本カ露國ニ對シ積極的態度ヲ執ル場合ニハ列國特ニ米國ハ日本ニ對シ反抗スルニ至ルヘシ米國ハ日本ノ敵ナリ列國ノ滿洲ヲ監督スル場合ニハ絶東ノ平和ハ同時ニ列國ノ平和トナル

ナリ露國ハ絶東ニ於テ平和ヲ必要トス米國ノ提議ハ露國ノ國家的利益ニ適合スルヲ以テ露國ハ之ニ同意スルヲ要スト

「ルースキヤ、ウエードモスチ」新聞ノ論旨ニ曰、日本カ米案ニ反對ナルハ世人ノ豫期セシ所ナリト雖モ露國カ之ニ反對ナルハ吾人ノ豫期セサル所ナリ露國カ絶東ニ侵畧的政策ヲ放棄シタル今日ニ於テ滿洲ニ緩衝地ヲ設定スルコトハ露國ノ爲メ利益ナリ、「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ノ所説ハ日本ノ見解ナリ露國外務省カ米案ニ反對スルコト、セシ原因ハ日本カ之ニ反對シタルカ爲メニシテ露國カ若シ同案ニ同意セハ日本ナシテ我ニ對シ激昂セシメ其結果絶東ノ平和危険トナルカ爲メニ露國ハ米案ニ反對シタリトアリ吾人ノ見ル所ヲ以テスレハ露國ハ米案ニ對シ日本ト態度ヲ同フスルノ必要無シ歐洲諸國ハ事實米國ノ提案ニ同情ヲ表セリ吾人ハ我當局者カ絶東ニ於テ露國ノ爲メ大ニ價值アル北米合衆國ヲ疎ニスルノ理由ヲ解スル能ハサルナリト

以上ハ米國ノ提案ニ對スル露國諸新聞ノ論調ニシテ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ヲ中心トシテ中央黨即チ政府黨機關「ゴロス、ブラウドイ」、「ゴロス、モスクウイ」等及右黨機關「スウェー」ト、「ゼムシナナ」、「ルスコエ、ズナーミヤ」其他ハ同提案ニ反對シ又左黨即チ政府反對黨機關「ルーナ」、「ソウレメン」ノエ、「スローワオ」、「ルー」ス、「ルスキヤ、ウエードモスチ」等ハ同案ニ賛成セリ中央黨及右黨兩機關ハ異口同音ニ米案ヲ以テ露國ヲ無視シ輕蔑シタルモノナリトシテ共ニ米國ノ態度ヲ否難シタリ兩機關ハ此點ニ於テハ相一致スト雖右黨機關ハ左黨機關ト同一ノ口

調ヲ以テ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ノ親日的論調ヲ批難シ特ニ左黨即チ政府反對黨機關ハ熾ニ排日説ヲ唱ヘ米國ト接近シ清國ト親シムハ露國ノ爲メ利益ナリトノ説ヲ主張セリ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ハ保守國民主義ヲ抱キ國權説ヲ主張スル「スウオーリン」氏ノ主幹ノ下ニ在リト雖其記者ハ諸種ノ異分子ヨリ成立ス同新聞社員ノ多數ハ固ヨリ保守主義ノ人士ナリト雖社員中進歩的ノ思想ヲ有スルノ士少ナシトセス然レトモ民主革進的ノ思想ヲ有スルモノハ同新聞ニ執筆セス同新聞ハ社會ニ一大勢力ヲ有シ第一及第二議會當時民主主義ノ盛ナル頃ニ於テハ同新聞ハ一時少シク社會ニ勢力ヲ失ヒ之ニ反シ立憲民主黨機關紙ハ世ニ大ニ勢力ヲ有シタリシモ第三議會ノ今日ニ於テハ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ノ勢力舊ニ復シ同新聞ノ社説ハ所謂輿論ノ大多數ヲ代表スルニ至レリ同新聞ハ是マテ概シテ排日的ノ口調ヲ弄シ其社説ニ親日論ヲ見ルコト無カリキ然ルニ近來ニ至リ同紙ハ其社説ニ親日的ノ筆鋒ヲ弄スルニ至リ特ニ今回米國提案ニ對スル同新聞ノ社説ハ我日本諸新聞ノ論調ト全然一致セリ如上「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞社ハ異分子ノ集合體ナルヲ以テ其社説ノ我ニ對スル口調カ將來又如何ニ變化スルヤ豫知シ難シト雖現在露國ノ輿論ヲ左右スル力ヲ有スル「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞カ斯ノ如キ口調ヲ弄スルコトニ對シテハ大ニ注意ヲ拂フノ要アリ立憲民主黨機關「ルーナ」新聞ハコレマテ我ニ對シ敵愾的ノ口調ヲ弄シタルコト無キノミナラス屢々親日説ヲ唱ヘ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞及ヒ右黨機關紙ヨリ批難セラレタリキ然ルニ今ヤ「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞カ親日説ヲ唱ヘ來ルニ反シ「ルーナ」新聞ハ排日説ヲ

唱フルニ至レリ「レーナ」新聞カ親日説ヲ唱ヘシ頃ハ露國ニ於テ民主主義ハ全盛ヲ極メ左黨ハ各々其機關ヲ有シ特ニ立憲民主黨機關ハ輿論ノ多數ヲ代表シタリ其當時立憲民主黨機關ハ大ニ親日説ヲ唱ヘタルノミナラス社會民主黨、社會革命黨、勞動團等極左黨機關紙モ亦一般ニ日本ヲ稱賛シ我ニ同情ヲ表スルノ口調ヲ弄シタリ然ルニ第二議會ノ解散ト同時ニ民主主義ハ大打撃ヲ蒙リ極左黨ハ行動ノ自由ヲ失ヒ帝ニ同黨機關新聞カ發行ヲ禁止セラレ悉ク其存在ヲ失フニ至リシノミナラス立憲民主黨機關其他一般ニ改進自由主義ノ新聞モ亦多ク其發行ヲ禁止セラレ今ヤ彼得堡ニ於テハ有力ナル政府反對黨機關トシテハ獨リ立憲民主黨機關「レーナ」新聞アルノミ「レーナ」新聞ハ立憲民主黨ノ直接機關トシテ改進自由ノ主義ヲ有スル人士ノ意向ヲ代表ス是等人士ハ往年ノ如ク民間ニ勢力ヲ有セスト雖立憲民主黨ノ勢力ハ未タ社會ノ一部ニ侮ルヘカラサルモノアルヲ以テ同黨ノ動靜ニ對シテハ注意ヲ拂フヲ要ス

方今「ストルイピン」内閣ノ内政策ハ其宜シキヲ得國內無事平穩ニシテ加フルニ第三議會ハ政府黨ノ多數ヨリ成リ從ツテ政府反對黨特ニ立憲民主黨カ現政府ヲ倒シテ之ニ代リ自己ノ内外政策ヲ行ハントスルノ野心ハ固ヨリ今ヤ空想ニシテ此事ヤ同黨人士ノ自ラ首肯スル所ナリト雖世間ニハ今日ノ形勢ハ將來如何ニ變化スルヤモ計リ難シトノ觀察ヲ下スノ士少ナカラス極右黨ハ今日勢力ヲ得來リシト雖同黨カ大勢力ヲ得テ露國ヲ再ヒ獨裁君主專制國ノ舊ニ復スルノ困難ナルカ如ク極左黨カ露國ニ勢力ヲ得テ農制其他ニ社會主義ヲ行フコトハ一層困難ノ業タルハ勿論此事ヤ到底有リ得ヘカラサルコトナリトハ世間一般ノ觀察ナリト雖世間ニハ露國

ニ於テ立憲民主黨即チ自由改進派人士カ再ヒ勢力ヲ得テ要路ニ立ツノ時代到來セストモ保シ難シトノ説ヲ有スルノ士少ナシトセス此故ニ同黨ノ對内外政策ニ注意スルト同時ニ同黨機關ノ論調ニ留意スルコト必要ニシテ又今回米國ノ提案問題ニ關スル同機關ノ所説ニ對シテモ注意ヲ拂フヲ要アリ

右ノ如ク政府反對黨機關紙ノ論調ハ露國改進自由派人士ノ意見ヲ代表スルモノナルヲ以テ北米合衆國提案ニ對スル右機關紙ノ説ハ是等人士ノ態度トシテ注目スルヲ要スト雖同人士ノ説ハ今日露國ノ輿論ヲ代表スルノ力無クシテ之ヲ代表スルモノハ如上「ノオウオエ、ウレーミヤ」新聞ヲ中心トスル中央黨即チ政府黨機關紙ニ外ナラス政府黨機關紙カ今日北米合衆國提案問題ニ關シ我日本諸新聞ト其論調チ一ニスルコトハ特筆大書スヘキコトニシテ露國人間ニハ之ヲ以テ確カニ日露兩國ノ親交ヲ暖ムルノ好機會ト認ムルモノ少ナカラス

○清國郵傳部經營事業報告ニ關スル件

○公第四號(明治四十三年
二月十三日附)

小村 外務大臣

伊集院全權公使

在 清

當國郵傳部ハ一昨秋憲政編查館ノ奏定シタル考核章程ニ依リ同部ノ經營シタル逐年憲政籌備事項ニ關シ第二期(宣統元年上半年)報告書ヲ上奏シタルニ昨年十一月四日憲政編查館ニ交付ストノ勅命アリ右報告ハ昨年十二月八日ノ政治官報ニ掲載有之候抑モ郵傳部ノ所轄事項ハ當國新政ノ主要部ヲ占メ同部事業經營振ノ如何ハ清國今後ノ國運ニ多大ノ關係ヲ有スルノミナラス各國ノ對清關係ニモ影響スル所不少ルニヨリ特ニ注意ヲ要スル次第ナルカ今同部ノ第二期報告書ヲ詳閱スルニ先ツ同部ノ經營セル主要事業タル鐵道電信ニツキ補救擴張ノ二項ニ分テ更ニ各項ニツキ已ニ成績アリタルモノト端緒ノアリタルモノトノ二種ニ區分シ最後ニ船舶ノ整頓、航權ノ擴張及郵政權ノ回收等ニ關シ縷々數千言當國鐵道、電信、郵便、船舶ニ關スル現時ノ情況並ニ將來ニ對スル清國抱負ノ一斑ヲ窺フニ値スルヲ以テ煩ヲ厭ハス特ニ右全文ヲ譯出致候間委曲ハ別紙譯文ニテ御了承相成度候

右報告申進候敬具

○清國郵傳部經營事業報告ニ關スル件

四十三

(別紙)

郵傳部憲政準備第二期報告譯文(明治四十二年十二月八日政治官報)

憲政編查館ノ奏定考核章程ニ依レハ九年準備事項ニ關シテハ内外臣工ヲ責成シ每六ヶ月ニ籌辦ノ成績ヲ上奏シ並ニ該館ニ報告セシムルコト、シ光緒三十四年八月ヨリ同十二月迄ヲ第一期トナシ以後ハ毎年六月及十二月末ヲ以テ一期ト定メ毎年二月及八月内ニ各一回上奏報告スヘシトアリ嗣テ臣部ヨリ本年(宣統元年)閏二月十八日己ニ逐年籌備要政情況ヲ上奏シ該館ノ審査ヲ經タリ茲ニ第二期奏報ノ期ニ際シ遵章臚陳以テ邦典ヲ尊崇ス惟フニ郵傳ノ四政義交通ヲ主トシ其事皆國防民業ト相資ケテ用ヲ爲シ憲政機關ニ裨益ヲ與フ而シテ其要ハ地形ノ夷險ヲ轉移シ以テ民居ヲ度リ物産ノ盈虛ヲ懋遷シ以テ民器ヲ善スルニ外ナラス厚生利用國力斯ニ雄ニ八表經營焉ニ基始ス此レ臣部ノ職員ナリ惟フニ船政郵電ハ皆臣部未タ設立セサル以前ニ濫觴シ今ニ及ンテ擴張ヲ要スヘキモノ既ニ紛繁ヲ極メ又補救スヘキモノ甚タ複雑ナリ即チ擴張補救ノ著手ハ固ヨリ容易ナラスシテ其ノ端緒ヲ得ルコト甚タ困難ナリ茲ニ謹シテ本期籌備成績ニ付キ擴張補救ノ二項ニ分チ更ニ二項中著效、端緒ノ二種ニ區分シ我皇上ノ爲メニ縷晰之ヲ陳ヘン

請フ先ツ補救ヨリ述ヘンニ臣部ノ管轄中最モ緊要ナルハ鐵道、電信ノ二者ナリトス
一、鐵道ニ關シ補救籌備成績アルモノ 鐵道ニ關スル從前ノ借款契約ハ利權外移ノ意ヲ含

マサルナシ光緒三十四年京漢鐵道ノ白耳義借款ヲ完済シ同鐵道ヲ引繼キタル以後宣統元年五月マテニ營業收入ハ乃チ七十餘萬元ヲ増加シ外國人俸給年額約十萬元ヲ節減セリ是時京奉鐵道ニモ改良ヲ加ベタリシカ未タ半年ニ及ハサルニ收入一百萬元ヲ増加セシモ經費ハ却テ七萬餘元ヲ減少セリ而シテ英清合辦ノ南票炭礦契約ハ亦同六月ニ之ヲ買收シ該契約ハ駐英公使ニ照會シテ消滅セシム並セテ英商ノ差押ヘ居リタル運炭鐵道布設ノ借款十五萬磅ヲ取戻シ累年ノ交渉ハ茲ニ終結ヲ告ゲタリ新奉吉長兩鐵道ニ就テハ昨年臣部ハ條約ニ遵ヒ日本ヨリ借款スルノ便ニ乘シ委員ヲ派シテ日本公使ト續約ヲ議訂セシメタルニ新奉線ノ遼河以東ニ關シ日本ハ會計役ヲ派遣セサルコト、ナリ又日本技師ハ仍ホ京奉總辦技師長ノ支配ヲ受クルコト、ナリ吉長鐵道ノ技師長會計長ハ均シク清國ヨリ任命スルコト、セル爲メ本協約ヨリ多ク利權ヲ挽回スルノ結果トナレリ

一、電信ニ關シ補救籌備成績アルモノ 電政ニ至リテハ本ト中央機要ノ權ニシテ各國皆ナ專職ヲ置クモ清國ハ開辦ノ始メ民有株多ク以テ歷年ニ亘リ殆ント營業的ナルニ相同シ昨年臣部ハ電信民有株全部ヲ買收シ本年正月電信料二割ヲ減シタルモ收入ニハ格別ノ減少ヲ見ス同三月又上奏シテ局費年額約五萬餘元ヲ削減シ大ニ節減ヲ行ヘリ假令目前大ニ起色ナキモ權國有ニ歸シ通信自ラ敏活トナレリ以上ハ臣等ノ所謂補救籌備ノ効績著シキモノナリ

○清國郵傳部經營事業報告ニ關スル件

一、電信ニ關シ補救籌備緒ニ就ケルモノ
海運開ケシ以來清國ノ發達緩漫ナルニヨリ常人後ニアリ近年ニ至リ力爭シテ機先ヲ制セントスルモ既ニ遲シ夫レ中外ノ梯航ハ原ト聯貫ナ期シ郵傳四政ハ列國尤モ同盟ヲ尙フ所ナリ昨年臣部ハ外務部ノ照會ニ依リ葡萄牙ニ萬國電信大會アルヲ知り直ニ候選道周萬鵬等ヲ委員トシテ同地ニ遣ハシ聽講セシニ他日電信同盟ニ加入スル基トナセリ

一、鐵道ニ關シ補救籌備緒ニ就ケルモノ
又清葡公司トノ舊訂廣澳鐵道契約ハ明文上ニ於テハ清葡兩國ノ合辦ナルモ之ヲ他ノ鐵道契約ニ比較スレハ清國ノ不利益甚シク又葡國人ハ該鐵道ノ清國領内ハ清國ニテ布設スルヲ以テ該契約ノ取消ヲ願フニ依リ臣部ハ曩ニ前太僕寺卿張振勳ノ照會ニ基キ外務部ニ照會シ葡國公使ニ交渉センコトヲ請ヒ目下交渉中ニアリ以テ利權ノ挽回ヲ期待セリ以上ハ補救籌備ノ緒ニ就ケルモノナリ

一、鐵道ニ關シ擴張籌備成績アルモノ
請フ更ニ擴張ニ關シ述ヘン蓋シ鐵道電信ハ其改良整頓ノ法異ルト雖線路ヲ定メ起工スルノ點ハ同シク人力ノ舉クル所其地亦靈ナリ查スルニ鐵道ノ各工事ニ就テハ滬甯線六百三十餘清里ノ完成ヲ始トシ次テ杭嘉線一百二十八清里ヲ完成シ水陸ノ連絡敏活トナリ江南地方之レニ由テ大ニ便利ヲ増セリ次テ廣東省内ノ新寧意溪線及ヒ粵漢鐵道ノ黃沙琶江線落成セリ北方ニ於テ完成セル鐵道ヲ舉クレハ枝線ニアリテハ京師ノ門頭溝線(此ハ京張鐵道ノ支線ニシテ北京西直門驛ヨリ炭礦ノアル門頭溝ニ至ルモノナリ)黑龍江省ノ昂々溪線アリ而シテ規模ノ

大ナルモノニアリテハ邊地ニテハ京張鐵道中央ニハ汴洛鐵道アリ張家口ハ中原ノ形勝ト號セラレ居庸關ハ山谷ヲ扼塞シ駝馬皮毛塞北ニ充滿ス此鐵道ノ幹枝線僅カニ四百四十九清里ナリト雖モ天下ノ難工事ニシテ然カモ清國人ノ獨力ヲ以テ成功セルモノナレハ本年八月運轉開通スルニ當リテ沿道ノ人民驩呼セサルナク一時盛況ヲ極メタリ此ヨリ蒙疆朝ニ發シテタニ北京ニ達スルヲ得當タニ邊地殖民ニ便利ナルノミナラス畿輔ヲ鞏固ニスルノ効ヲ收メ得ヘシ汴洛線ハ延長四百餘清里ニシテ目下架橋工事未タ完成セサルモ其ノ兩岸既ニ運轉ヲ開始セリ將來延長シテ潼關ニ入ラハ陝西、山西ノ貨物礦物ハ黃河ヲ超ヘテ東方ニ運ハレ河南ノ物産ト共ニ京漢鐵道ニヨリ漢口ニ輻輳セン

一、電信ニ關シ擴張籌備成績アルモノ
電信ニ就テハ北京保定間、南京漢口間ノ大修理ヲ已ニ竣成シタルニ止マラス貴州省ノ貴陽興義線、湖南省ノ常德、益陽線、江西省ノ饒州、景德線、浙江省ノ桐鄉、雙橋線、江蘇、安徽省ノ下關、浦口線、上海、川沙線、太湖、安慶線、直隸省ノ保定、信陽線、信陽、光州線、河南省ノ汝川線ヲ新設シ舊線五萬餘清里ノ外更ニ三千九百餘清里ヲ新タニ延長シ悉ク完成シタリ以上ハ擴張籌備中ノ効績著シキモノナリ

一、鐵道ニ關シ擴張籌備緒ニ就ケルモノ
臣等鐵道計畫全圖ヲ按スルニ京張線ハ北幹徑線ニシテ京張ヨリ北方庫倫ニ至ルモノハ張庫鐵道タリ京張ヨリ折レテ西方綏遠ニ至ルモノハ張綏鐵道タリ其ノ南幹徑線ハ京漢ト粵漢ト相連リテ縱線ヲナシ津浦鐵道モ亦縱線タリ

而シテ汴洛線ハ左清海開徐ニ聯リ各洛潼西潼ニ聯リテ復タ東西一大緯線ヲ成ス近頃粵漢鐵道ノ書類ハ之ヲ引繼キ津浦鐵道ノ工事ハ臣徐世昌等係員ヲ督責シ期ニ遵ヒテ布設ヲ命シ其ノ東西緯線タル洛潼線ハ已ニ本部ノ許可ヲ得テ河南省紳士等清國人ニシテ經驗ニ富ムモノヲ技師トナシ且ツ委員ヲ派遣シテ西潼線及同蒲線トノ接續ヲ調査セシメタリ而シテ曩ニ派遣シタル清海開徐ノ測量委員ハ是時ニ於テ測量ヲ終了セリ惟タ張庫北線ハ沙漠ヲ通過シテ全長二千餘清里ニ亘リ工事困難經費巨額ナルタメ暫ク之ヲ見合セ已ニ計畫ヲ改メ先ツ張綏線ノ工事ヲ進メ左右相通スルノ計ヲナカントス其餘官營ノ廣九線民營ノ杭嘉線ハ引續キ敷設工事中ナリ吉長線ノ延長、正太線ノ各官設線路及ヒ川漢、河南、陝西、江蘇、浙江、雲南、四川、安徽、江西等ノ各私設鐵道ノ敷設費ニ關シテハ皆夫々委員ヲ派遣シテ調査ヲ了セリ各私設鐵道中雲南、四川、川漢線ハ最モ險要ナリ雲南、四川ハ已ニ該地總督ノ電報ニヨレハ招聘セシ米國技師多來、哈克、二人既ニ到著セリト云フ川漢ニ就テハ曩ニ該省ノ請ヒニヨリ詹天佑等ヲ聘シテ技師長トナシ同人等ニ責任ヲ負ハシメテ布設スルコト、セリ

一、電信ニ關シ擴張籌備緒ニ就ケルモノ 此數月以内ニ張家口、恰克圖、福州、廣東、湖南、湖北及陝西省内ノ電線ヲ同時ニ修理セリ只タ科布多クハ露國ニ隣接シ且ツ其南ハ「アルタイ」山ノ阻スル所トナルヲ以テ通信ヲ爲サント欲セハ無線電信ヲ新疆省ノ綏來ニ架設スルノ必要アリ既ニ臣部ハ外國商人ヲシテ電機ヲ實驗セシメ果シテ有効ナレハ架設スヘキ計畫ナリ近年北京ニ於テハ奏請ノ上新タニ電話機ヲ購入セリ各省ノ電話ヲ架設スル所ニハ章程ヲ上申シテ裁定ヲ經ヘキ旨ヲ命セリ

一、人才養成ノ計畫緒ニ就ケルモノ 之ヲ要スルニ鐵道、郵便、電信、航路ノ四政ハ皆ナ専門ニ屬ス故ニ臣等本部所管ノ各學堂ニ對シテハ尤モ注意シ上海學堂ニハ甫メ船電ノ兩科ヲ増設シ唐山學堂ニハ鐵道ニ重ヲ置クコト、セリ嗣テ唐山學堂ハ僅ニ機械工程ノ二科ノミナルヲ以テ復タ署傍(本部衙門附近)ニ管理專部ヲ籌設シテ列車管理ノ用ニ資シ更ニ北京及天津、上海、河南、湖北、廣東ノ五箇所ニ於テ總計二百餘名ノ學生ヲ募集シタルニヨリ學生全部到著ノ上冬期ニ開校スヘシ以上ハ擴張籌備ノ緒ニ就ケルモノナリ

一、借款返済並ニ新借款ニ關スル計畫 此外佛國ヨリ借入レタル正太鐵道借款ノ元金慰勞金合計佛貨四千萬「フランク」ハ契約ニ由リ明年ヨリ起リ全部之ヲ返済スヘク臣等所考慮セリ又開海清徐線ハ東西緯線ニ關係ナ有シ共ニ重要線路ナル爲メ臣等現ニ外務部度支部ト其籌辦ニ關シ商議シツ、アリ其他第三期ニ計畫實行スヘキ事項ハ前奏ノ籌備ニ恪遵シ仍ホ隨時核査奏明スヘシ以上ノ情況ハ唯タ鐵道電信ニ就キ述ヘタリ

一、船政ニ關スル計畫 次ニ郵便船舶ノ事ヲ一言センニ此兩項ニ就テハ近來調査中ニシテ本年八月ニ憲政編查館ヨリ臣部ヲ責成シテ籌備未タ盡サ、ル事項ヲ辦理セシムヘキ旨ヲ續奏セシカ船政ニ關シテハ諭旨ヲ奉シ招商局本部ノ所管ニ歸シ次テ北洋大臣ヨリ同局ニ關スル書類ヲ本部ニ送付シ來レリ思フニ招商局ノコトハ船司ノ一小事務ニ過キス本部ハ

中央行政ノ本ナルヲ以テ更ニ遠大ノ計畫ヲナサ、ルヘカラス而シテ今ヤ臣等ノ職責トシテ爲サント欲スル處ノモノハ(一)海外ノ航規ヲ採擇シ船律ヲ編修スルコト(二)内港ノ船隻ヲ調査シテ航權ヲ擴張スルコト(三)理船廳ノ舊章程ヲ研究シ權限ヲ劃定スルコト(四)船學科ノ新學堂ヲ創設シテ人才ヲ養成スルニアリ而シテ此等ノ事項ハ已ニ本部廳司ニ其計畫ヲ命シ一面河流海路ヲ考查シ並ニ郵船ヲ酌量提唱シ以テ漸次ニ航路ノ擴張ヲ期セリ

一、郵政ニ關スル計畫 郵政ニ就テハ臣等目下稅務處ト引繼方法ヲ協議中ナルカ頗ル錯雜シ居ルニヨリ書類全部引繼ノ上憲政編查館ノ編定セル章程ニ照シ機ヲ見テ經營スヘシ

抑モ臣部職掌ノ範圍ハ頗ル寬ク訂約已ニ外交ニ牽涉シ經費ハ更ニ財政ニ關係シ而シテ轉輸ノ好績ヲ舉クルニハ尤モ實業ノ振興ニヨル誠ニ按年好績ヲ舉ケント欲セハ必ス外務部、度支部、農工商部ノ各部ト協力シ始メテ克ク濟物阜民ノ効ヲ奏シ體國經野ノ功ヲ收ムルヲ得ヘシ海陸ヲ如何ニ交通シ音信ヲ如何ニ徑捷シ技師ヲ如何ニ教育シ專律ヲ如何ニ頒布スルニ至リテハ臣部ノ專ラ司ル所ニシテ責固ヨリ旁貸スルナシ臣等惟タ聖訓ヲ奉シ以テ難局ニ當ルヘシ謹ンテ奏ス

宣統元年九月二十二日(明治四十二年十一月四日)右奏摺ハ憲政編查館ニ交付ストノ勅命アリタリ

○比律賓群島新總督施政方針演說進達ノ件

○公第一八三號(明治四十二年十二月十日附)

小村 外務大臣

岩谷 副領事

客月二十四日總督府「マーブル、ホール」ニ於テ新總督「ウヰリアム、カメロン、フオーブス」氏就任式舉行ノ次第ハ十一月二十六日附公第一六八號信ヲ以テ及報告候通りナルカ當日發表ノ新總督施政方針演說竝ニ民撰議院議長「セルビオ、オスモニア」氏(比律賓人)ノ總督紹介演說原文及當館龜命書記生翻譯ニ係ル同譯文相添ヘ別冊及進達候敬具

(別冊甲) 比律賓群島新總督ノ就任式場ニ於ケル施政方針演說

同胞諸君 人アリ國家テウ船ヲ導カントスル時ニ當リテハ先ツ彼ノ執ラントスル船ノ進路ヲ示シ且ツ船ノ目的トスル處ハ那邊ニ存スルニセヨ兎ニ角吾人ノ將サニ達セント望ムトコロノ目的ヲ告クルヲ以テ恒例トハナスナリ此時ニ際シ先人ノ前キニ此國家ナル船ノ指導ヲナセルトキ據レル教訓ヲ顧ミテ新ニ之レカ想念ヲ喚起セシメ而シテ現時ノ諸問題ニ面カヒ且ツ吾人今後ノ企畫ヲ策スルハ有益ナルモノナリ最初比律賓群島ニ對スル米國政府ノ政策ヲ施行シタル政治家ニハ「ウヰリアム、マツキンレー」、「テオドール、ローズベルト」、「エリヒユ、ルート」、「ウヰリアム、エイチ、ダフト」及「ルーク、イト、ライト」等ノ諸氏アリ而シテ諸氏ハ米國大統領

○新總督施政方針演說進達ノ件

五十一

或ハ陸軍卿ノ要職ニアリテ合衆國々政ヲ指導シタル人々ニシテ斯カル人士ノ比律賓群島施政ノ局ニ當ラレタルハ實ニ本群島ノ幸福タリシナリ又「デューウェー」提督ノ下ニ米國海軍ノ樹テタル最初ノ偉勳並ニ其後有名ナル「オーナス」及「マツクアーサー」兩將軍ノ下ニ米國陸軍ノ遂行シタル功業及民政開始ノ偉績ハ共ニ其貢獻大ニシテ常ニ世ノ賞嘆及尊敬ヲ受クルニ足ルモノナリ

由來創業當初ニアリテハ至極ノ努力、至高ノ才幹ハ常ニ要セララル、トコロナリ而シテ大統領「マツキンレー」氏ハ比律賓群島第一次民政總督トシテ「タフト」氏ヲ撰ンテ之レニ任シタル氏ノ明ハ果シテ「タ」氏カ一世ノ輿望ニ副ヒ大多數ノ投票ヲ以テ昨年十一月米國大統領ニ當撰セラレタルヲ以テ是認セラレ且ツ充分ニ證セラレタリ而シテ「タ」氏ハ初メ比律賓行政委員會々長トシテ續テ總督トシテ轉シテ陸軍卿トシテ比律賓群島々政ニ干與セラレタリ而シテ今ヤ合衆國々民ノ天與ノ最高位置ヨリ合衆國施政ヲ指導シ職務ノ完成ニ務メツ、アルナリ

余ハ米政初期ニ於テ彼ノ有名ナル比律賓ノ知友「ライト」總督施政ニ付簡單ナリトモ言及セスシテ止ム能ハサルナリ氏ノ先見ノ明ハ政府機關ノ秩序ヲ編成シ其有用且ツ効力ニ對シ大ナル鞏固ヲ有セシメタリ又比律賓群島々政ヲ互ニ相繼承セル初期四代ノ總督ハ各其公私ノ上ニ忠直事ニ當リ其心事ヲ疑ハル、些ノ陰翳タモ認メラレサリシナリ

斯ノ如クシテ吾人ノ爲スヘキ事業ノ基礎ハ組織的ニ置カレ又其計畫ハ廣ク各方面ニ涉リテ用意セラレタルヲ以テ前任諸氏ニ比シ遙カニ其才幹ノ劣リタル者モ猶ホ政局ニ當リテ國政ヲ運

用シ然カモ前任諸賢ニアラサレハ其良績ヲ舉ケ能ハサルノ成功ヲ贏テ得ルコトヲ望ミ得ラルニ至レリ又吾人ノ總テヨリ愛敬セラレタル最近ニ退職シタル「スミス」總督ノ美德ヲ一々此ニ列舉スルハ實ニ難事ナルヲ以テ此ニハ同氏ハ世人ニ優レテ公正ノ心ヲ持シ職務ヲ奉事スルコト厚ク而シテ私行上廉潔ニシテ些ノ汚點ナカリシコトヲ述フルト共ニ誠ニ當代稀ニ見ル人格崇高ノ士ニアラサレハ此等ノ美德ニ於テ「ジェームス、フランシス、スミス」氏ニ比肩スヘクモアラサルコトヲ述ヘテ其人トナリノ一端ヲ窺フニ供セントス

大統領「マツキンレー」氏ヨリ比律賓行政委員會ニ對シ直クニ比律賓民政建設ニ着手スヘク下セル訓令ニ於テ次ノ語アリ何レノ場合ナ問ハス地方民政ヲ處理スルノ市政官吏ハ人民ニ依リ選舉セラレサルヘカラス而シテ又市ヨリ廣大ナル管轄地ヲ有スル官廳ノ官吏ハ何レニセヨ或ル方法ニ依リ選舉セララルヘク比律賓人亦選舉セララル、ヲ得ヘシ若シ比律賓人ニシテ其任ニ耐ユルコトヲ認メラレ且ツ其職務ヲ行フノ志望ヲ有スルトキハ就任上其他ノ者ヨリ優先權ヲ有スヘシ

比律賓群島ニ於テ責任及官權ヲ有スル總テノ官職及位置ニ任命セララル、ニ必要ナル資格ハ合衆國ニ對シ絕對ニ且ツ無限ニ忠實ナラサルヘカラス而シテ此規矩ニ悖ルトコロノ官吏ヲ矯正シ又ハ處罰スル權力ハ絕對ニシテ且ツ完全ノモノナレハ此權力ハ常ニ比律賓群島中央官憲ノ手中ニ掌握セサルヘカラサルモノトス

比律賓群島行政委員會ハ其附與セラレタル權能ニ依リ政府ノ構成及官規、官制等制定スルニ

當リ其建設中ノ政府ハ吾曹米人ノ満足ヲ得ンカタンニアラス又我等米人ノ理想ヲ實現センカ爲ノニモアラスシテ比律賓群島人民ノ幸福安寧及繁榮ノタメニシテ且ツ其採ラル、各種ノ措置ハ比律賓人ノ風俗習慣ニ從ヒ且ツ假令比律賓人ノ僻見ト雖モ公正ニシテ有効ナル政府ヲ成立セシムルニ必要ナル要素ニ對シ十分一致スヘキモノアルトキハ之ヲ退ケスシテ行ハサルヘカラス而シテ斯レ行政委員會ノ念慮ニ置カサルヘカラサルモノナリ

之レト同時ニ比律賓行政委員會ノ念慮ニ置キ又本群島人民ノ明カニ了解セサルムカラサルコトハ由來政治ニハ或ル大主義ノ存スルモノニシテ吾人ノ政治制度ニ於テハ法治及個人ノ自由ヲ以テ其基礎トナス之レ吾人ノ最モ肝要ナルモノト思料スルトコロノモノナリ然カルニ比律賓人ハ不幸ニシテ吾人ノ享有セル此ノ法治及個人ノ自由ヨリ拒マレ居リタリシナリ而シテ又此ノ自由及法治ノ二大主義ノ保護上吾人ノ必要ヲ感スルトコロノモノハ政治ノ或ル實施法規ニシテ從來比律賓人ノ親シミタル習慣或ハ行爲法ノ上ニ如何程多クノ苦痛ヲ蒙ラスト雖モ苟モ比律賓人ノ自由並ニ幸福ノタメナランニハ此法規ヲ設ケテ實施セサルヘカラサルコトナリ

合衆國文武兩政ノ總テノ官吏及雇員ニ於テハ管ニ形式ニノミ走ラスシテ衷心其職責ノ存スルトコロヲ服膺シ比律賓人民ノ社會上及私行上ノ權利ニ留意シ而シテ合衆國人民カ相互ニ此迄慣レ來レルカ如ク比律賓人ノ個人尊嚴ニ對シテモ同様ノ好意尊敬ヲ以テ待遇セサルヘカラス」

斯ノ如ク大統領「マツキンレー」氏ノ訓示ヲ解拆スルトキハ吾人ハ吾人ノ目的トシテ進航スルトコロノ彼岸ハ取りモ直サス比律賓人ノ幸福、安寧、繁榮ナルコトヲ明カニ會得セラレ得

ナリ而シテ今日比律賓人ノ幸福、平和及繁榮ヲ享クルトコロノモノハ即チ吾人ノ成功ニシテ又比律賓人ノ此祝福ヲ享受セサルトコロノモノハ即チ吾人ノ尙ホ未タ成功セサルトコロノモノナリ然ルニ今ヤ比律賓人ハ平和ナリ而シテ現代廣ク行ハル、思想、言論、禮拜、勞動及好機ノ自由並ニ公正ニシテ完備セル法律賢明ニシテ鞏固ナル政府ノ下ニアリテハ幸福ヲ得ルノ手段手近ニアリ敢テ之ヲ遠キニ求ムヘキニアラス吾人ハ斯ノ如ク信シ比律賓人ニ繁榮ヲ齊ラスコトニ吾人ノ注意ヲ集中スルヲ得ルナリ

比律賓群島ノ氣候ハ特ニ或ル種ノ產物ニ好適ス而シテ律義ニ且ツ利發ニ業務ニ出精スルニ於テハ能ク大ナル報償ヲ產出セラル、ナリ然カルニ尙ホ比律賓群島ニ於テハ貧困ニ悲ミ而シテ收穫ノ確カナラサル處ニ於テ最モ必要ナル備荒貯蓄ヲナスナク其日暮ヲナスモノ今時ノ醫藥及外科術ニ依リテ輕減セラルヘキ病苦ヲ其儘ニナスモノ體力保持ニ必要ナル滋養食物ヲ缺キ風水火ニ耐ユルニ足ルノ住家ナキモノ或ハ現代ノ文明社會ニ於テ幸福ヲ享クルニ必要ト思ハル、此等必需品ノ多數ヲ缺クノ人民アルヲ知ル

抑モ人類ノ根本的生活狀態ヲ稽フレハ稍ヤ此等狀態ノ因リテ來レルトコロヲ知ラル、ナリ如今比律賓人ノ大多數ハ尙ホ原始的狀態ヲ保存ス即チ太古ニアリテハ人ハ各々自己ノ使用ニ必要ナル總テノ物ヲ供給シ且ツ自身ニ產出シ得ラル、物ノミヲ以テ生計ヲ營ミタリシモ今ヤ吾人ハ各自ノ生産ニ最モ適當ナル貨物ヲ供給シ之ヲ他人ニ賣リ而シテ斯クシテ得タル金錢ヲ以テ自己ノ生産物ヨリハ良好ニシテ廉價ナル貨物ヲ他人ヨリ買ヒ求ムルノ時代ニ進ムヘシ努

力セサルヘカラス此レ即チ商業ノ本旨ニシテ斯カル事態ハ經濟的適當ナル運輸ノ便ナクシテ成シ能ハサルモノナルニ不幸ニシテ從來此便チ欠ケリ

余ハ支那人勞働者ノ入國ニ反對スルノミナラス比律賓群島ニ於テハ斯カル外來ノ勞力ヲ要スルトハ思ハレス蓋シ比律賓人ハ本群島ニ於ケル總テノ勞役ヲ成シ遂ケラル、チ以テナリ余ハ比律賓人ニ對シ深ク信スルトコロノモノハ比律賓人勞働者ニシテ適當ニ扱ハレ相應ニ賃錢ヲ拂ハレ而シテ其得タル金錢ヲ以テ彼自身並ニ其家族ノ生活狀態ノ改善ニ資シ且ツ通常人ノ好シテ勞働ニ赴クトコロノモノハ自己ノ慾望物ヲ得ンカ爲メニテアレハ之レヲ購求スルノ機會ヲ與ヘラル、ナラハ彼レ勞働者ハ其與ヘラレタル好機ニ應酬シテ之レヲ捕捉スルノミナラス本群島ノ需要スル總テノ勞力ヲ供給スルコトヲ事實ニ於テ證明セラル、ナルヘシ果シテ然カラハ本群島ノ要求スルトコロノモノハ資本ナルヘシ此ニ於テ少許ノ比較統計ニ對シ吾人ノ注意ヲ轉スルチ許セ布哇ノ全人口ハ十九萬八千人ニシテ比律賓群島人口ハ目下大凡ソ八百萬ヲ算フレハ布哇ハ約其四十分ノ一ニ當ル而シテ千九百七年中布哇ノ外國貿易輸出高ハ米貨二千九百萬弗ニシテ同年中比律賓群島ノ外國貿易輸出高ハ米貨三千四百萬弗アリタリ換言スレハ人口及輸出高チ基トシ兩國輸出貿易ノ能力ヲ比スレハ布哇ハ比律賓ニ比シ約三十六倍ニ相當ス斯カル現象ハ比律賓人ニ比シ布哇ノ勞働者カ勝サレルノ故ニアラサルコトハ近頃布哇ヨリ人チ本群島ニ送り求メ得タル少數ノ勞働者カ布哇ニ於テ使役セラル、トコロノ日韓人及其他ノ勞働者ト同一ノ成績ナルチ報セラレタルチ以テ知ラル、ナリ又「ポート、リコ」ノ人口

ハ百萬人ニシテ比律賓人口ノ八分ノ一ニ相當ス而シテ千九百七年中同國ノ外國貿易輸出高ハ米貨二千七百萬弗ナレハ「ポート、リコ」ハ布哇ノ舉ケタル成績ノ如ク勞力使用ノ經濟ニ於テ之レト同等ノ成績アラサシ蓋シ人口及輸出貿易高チ基トシ兩國ノ成績ヲ比スレハ「ポート、リコ」ハ僅カニ布哇ノ六分ノ一ニ相當ス更ニ此チ比律賓ニ比スレハ六倍ノ輸出力アルニ相當ス又布哇及比律賓ニ島ニシテ「ポート、リコ」等シキ輸出力ヲ以テ其產物チ外國ニ販賣セラレタランニハ此等三島ノ一ケ年間ノ輸出總高ハ米貨一億二千六百萬弗ニ上リタラン而シテ又此等諸島カ布哇ト等シキ生産力ヲ以テ輸出貿易ヲ經營セラレタランニハ此等三島ノ一ケ年間ノ輸出總高ハ米貨十一億七千九百萬弗ヲ算シタルチラン而シテ布哇ニ於テハ資本豊富ニシテ最新式耕作法ヲ採用シ製造及荷造ニ工夫ヲ凝ラシ加フルニ充分ニ適當ナル汽車汽船ノ便利チ有スルチ見レハ其貿易力ノ旺盛ナル所以チ説明スルニ足ル之レヲ換言スレハ布哇ニ於テハ勞働者事業ヲ計算ニ置クモ比律賓ニ於テハ然ラス否比律賓ニ要スルトコロノモノハ勞働者ニアラスシテ資本ニアリ然カルニ多數ノ比律賓人ハ合衆國或ハ其他ノ國ノ何レヨリシテモ資本チ本群島ニ輸入スルニハ反對ノ傾向チ有ス蓋シ比律賓人ハ此チ以テ兎ニ角彼等ノ熱望(註)比律賓ノ獨立チ云フチ現實スルニ妨ケアリトスレハナリ然ガレトモ余ノ判斷ニ依レハ比律賓人カ此ノ外資輸入チ拒ムハ却ツテ彼等ノ目的ニ反對ノ結果チ齎ラスチ信ス外資ノ助ケチ待タスシテ比律賓群島ノ隱レタル富源チ開發シ充分ナル資本ノ蓄積チ待ツテ内ヨリ内國産業チ發達セシメントスレハ數世代ノ時ノ進ミチ待ツテ始メテ之レヲ成シ得ラルヘキハ爭フヘカラサルノ眞理ナ

リ然カルナ何カ故ニ此ヲ期待スルヤ抑モ吾人ハ吾人ノ用途ニ充テシタメ他國ニ於テ既ニ蓄積セラレタル富ヲ宜シク誘致スヘキナリ而シテ外資輸入ノ爲メ利益ノ幾許ハ本群島ノ外ニ流出スルノ事實或ハ外國資本家カ本群島行政上ニ或ハ彼等ノ政治上ノ位置ニ於テ勢力發展ノ事實ニ起因スル不利益ハ或ハ生スルヤモ圖リ難キモ之レヲ外資ヨリ流溢スルノ利益ニ比スレハ其差引上餘ストコロノ利益ハ蓋シ遙カニ大ナルヲ確信ス資本ハ鞏固ナル政府ノ下ニ來リ決シテ特ニ或ル種ノ國旗ノ下ニノミ利益ヲ私スルモノニアラス資本ノ要スルトコロノモノハ公平ニシテ完備セル法律ニアリ健全ニシテ統一アル政策ヲ有スル政府ニアリ公平ノ取扱ヲナスノ裁判所ニアリ

米國ノ信用ハ比律賓群島ニモ及ヘルモノナレハ此等ノ總テノ恩惠ハ比律賓人ニ對シ永久保證セラル、ナリ故ニ資本家ハ資本ヲ放下スルニ當リ法律ニ依リテ定メラレタル條件ヲ十分ニ具備スルノ方法ヲ採ラハ資本ノ安全ニ對シ毫モ懸念スルニ及ハサルナリ

合衆國ハ比律賓群島ニ於テ鞏固ナル政府ヲ建設シ之レヲ維持スルコトノ約言ヲナスモ斯ハ獨リ本群島ニ放下セラル、資本ノ爲メノミニアラスシテ實ハ比律賓人ノ福利ノタメ及ヒ世界ヨリ合衆國ノ善キ信用ヲ博センカ爲メナリ抑モ外資ノ安全ハ當ニ比律賓人ノ繁榮及其他各種權利ノ一般保全ノ内ニ含マル、モノニシテ偶然ノ出來事ナリ然カルニ今此繁榮及權利ハ共ニ永久ニ保證セラルレハ本群島ニ來ラントスル資本ニ對シテハ適法ナル種々ノ誘引ヲ試ミルハ吾人ニ取リテ善良ナル大體政畧ヲラン而シテ斯カル見解ニ基ケル目的ヲ以テ從來放資ヲ躊躇セ

シメタルトコロノ比律賓土地法、鑛山法等ヲ寬裕ニシ其種々ノ障害ヲ減縮セサルヘカラス余ハ適法ナル企業ニ從事セント願フ總テノ比律賓人ニ對シ歓迎ノ手ヲ伸フルヲ政策トスルモノナリ

「トラスト」ノ比律賓耕地地ニ入込ムコトアラハ之レヨリ生スル結果ニ付キ胸中多少ノ疑惑ヲ懷ク比律賓人アルモ抑モ「トラスト」ナル辭ハ假令ハ油氷或ハ鋼ノ如キ或ハ普通ノ費消品ヲ多量ニ製造スルタメ放下スル資本ノ合同ナル意味ヲ適當ニ言顯ハスニ用ヒラレタルモノニシテ今代發達ノ傾向ハ全ク斯カル精力集中ノ方針ニアリ而シテ合衆國ニ於テハ此ノ感動ハ多大ノ發達ヲナシ吾人ハ多大ノ繁榮ヲ樂メリ「トラスト」ニ依リテ賣ラル、貨物ハ此レカ構成以前ニ於テ附セラレタル價格ヨリ一層ノ廉價ニテ販賣セラル、ヲ得而シテ合衆國ノ勞働者ハ世界ノ何レノ場所ヨリモ高キ勞銀ヲ得テ生計好良ナリ合衆國ニ於テハ熟練職工ナラサル普通ノ勞働者ニテモ一日ノ勞銀比貨四「ペソ」乃至六「ペソ」ヲ得ルコト珍シカラス然カルニ比律賓群島ニ於テハ普通一日ノ勞銀比貨四十仙乃至六十仙ニシテ恰カモ合衆國ニ於テ勞働者ノ得ル勞銀ノ十分一ニ當ル然カモ其賃銀ノ高低ニ比シ決シテ勞働ニ差等アラサルナリ然カレトモ「トラスト」ノ管理宜シキヲ得サレハ「トラスト」ハ不法ノ同盟ヲナシ商業ヲ阻害シ或ハ社會ノ不利益ヲ來スノ時ニ於テ不當ニ價格ヲ高ム斯ノ如クシテ「トラスト」ハ法律ノ上ニ超脱シ而シテ社會ノ幸福ノ脅迫トナリ得ルモノナルコトハ既往ノ實驗ノ證明スルトコロナリ去レハ本群島ニ「トラスト」ノ放資ヲ望ムニ付キ起ル唯一ノ問題ハ之レニ對シ政府ノ實施スル管理方法ノ良否

ニ繋カル然カレニ現行關係法律ニ依リ「トラスト」ノ斯カル恐ルヘキ危險ヲ防止スル爲メ米比兩政府ハ之レヲ治ムルニ十分ナル權力ヲ賦與セラレ居レリ
民籍調査ヲ解拆スレハ本群島ニ於ケル人口ノ分布ハ或ル特異ノ現象アリテ或ル地方ハ人口稠密ニシテ過剩セルニ他所ニハ實ニ無人ノ地アリ然カルニ人口稠密ノ地必スシモ豊富ナラス而シテ多クノ地方ヨリ信用アル適當ノ労働者ノ供給ヲ得難キコトノ苦情ヲ耳ニスルハ誠ニ奇異ナリ故ニ政府ハ其官船ヲ最モ適當ニ使用シ労働者ノ缺乏セルトコロノ耕地ニ移住セントスル家族ニ無賃乗船ノ便ヲ與ヘ斯クシテ本群島ノ總テノ產物ヲ増殖セシメ能フコトヲ信ス政府ノ労働局ハ既ニ此方針ニ向ツテ多少ノ進歩ヲナセリ

「ベトン」氏提出ノ米比間自由貿易案ノ合衆國議會通過ハ比律賓群島ニ新生命ヲ與ヘラルヘシ之レニヨリ比律賓產物ハ吾人ノ鄰人ニ開放セサルトコロノ世界ノ最好市場ニ出ツルコトヲ證セラル又之レカ爲メニ烟草、砂糖、護謨、絹等ノ如キ比律賓主要產物ノ產額ヲ膨大セシムルニ足ルノ氣運ヲ本群島ニ與ヘラル斯ノ氣運ハ群島ノ至ル所ニ感知セラル、トコロノ蘇生ヲ生シ從來殆ント再起シカタキ困難ト苦闘シツ、アリタル比律賓人ノ心ヲ覺醒シ新シキ希望ヲ湧起セシムルナラン

運輸機關ニ組織的一般ノ改良ヲ加ヘ速カニ之レヲ完成スルコトハ吾人ノ經綸ノ一部ナリ現在建設及企畫ノ鐵道ハ合ハセテ殆ント一千哩ニ達ス内其半ハ、既ニ竣功セリ而シテ此鐵道ナルモノハ新時代ノ初メニ於テハ自カラ進歩ニ熱心ナルモノナレハ多數人民ハ此ニ依リ運輸ノ便

ヲ得ラルヘシ

河川港灣ハ權勢アル運輸機關ニシテ鐵道ノ便益ト共ニ齊シク緊要ナルモノナレハ政府ハ之レカ發達ニ努力セサルヘカラス比律賓群島ニ於テハ航通スヘキ百餘ノ河川アルモ皆波濤ノ陸岸ヲ洗ラヒ土砂ヲ運ヒテ沙灘ヲ作り之レカ爲メ遠洋航海ノ汽船ハ既ニ其河口ニ於テ鎖サル故ニ特ニ注意シテ此等沙灘ヲ浚渫シ護岸墻壁及注瀉ノ道ヲ築造シテ斯カル自然ノ公道ヲ利用シ比律賓群島ノ使用及發達ニ資セサルヘカラス而シテ政府ハ此等航行ヲ得ヘキ總テノ河川ノ左右沿岸ニ於テ見渡ス限リ繁榮幸福ナル人民ニ依リテ占有セラル、田畝ノ列ヲ見ラル、迄罷メサルヘカラス

此等鐵道河川港灣等ニ比シ猶ホ一層緊要ニシテ然カモ其補充タルモノハ道路ニシテ其事業ノ現在ノ進歩ニ於テハ余ハ比律賓人民將來ノ成功ニ對シ最モ幸福ナル前表 見ル千九百七年十一月ニ於テ比律賓行政委員會當時迄ハ比律賓唯一ノ立法機關ニテアレリハ道路ノ築造及之レカ維持ニ必要ナル經費年額支出ニ關スル適當ナル規定ヲ備フル法案ヲ通過スルニ至ラズシテ閉會ヲ告ケタリ然カルニ民選議院ノ議員ハ道路事業ニハ最モ進歩シ且ツ光輝アル趣味、有シ國庫ノ支辨シ能フ限リニ於テ本事業ノ目的ノタメ道路資金ノ支出ニ贊シ最モ寛大ナル道路章程ヲ制定シタルコトニ付テハ余ハ喜ンテ同議員ヲ信任スルモノナリ又立法議會ノ未ダ召集セラレサル前ニ當リ行政委員會ハ州會議員ノ多數ヲ選舉ニ依ルノ法律ヲ制定シタリ斯カル措置ハ各州ニ自治制ヲ擴大シタルモノニシテ大統領「マツキンレー」及「ローズベルト」二氏ノ

訓令及ヒ在比律賓米國政府ノ政策ニ副ヘルモノナリ
道工計畫ノ成功ハ毎年人頭稅額 (Cedula or poll-tax) ナ比貨「ペソ」ヨリ「ペソ」ニ増加ス
ルノ法案通過ヲ得ルニ繫カル此レカ通過ヲ得シニハ州會議員ヲシテ其州現在ノ發達及將來ノ
繁榮ノ爲メ道路ノ築造及維持ノ必要ヲ認シムルニアリ然カルニ州會ニ於テハ第一年ニ於テ
ハ三十一州ノ内二十七州第二年ニハ三十州第三年ニハ三十一州即チ關係諸州舉ツテ二倍ノ人
頭稅ヲ採用セリ斯クノ如ク州會議員自カラ進歩ニ率先シタル事實ニ徴シ彼等ハ如何ニ高尙ニ
之レカ必要ニ應答セシヤヲ知ラル、ナリ
政府ノ總テノ建築ハ堅固ニシテ永久的ノモノナラサルヘカラス構造堅牢ナル建物ハ好良ナル
造營物タルヲ値ス吾人ノ民衆ハ甚シク貧困ニシテ吾人ノ富源ハ薄弱ニ憐レナリ斯カル窮迫セ
ル吾人ノ資財ヲ以テ限リナキ總テノ費途ニ充ツルヲ容サス政府ノ建物及橋梁ハ常ニ「コンク
リート」ヲ用ヒ工力ヲ強ムヘキ道路ハ地盤ヲ強固ニシテ表面ハ耐久的ノモノナルヘク道路監
視人ヲ置キ之ヲシテ常ニ鋭敏ニ見廻ハラシメ些ノ頽狀アラシメス吾人ノ埠頭ハ恐レヘキ海虫
ノ侵蝕ノ害ヲ受ケサル材料ニテ造ラサルヘカラス而シテ總テ吾人ノ築造計畫ハ少ナクトモ五
十年間ノ使用ニ耐ユルヲ基本トシタル最モ經濟的ノ構造ヲ以テ建設セサルヘカラス、
比律賓人ハ身體甚シク強壯ナラサレハ軀幹強壯ナル人ニ依リテ爲サレ得ル作業ニ適セス衛生
官吏ノ試験ニ依レハ其視察シタル地方ハ最モ公平ナル代表的地方ト見做サレ得ル處ナルニ
此等ノ地方ニ於ケル人民ノ大多數ハ腸虫ノ寄生セルヲ見出セリソモ腸虫ノ體內ニアリテハ其

人ノ元氣ヲ消耗セシメ作業ノ力ヲ弛メ病氣ニ對スル抵抗力ヲ弱クスルモノナリ而シテ腸虫發
生ノ主因ハ此等人民カ腐敗セル上水ヲ飲ムノ習慣ニアリ故ニ純良ナル飲料水ヲ供給スルコト
ハ衛生ノ目的ヲ達スル上ニ於テ第一ニ緊要ナルモノナリ此目的ヲ達スルニハ本群島内各市各
村ニ於テ噴水井ヲ有セサルヘカラス是レ最要ナル手段ナリ幸ニシテ人民自カラモ此必要ヲ感
スルコト切烈ナレハ群島政府ヲ始メ地方ノ州政府及市政府ノ各階級ノ官府ニ於ケル民選當局
者ヨリ斯カル最要ナル人生事業費支出ノ協賛ヲ得ルニ困難ヲ覺ヘサリシナリ
本群島ニ於ケル幼兒死亡ハ驚クヘキ高率ニテ此ヲ防壓スルハ政府宜シク努力スヘキ一事業ナ
リ幼兒ノ養育ニ留意スレハ人口増殖ノ結果ヲ來タスヘク並ニ小兒ノ體格ヲ好良ニスヘケレハ
本群島ヲ利スルコトヲ誤ラス

善良ナル市民ヲ作ルカ爲メニハ土地所有權ヲ明確ニナスニアリテ之レニ勝サル有力ナル手段
アラス而シテ之ヲ債務ノ擔保ニ充ツルタメ或ハ之レヲ賣却スルニ當リ買主トノ間ニ容易ニ訴
訟沙汰ノ起ルカ如キコトナカラシメ適當ニ之レヲ賣拂ラヒ得ラル、タメニハ地主ハ自己所有
ノ土地名義ノ登記セラル、コト必要ナリ故ニ各市ニ於ケル總テノ部分地ノ完全ナル測量ヲ行
ハレンコトハ余ノ目的ナリ故ニ土地登記裁判所ノ判事ハ測量セラレタル各部分地ノ所有權ヲ
速カニ定メ而シテ所有權ノ定マリタル土地ニ對シテハ政府ハ政府ノ之レニ投シタル費額ノ差
別ニ基キ地券ヲ附與シ土地所有者ヲシテ政府ノ投資額ノ六割乃至八割ヲハ年賦ノ便法ニ依リ
適宜相當官衙ニ納付セシムルコトニ處理センコトハ余ノ望ムトコロナリ斯クノ如クスレハ土

地測量者ノ旅行ヲ省キ甚シク其費用ヲ減セラルヘシ而シテ農業銀行及郵便貯金局ハ資本貸付ノ便益ヲ圖ルニ適當スヘク從テ農業上尠ナカラサル助ヲ與ヘラルヘシ余ハ近キ將來ニ於テ土地登記裁判所ノ欠員任命ノ意アリ又政府ハ明カニ公益ノ妨ケトナラサル處ニ於テ土地ヲ占有スルモノニ對シ之レカ地券ノ發行ヲ拒マサルノ政略ヲ採用セラルヘシ以上ノ各措置ハ現今滯セル土地登記事務ヲ革新スルナラント信スルナリ

灌漑ノコトニ付テハ政府ハ活潑ニ測量ヲ續行シ各方面ノ調査ヲ集メ遂ニ本群島灌漑全部ノ測量ヲ遂ケ而シテ灌漑ノ備ヘアル各地積、平時並ヒニ旱天時ノ河川ノ水量、洪水ノ時ニ備フル必要工事、加工灌漑費及改善セラルヘキ土地ノ毎「ヘクタール」ニ對スル通水費等ヲ知悉セントスル政府ノ計畫ナリ政府ハ灌漑工事ヲ全ク一州或ハ一島ニノミ偏セサラシメスシテ之レヨリ生スル利益ヲ擴ク配付スルニ意ヲ用ヒ毎「ヘクタール」ノ水利工事建設費ノ最モ少キ地積ヲ最初ニ發達スルノ計畫ナリ

灌漑制度ノ維持費放資金ノ利子及其他基本金ノ附加金等ハ之レカ恩惠ヲ蒙ル土地ヨリ徵收シ立法議會ヨリ支出セラル、繼續費年額比貨七十五萬「ペソ」ニ附加金ヲ合ハセ之レヲ善用シテ資金ヲ豊カナラシメ幾年ノ後ニハ全群島ニ水利工事ヲ完カラシメ其恩澤ニ浴セシメントノ豫期ナリ

郵便局ノ建設及村落ニ於ケル郵便受取所ノ増設ハ經費ノ許ス限リニ於テ速カニ續行シ終ニ少ナクトモ各市ニ於テ郵便局ノ設置セラル、ニ至ルヘキモノトス又各州主都ニ於テハ有線或ハ

無線電信ヲ建設シテ之ヲ維持シ而シテ洲内各市ノ間ニハ電話ヲ架設シテ通信ノ連絡セラル、コトヲ望ム蓋シ物價船舶ノ出入及荷物ノ利用等ニ關シ世人ノ普ク知ルコトハ本群島生産ヲ激勵スルモノナレハ頗ル緊要ナリ

憲兵隊ノ必要欠クヘカラサルコトハ言フマテモナク現今ノ勢力ヲ維持セラルヘシ而シテ將校等ハ自己ノ職責ヲ諒スヘク又政府ハ適當ニ憲兵事業ノ成績ヲ舉クルニ努ムヘシ近來制定セラレタル法制ハ服役軍人ヲ卓越セシメ其効力ヲ増スニ力アリ而シテ之レカ實施セラレタルヤ其編成ハ豫ネテ期待セラレタル望ヲ充タスニ餘リアリテ嘗テ軍隊勢力ノ減衰或ハ軍務ノ弛緩ヲ思フモノアラズ又全群島市政警察ニ於テ特ニ警察官ノ從職期間ヲ永カラシメ教育、操練、巡邏等ノ刷新ヲ圖リ之レカ改進方法ヲ講セラルヘカラス

余ハ産業或ハ農業等ノ實業教育ニ於テ其主旨目的ノ振興セラレンコトヲ望ム抑モ農業及産業ノ成功ハ事物ヲ收得スルニアリテ能ク之レヲ教育セラレ得ルモ實際他人ノ樹テタル成功ニ付テハ之レヲ聞キ之レヲ唱ヘ得ルモ自カラ其成功ヲ實行シ難キモノナリ故ニ吾人ノ農業學校ハ自營セサルヘカラス之カ爲メニハ學生ハ自カラ勞働シテ產物ヲ生シ其勞ニ酬ヒラル、ノミナラス尙ホ其レ以上ノ効果ヲ收メサルヘカラサルナリ

余ハ本群島ニ於ケル學齡兒童二百萬ノ悉皆カ就學スルヲ見ントヲ望ム然カルニ政府カ其機關ヲ完備セサルカ爲メニ此等子女ノ全部ハ學校教育ヲ受クル能ハス又本群島ノ財源ハ尙ホ未タ多大ニ教育費ヲ支辨シ得ラルヘキ點ニ發達セラレタリトモ思ハレス斯、如キハ誠ニ遺憾ナ

リ若シ本群島ニ於テ必要ナル教育機關完備セラレタランニハ余ハ強制教育法制定ニ反對ゾル
モノニアラス然カルニ若シ吾人ニシテ初メニ資金ヲ投シテ民富ヲ圖リ之レカ爲メ其收利ノ増
加セルヲ待テ後ニ教育機關ノ施設ヲ擴大センニハ今後十年間ニ於テ能ク遂行セラレヘキ教
育費ハ蓋シ莫大ノモノナルヘシ

余ハ財源ヲ閉ツル紐ヲ切り離スヘク政府ノ水利工事及運輸改進黨業ヲ擬ス而シテ此等ノ利器
ニ依リ金ハ湧キ出テ萬事充實スルナルヘシ斯クノ如ク比律賓群島土木建設事業ハ誠ニ緊要ナ
ルモノナレハ漸時比人ノ手ニ依リテ行ハレンコトノタメニ比律賓大學ニ速カニ他ノ工藝學校
ノ中ヨリ撰ンテ工科大學ヲ建設セラレンコトヲ望ム

比律賓人ハ願望ヲ逞フシ又之ニ銳敏ナルコトハ何人ニモ遜ラス然カモ其健康ハ遊戲ニ好適ス
故ニ比律賓人ノ體軀ヲ發達シ心意ヲ轉向センニハ健全ナル戶外ノ遊戲ニ對スル興味ヲ刺擧セ
シムルヨリ可ナルモノナシ合衆國ノ大都市ニ於テハ小兒ノ遊園ニ近キ隣保ニ於テハ犯罪ノ減
少スルノ事實ハ人ノ能ク知ル所ナリ而シテ比律賓群島ノ各都市ニ於テモ餘マリ遠カラサル内
ニ小兒及若少男女ノ自カラ健全ナル戶外ノ歡樂ヲ享ケラル、「アラザ」(遊園)ノ設備セラル、
ナ望ム壯健ナル躰ハ意志熱烈ニシテ從業ニ耐フ故ニ比律賓人ハ筋肉美ハシク發達シ手腕ハ勞
働ニ慣ラサルヘク且ツ廣ク厚キ胸廓ヲ有スルヲ誇リトモサルヘカラス

宗教上ノ信仰及儀式ニ關スル事項ニ對シテハ余ハ米國ノ宗教寬容政策ヲ襲用セサルヘカラス
政府ハ文明諸國ノ採用セル慣例ニ倣ラヒ人民ノ我カ法律ニ違背セサル限リニ於テ其風俗習慣

及撰擇ニ干渉セサルヘク總テノ寺院ハ適當ナル教務上ノ行爲並ニ其財產權ニ關シ法律ノ保護
ヲ受クヘシ

歳入上比律賓國庫ハ最モ満足ナル狀態ニアリテ吾人ハ一般歳出ニ於テ適當ナル剩餘ト歳出定
額トアリテ喜フヘキ豫算ノ剩餘ヲ見タリ此剩餘ノ内若干額ハ毎年一般歳入ヨリ土木建設費ニ
充テラレタリ而シテ多數ノ人民ハ賦稅額ノ高キヲ苦情スルノ慣ハシアリテ稅率引下ノ爲メ政
治上ノ紛擾尠ナカラスト雖トモ比較研究ニ依レハ比律賓群島ノ賦稅額ハ本群島ト國勢同様ナ
ル他國ノ賦稅額ニ比スルトキハ甚シク低率ナル事實アリ而シテ現行低率ナル賦稅額ニ對シ人
民ノ負擔力ヲ疑フノ比律賓人ハ自國民力ニ對シ大ニ信任ヲ缺クコトヲ示スモノナリ

「リンダーベスト」ハ現今物質界ノ最大ナル威嚇ナリ農夫ハ自己飼育ノ動物容態ニ付キ確實ニ
之レヲ辨別スルノ知見ヲ有セサルヘカラス然カラサレハ所有ノ土地ヲ耕シ或ハ之レヨリ收ム
ル產物ヲ市場ニ運ヒ出スコト難シ而シテ「リンダーベスト」ノ免疫法ハ既ニ知ラレタレハ今ヤ
該病ノ退治ハ經費及設備ノ問題トナレリ余ハ既ニ現存セル家畜ノ缺乏ヲ補足スルノ措置ヲ執
レリ而シテ成功ヲ以テ之レニ冠セラル、マテ百方之ヲ試ミテ止マサルヘシ

蝗虫被害ニ關シテハ余ノ判斷ニテハ懸賞ヲ以テ該虫產卵所在ノ地ヨリ其通報ヲ得而シテ現今
法律ニ違リ人民ヲ激勵シテ蝗虫ノ未タ飛翔時期ニ達セサル内ニ其幼虫及卵子ヲ撲滅スルトキ
ハ其被害ノ程度ヲ減縮スルコト尠ナカラスト信ス之レヲ要スルニ行政事務ハ端嚴ニ維持セラ
レ其諸般ノ規則ノ厲行セラル、ハ必要ノコトナリ斯クノ如クシテ其他ノ總テノ制度ハ各自獨

立シテ其効果ヲ舉クルハ必定ナリ
 余ハ現下會計整理法ヲ採用シアルコトヲ信ス該制ハ其主義ニ於テハ政府ニ於テ普通使用セラ
 ル、モノヨリハ寧ろ最新式商業實務ニ於テ用ヒラル、モノニ酷似セリ而シテ該制ハ之レヲ實
 行スルニ尙ホ不完全ナルトコロアルモ主義ニ於テハ正確ノモノナリ
 總督ノ全權ニ依リ處理セラレベキ萬般ノ政務ニ對シテハ態度ヲ慎重ニシ嚴格ニ自身ヲ節制ス
 ルコトハ余ノ政策トスルトコロナリ故ニ余ハ比律賓群島將來ノ政治狀態ニ付無益ノ思慮ヲ凝
 ラシ或ハ論議スルカ如キコトニ時ヲ費ヤシ或ハ意志ヲ奪ハル、カ如キコトハ斷シテ爲サ、ル
 ノ決心ナリ然カレトモ余ハ此時ニ際シ施政上從來政府ハ大統領「マツキンレン」氏ノ訓令ヲ遵
 守シタルコトニ付キ注意ヲ喚起スルコトハ適當ト思料ス即チ同大統領ノ訓令ハ合衆國々民カ
 本群島政務ノ上ニ強大ナル支配權及拘束權ヲ有シ而シテ同國民ニ依リテ定メラレタル適當範
 圍内ニ於テ比律賓人ハ本群島政治ニ干與セラレ得ルコトヲ知ラシメタルモノナリトス
 比律賓人ハ「マニラ」ヲ除キ他ノ總テノ市ニ於テ完全ナル自治政ヲ賦與セラル同市制法ニ於テ
 ハ人民ニ廣大ナル權力並ニ市政機關ノ總テノ吏員ハ民撰セラル、ノ特權ヲ與ヘラレタレハ全
 群島ヲ通シテ直接各自ノ政治ヲ司サトル官吏ハ人民自カラ撰舉シタルモノニシテ此ニ依リ自
 治政ノ端緒ヲ開カレタリ其後州會議員ハ從來總督ノ任命シタル官吏ヲ以テ構成セラレタルヲ
 此時改メテ其多數ヲ民撰トナセリ斯ク州ニマテ自治政ヲ擴大セラレテ前ニ勝サル大行政區ノ
 政務ヲ比律賓人ノ手ニ委ネタリ而シテ其後民撰議院ハ召集セラレタレハ行政委員會ノ從來基

督教民及開化民族ニ對シ單獨立法機關トシテ有セル權力ヲ削キ新ニ立法院ノ一院トナレリ而
 シテ此等兩院ハ關係人民ノ爲メ制定セラル、ノ立法上平等ノ議定權ヲ有ス又此レト同時ニ行
 政委員會ニハ比律賓人委員一名ヲ増シ目下比律賓立法院ハ八十一名ノ比律賓人議員ヨリ成レ
 ル一院及九名ノ委員ノ内四名ハ比律賓人委員ヨリ成レル一院ノ兩院ヨリ成立セラル而シテ立
 法兩院ノ關係ハ頗ル圓滑ニシテ些ノ遺憾ナク又議事ノ進行ハ總テ正式ニシテ威儀アリ各院ハ
 閉會マテニ他院ヨリ回附セラレタル總テノ議案ヲ處辨シ特ニ緊急立法ヲ要スヘキモツ、内其
 多數ノ案件ハ之ヲ逸セスシテ適當ノ注意ヲ拂ハレタリ而シテ第一期民撰議院ハ能ク世ノ囑望
 ニ副ヒ其本能ヲ發揮シタリ

近頃甚シク卓越シタル一人ノ比律賓人ハ政府ノ最要國務廳ノ一ニ於テ其國務長官ニ任セラレ
 タルカ其官位ハ本群島國務總長官ヲ除キ他ノ國務長官ト同一ノ位置ニアリス如クシテ政府
 ノ行政各部ニ於テ確實ニ引續キ官務ノ比律賓化ヲ見サルヘカラス即チ空位ノ生シタル時ニ於
 テ公務上積極的損失ナク更迭セラレ得ルニ於テハ速カニ比律賓人ヲ任シ漸時米人ニ代ユルニ
 比律賓人ヲ以テセラレヘシ此レト同時ニ善キ信念ヲ以テ本群島ニ渡航シタル正實ニシテ才幹
 アル米人ニ對シテハ適當ナル進路ヲ提供スルニ配意セサルヘカラス而シテ米人等ハ操行ヲ方
 正ニシ其職務ノ良績ヲ舉クル間ハ彼等ハ其位置安全ニシテ且ツ合衆國ニ歸還ヲ望ムトキハ本
 國ニ於テ官務ニ就職セラル、コトノ斡旋ヲ受クルコトヲ知ラサルヘカラス
 余ハ本群島ニ於テ献身の奉公シタル米人ニ對スル恩給ノ支給ハ誠實ニ其實行ヲ望ムモノニシ

テ次期ノ議會ニ於テ本案ヲ提出セントスルモノナリ
前數年間ニ於テ本群島各方面ノ官務ニ從事スル比律賓人ハ絶ヘス増加ヲ見タリ即チ千九百三
年ニ於テハ百分ノ四十九人ナリシモノ千九百五年ニ百分ノ五十五人トナリ千九百七年ニハ百
分ノ六十人トナリ而シテ最近統計ニ依レハ千九百九年ニ於テハ百分ノ六十二人トナレリ余ハ
米人比人ノ別チナク現任政府ノ官吏及雇員ヲ信任スルモノニシテ此レ以上ノ人ヲ要セス蓋シ
彼等ノ職務上ノ才幹及忠實ナルハ余ノ從來見タル何人ニ比スルモ優越ナルヲ認メレハナリ
余ハ比律賓人ニ告ケン 卿等ノ國土ノ物質的發達ニ對シ其全キ注意ヲ傾ケ合衆國ノ善意ニ信
頼ヲ置ケ若シ合衆國ニシテ比律賓人ノ富及智識ノ蓄積ニ強ク且ツ一國民トナルニ耐ヘラルヘ
ク進歩シタル多幸ノ結合的人民トナルヲ妨クルノ意志アラハ何チ苦シテカ吾人ハ斯カル一國
民ノ興ルヘキ各種ノ畫策ヲナスニ其全精力ヲ傾注センヤ吾人ハ世界的普通語ヲ本群島ノ總テ
ノ人民ニ提供センヤ吾人ハ本群島一萬ノ兵士ノ内五千人ハ比律賓人ヨリ募集シ之レニ米兵ト
同シク米國々庫ヨリ給與シテ戰術ヲ訓練シ比律賓人軍隊ノ特種ノ編成ヲナサンヤ吾人ハ政府
ニ於テ比律賓人ノ漸時要識ヲ占ムルノ特權ヲ擴大センヤ吾人ハ郵便、電信、電話、鐵道、政府ノ
航海、補助汽船等ノ如キ進歩シタル交通機關ヨリ生スル縲繫ニ依リ比律賓人ヲ驅リテ其關係ヲ
益々近接セシムルニ吾人ノ最大ノ努力ヲ貢獻セン哉然カルニ時トシテ比律賓人自カラ此等努力
ノ成果ヲ防止シ或ハ阻滯スルコトアリ假令ハ普通國語ノ廣布ヲ妨ケ比律賓產物ノタメニ合衆
國ノ市場ヲ開放スルコトニ努メテ反對ヲ唱ヘ或ハ資本ノ輸入ヲ阻ムアリ斯ノ如クシテ本群島

ノ一獨立國民トシテ生存セラレ得ル其秋ノ到達ヲ防止シ或ハ阻滯シツ、アレリ
余ハ又米人ニ告ケン 本群島ニ於テ此上ナク米國ノ成功ノ樹立セラル、ヲ願フノ卿等ハ丁寧
ニ比律賓人ヲ待遇セサルヘカラス又公平ニ彼ト語リ公正ニ彼ト交ハリ而シテ彼ノ利益ハ聽カ
テ卿等ノ利益ナレハ恰カモ卿等自カラノ如ク之レヲ追隨セヨ又商業ニ從事スルノ卿等ニ告ケ
ン各自經營業務ニ於テ暴利ヲ收ムルコトハ必要ナラスシテ卿等ノ信用ヲ得ルコト必要ナリ近
世商業ノ一大金言ハ善良ナル商業ハ需給兩者共ニ利スルニアリテ眞ニ商業ニ成功スルノ人ハ
元方並ニ顧客ニ共ニ満足ヲ與ヘタルモノナラサルヘカラス而シテ安全ナル利益ハ運用ニ運搬
ニ生産及製造法等ニ於テ經濟ヲ旨トシ高價ヲ附セサルヨリ收メラル卿等ノ顧客ハ金錢ノ十分
ナル價值ヲ得テ彼レカ汝ヨリ受取りタル品物ハ其支拂ヘル金錢ノ價值ヲ代表セラル、モノナ
ルヤヲ顧ムヘシ若シ斯クノ如クセサルノ人ハ本群島施政成功ノ敵ナリ
汽船々長ニシテ貨物ヲ相當價格ヨリ安ク買入レン爲メニ故ラニ該貨物ノ托送ヲ拒ムモノアラ
ハ政府ハ同船長ニマテ其腕ヲ伸ハシ之ヲ發見シ之ヲ處罰スヘク強キ腕力ヲ用フヘシ又群島州
及市各級政府ノ官吏ニシテ其位置ヲ利川シ賣主自カラハ格外ト思ハル、程然カク低廉ナル其
貨物ヲ強ヒテ高價ニ賣ラシムルカ如キモノアラハ政府ハ其手ヲ之等官吏ノ上ニ重ク置クヘシ
余ハ卿等ノ總テニ告ケン 信賴セヨ而シテ深甚ナル平和ノ時ニ於テ人民ニ適當ナル各種職業
ニ注意セヨ現時比律賓群島ニハ内憂外寇ナク辨別スヘキ地平線ニハ此平和狀態ヲ攪亂スヘキ
何物ヲモ起リ得ヘキ表示タル暗雲ハ毫モ認メラレス又合衆國ノ政策ハ強固ニ確立シテ動カサ

レハ他ヨリノ勸告或ハ強迫ヲ受ケス又比律賓群島根本政策ハ今日迄相繼承シタル施政官ニ依リ嚴守セラレ急激ニモアラス又唐突ニモアラス嘗テ宣言セラレタル政策ヲ直往漸進シタルヲ以テ本群島ノ發達ハ此踏襲セル根本政策ニ遵カヒ進ムヘシ然カルニ本群島ノ或ル地方ニ於テハ新政ニヨリ施政ノ變革アルコトヲ恐ル、モノ、如シ曰ク兎ニ角人民ハ政府ノ高手政畧ニ依リ企テラレタル或ルモノ、爲メニ苦ルシメラルヘシト余ハ法律及秩序ヲ維持スルコトニ於テ弱ク不幸ナルモノヲ助クルコトニ於テ又害惡ノ暴力ト戰フコトニ於テ余ノ手カ正義ニ強キヲ實證セラル、ヲ望ム

凡ソ人民トシテ何人モ其政府ノ力ナク薄弱ナルヲ欲スルモノアラス而シテ高手政畧ノ實行ヲ恐レサルヘカラサルノ人ハ正義ヲ恐ル、ノ人或ハ彼等自身ノ都合ニテ害惡ヲ企テタツ、アル人ノミニ限ラル而シテ已レテ欺カス又他人ニ信義アリ且合衆國ニ對スル國民義務ニ忠實ナルノ人ハ毫モ不安ノ念ヲ懷クヲ要セス

現任大統領ノ人格及經歷ヲ見レハ不正ニ與ミシ或ハ寛大ナル米國議會ノ約款ヲ以テ比律賓人ニ保證セラレタル彼等ノ權利ノ不利益ノタメニ自己ノ權力ヲ使用スルモノハ何人ニ限ラス比律賓總督トシテ其官職ニ止マルコトヲ許サレタルヲ保證セラレタルコトヲ余ハ信スルナリ親誼及協同ニハ力アリ互訟及敵對ニハ微弱アリ吾人ハ吾人ノ隣人ニ親誼ノ手ヲ伸ハシ而シテ善感充分ナル信義互敬及協力ノ時代ニ進ムコトヲ努メサルヘカラス此等ハ吾人カ全ク大目的ヲ實現シ得ラル、トコロノモノナリ而シテ此大目的ニ到達センニハ此政府ノ全精力ハ此ニ提

供セサルヘカラス何ゾヤ比律賓群島ノ物質繁榮之レナリ

(別冊乙) 比律賓群島民撰議院議長新總督就任式場ニ於ケル紹介演說

貴女紳士諸君 吾人ハ新總督就任式ヲ補佐センカ爲メ此處ニ來レルモノニシテ又今朝此處ニ出席セルカ爲メニ其儀式ノ次第ヲ目撃スルヲ得而シテ吾人ノ相共ニ會同スルトコロノ此公會堂(註)民撰議院議事堂ハ既往ニ於テ重要事件ノ起リタルトコロニシテ今又此處ニ吾人ハ理想及主義ヲ承認シ將又過去ヲ現在ニ連結シ未來ニ對スル行動ノ輪廓ヲ追索セントス而シテ現在ハ吾人ノ眼前ニハ速カナル發達ヲ遂ケツ、アルトハ云ヘ決シテ過去ヲ忘却スル能ハサルナリ米國治政ノ約五年ノ短日月間ニ於テ三人ノ總督カ比律賓群島ニ於テ相繼承セリ而シテ今時恰カモ「スミス」將軍ノ辭職ヲ聞届ケラレ其職ヲ退キタレハ第四次總督ノ更迭トナリ代ハリテ新ニ行政總長ノ高職ヲ占ムル其紳士ノ名譽ノタメニ今ヤ此儀式ヲ舉ケテ祝賀セラル、トコロナリ新總督ハ何ナカ爲スナラン氏ノ門地ヲ記スヘク余ニ期待スル勿レ或ハ氏ノ詳傳ヲ聞クヘク余ニ求ムル勿レ

此等ハ諸君ノ既ニ知ラル、トコロニシテ余ハ今之ヲ繰返スノ要ナシ知ラスヤ新總督ハ最モ高名ナル亞米利加ノ家門ノ一ニ屬シ氏ノ祖先ノ内ニハ博識ナル著作家アリ賢明ナル哲學家アリ或ハ商業ニ産業ニ將タ又銀行業ニ有力ナル實業家アリタルヲ或ハ諸君ハ此等ヲ話スヘク余ニ求ムルナカレ

知ラスヤ此等祖先ノ勇氣ト精力ハ其子孫ニ至リテ衰ヘサルヲ又現任總督ハ官途ニ入ルノ前既

ニ本國ノ産業及商業ノ發達ニ貢獻スルトコロアリ而シテ尠ナカラサル才幹、智識及忍耐ヲ要スルトコロノ起業及計畫ニ於テ偉大ノ成功ヲ奏センコトヲ諸君ハ斯カルコトハ全ク無用ナルヘシ而シテ諸君ノ要スルトコロノモノヲ余ニ告クルニ及ハサルナリ蓋シ余ハ諸君ノ顔色ニヨリ其ヲ讀ミ得レハナリ諸君ノ要スルトコロノモノハ余カ諸君ニ話サントスルトコロノモノニシテ即チ今將ニ開始セラルヘキ新治政ヨリ吾人ハ何チカ期待セラルヘキヤ之ナリ

余ノ演說セラルヘキ時間ハ僅カニ數分間ニシテ從テ諸君ノ之ヲ耽聽スルニ限リアレハ余ハ簡單ナル數語ヲ以テ新總督ヲ諸君ニ紹介セン

氏ハ比律賓群島ノ新來者ニアラス既ニ本群島トハ親密ナル關係ヲ保タレ廣ク知ラレタル古キ居住者ニシテ唯ニ首都ニ於テノミナラス各州ノ都市並ニ本群島内遠隔ナル村邑ヨリモ敬愛セラル而シテ氏ハ其性格ニ基ケル趣味及熱望ヲ以テ其現狀ヲ研究スルノ目的ヲ以テ此等ノ各地ヲ訪ネタルコトアリ故ニ余ハ諸君ニ簡粗ニ述ヘテ能ク總督ヲ紹介シ得ラルヘシ

貴女紳士諸君 余ハ諸君ノ舊友ナル「ウヰヰリアム、カメロン、フオーブス」氏ヲ紹介スルノ名譽ヲ負フ

曰ク搆ヘサルコト曰ク愛嬌曰ク濃厚此等ノ美德ハ氏之ヲ具フ余ハ斯ク粗朴ナル仕方ニ於テ又斯カル簡單ナル數辭ヲ以テ紹介スルコトノ却ツテ總督ノ意ニ協フヲ疑ハス然カレトモ余ハ氏カ自己ノ家族ノ者ニ對スルカ如ク家ノ内外ニ於テ同シ信義同シ親切ヲ以テ諸君ヲ遇スルノ朋友ナルコトノミヲ以テ紹介スルモノニアラス更ニ余ハ比律賓政府ニ於テ至高ノ權力ヲ任セラ

レタル其人ナルコトヲ再ヒ諸君ニ提言シツ、アルナリ故ニ余ノ尙ホ多ク言ハントスルトコロノモノヲ許セ

總督「フオーブス」ノ名ハ比律賓群島政府ノ表徴ナリ恰カモ往年比律賓群島第一行政委員會々長及第一次總督ニ任セラレタル現任合衆國大統領ノ名カ吾人ニ對シ民政簡人ノ權利及制定權力ノ表號タリシカ如シ而シテ氏ノ繼承者「ライト」「アイテ」等カ氏ノ事業及制度ノ繼續ヲ表明セルカ如ク又「スミス」カ善政ニ向ツテ漸時確實ニ進メ並ニ本群島ノ各州ニ於テ進歩ノ跡ヲ印シタル其成功ヲ以テ吾人ノ歴史ノ最近「ベージ」ヲ充タシタルカ如ク「フオーブス」氏ハ比律賓群島物質繁榮策ヲ提ケテ起ツモノナルコトヲ余ハ敢テ言明ス

大統領「マッキンレー」氏カ比律賓群島ニ於テ將サニ建設セラルヘキ政府ノ爲メニ求メラレタル目的ニ付キ語ルトコロノ同氏ノ訓令ニ於テ次ノ三語ヲ用ヒラレタリ

平和、繁榮及幸福之レナリ

余ハ嘗テ他ノ機會ニ於テ述ヘシ如ク民撰議院ノ門戸開カレ平和ノ時代ノ謳歌サル、爲メ殺伐時代ノ閉ツレタル時ニ於テハ社會ノ秩序ハ安全ナルモノナリ實ニ此ノ平和時代コソ比律賓人カ秩序アリ温和ナル方法ヲ以テ其最高理想ノ標的ニ達センコトヲ望ミ得ラル、モノナリ

今ヤ最モ緊要ナルハ斷固トシテ繁榮ノ道程ヲ進ムルニアリテ内外人共ニ此新時代ヲ待ツ而シテ將サニ開始セラル、治政ノ目的カ成功ヲ以テ冠セラル、ヲ信シテ之ヲ期待スルナリ然カルニ資本ハ窮迫ニ達セルヲ以テ之ヲ救ハンタノ何等カ道ヲ開カサルヘカラス農業ハ活氣ナク睡

レリ興起、前進テウ獎勵ト信用ノ新聲ヲ待ナツ、アリ
母國カ其名譽ノ爲メニ起テ其要求セル彼等ノ壯丁ノ生命ヲ國家ノ犠牲ニ供スルハ最モ貴重ナル奉公ナルニ彼等ノ子弟ノ一滴ノ血タニ捧ケサリシ比律賓人ハ又深甚ナル平和ノ時代ニ於テ文明進歩ノ爲メ貢獻セサルヘカラサル義務トシテ彼等ノ餘財ノ内ヨリ零碎タル一仙ヲモ寄與セサルヘシ然カレトモ人民ハ其賦課セラル、租税ノ輕減セラル、ヨリモ寧ロ彼等ノ不幸ヲ救ハルヘキ權利ヲ有ス而シテ斯ノ如キハ却ツテ愛國ノ心ニ協ヒ彼等ノ經濟的富源ハ發達シ之レカ爲メ人民ハ現時ノ賦税ノ重荷ニ耐ヘラル、ノミナラス尙ホ又彼等ノ將來ニ勝利ヲ得ラルヘク十分富強トナリ得ヘシ今ヤ此富源開拓ノ事業ニ對シテハ何等欠クルモノナシ而シテ新總督ノ才幹アリ精氣アリ耐能ナル管理ノ下ニ本群島ノ企業ハ此目的ニ導カル、氏ノ成功ノ舉カレコトニ好シテ協力セラルヘシ此ト同時ニ政治ノ改良進歩セラル、コト亦最要ナリ
余ハ今席此國ノ未來ニ關シテ政治上ノ論議スルコトハ適當ナル機會ト考ヘス然カモ政府側ノタメノミナラス亦人民側ノタメニモ吾人比律賓人ハ今ヨリ退歩セス却ツテ神ノ助ケト米國ノ扶ケトニ依リ前進スルノ決心ヲ以テ吾人ハ正サシク今ノ立脚地ニアルコトヲ理想ノ承認ヲ表明スルトコロノ此ノ莊嚴ナル新總督就任式ノ時ニ於テ最モ力強ク言明スルヲ適當ナリト見受けラル、ナリ
抑モ退歩ハ唯ニ米國人並ニ比律賓人ノ不名譽ヲ意味スルノミニシテ前進ハ名譽ナリ而シテ米國カ一ノ新興國民ヲ世界ノ前ニ現出シタルナラハ而シテ吾人ノ前進カ吾人爲メニ比律賓群島

ノ眞ノ幸福ヲ産出シタルナラハ是レ即チ米國ノ光榮ナリ

吾人ハ一國民ノ生活上公正ニシテ至要ナリト信スルトコロノ自由ヲ合衆國ノ大國民ヨリ吾人ニ授與セラレンコトヲ說服シツ、アル其間ハ吾人ハ主都ニ於テ戰ヲ續行スルナリ此際比律賓群島ニ於テ強固ナラシムルトコロノ一致國民名譽ニ適應スル協力經濟的利益ノ増殖及各方面ニ於テ眞實ニ感知セラルヘキ一般ノ發達進歩改良等ノ事實ヲ見ルハ喜コハシキコトナリ
曰ク平和曰ク繁榮曰ク幸福神ハ本日舉式ノ此ノ治政ヲ保護セラルヘシ而シテ正義カ同胞ノ血ヲ以テ濕ラサレタル此ノ飾リタル國旗ノ存立ヲ許サレタランニハ吾人ハ自由ノ祝福ノ中ニ於テ平和、繁榮及幸福ナル「マツキンレー」ノ二語ヲ其三色旗ニ書キ得ラルヘシ
貴女紳士諸君 余ハ之ヲ爲スヘキ名譽ヲ有スルカ故ニ今比律賓新總督「ウヰリアム、カメロン、フオーブス」貴下ヲ諸君ニ紹介スルコトヲ許サレヨ

○蘭領「ボルネオ」島東南部視察報告中機密ニ渉ル

事項(明治四十三年一月二十一日)
(外務書記生芝間裕吉報告)

今回小官カ旅行セル「ボルネオ」東南部ニ於テハ西「コタワリンギン」ニハ四十二年六月同地蕃王ノ正當相續者ト稱スル者ノ爲メニ日本國旗ヲ掲揚セル事件アリ
東「サマリンド」ニハ近ク元新嘉坡領事館雇井上尙カ領事館員タルコトヲ標榜シテ在同地故支那「レフテナント」遺族ノ爲メニ舊債取立ニ盡力セルアリ共ニ小心ナル和蘭人ノ神經ヲ刺激セルコト多大ナルニ「バタビヤ」領事館創立ノ初頭ニ於テ他地方ニ先タテ同地方ヲ撰ヒ視察ヲ試ミタルハ或ハ同地方蘭國官民ヲシテ甚深ナル疑懼心ヲ起サシメシニハアラサヤト思ハル、モノアルカ故ニ小官ノ遭遇セル處ヲ以テ他ニ於テモ必ラス然リトハ言ヒ得サルヘシト思料致候
換言スレハ本旅行ニ依リテ得タル小官ノ對蘭人觀ハ寧ロ特殊ノモノトスルヲ至當トスヘシト通シテ斯ノ如シトスルノ危険ナルヲ信シ候尙ホ小官ノ馬來語ニ於ケル智識ノ淺薄ナル諸般ノ調査ニ關シ不便ヲ來セルコト甚ダシク從テ記述頗ル茫漠タルヲ免カレス候モ命ニ依リ左ニ見聞
中人事其他機密ニ渉ル事項ニ關シ項ヲ分ツテ記述致候

第一「コタワリンギン」日本國旗掲揚事件

「コタワリンギン」ノ國旗掲揚事件ニ關シテハ本邦當路ニ於テハ疾ク其ノ真相ニ通セララル、モ
○蘭領「ボルネオ」島東南部視察報告中機密ニ渉ル事項

ノナランモ小官ハ今回ノ旅行ニヨリテ始メテ其詳細ヲ耳ニシタル次第有之畢竟蛇足ニ過キカ
ルヘク又皆道聽途説信ヲ措クニ足ラサルモ本旅行中聞ケル處ヲ略述スレハ

一、在留日本人ノ説

「コタワリシギン」王ノ歿後正當王位繼承者タル「グステバクル」ヲ王位ニ就カシメントシテ故
王ノ弟タル現王其甥ノ爲メニ「バタバヤ」ニ到リ代ツテ宣誓スル筈ナリシカ同地著後其意ヲ翻
シテ自カラ王トナリ「バクル」ノ受クヘキ特權ヲ奪フテ其有トセルヲ以テ故王ノ宰相大ニ怒リ
「バクル」ヲ勸メテ二三ノ從者ト共ニ四十年二月暗夜ニ乘シテ國ヲ脱シ新嘉坡ニ出テ、臺灣人
林祖能ノ庇護ヲ受ク林ハ之ヲ日本ニ伴テ當時彼カ店舗ノ在リタル横濱山下町ノ自宅ニ置キ
清水辯護士ヲ介シテ某大臣ニ面會援助ヲ乞ヒタリト云フ其結果如何ハ之ヲ知ラサルモ間モナ
ク再ヒ新嘉坡ニ來リ四十年六月頃其重臣(名ヲ逸ス)竊ニ歸國シテ正當蕃王ノ日本ノ援助
ニヨリテ歸來スルヲ傳フ土人等大ニ喜ヒ簞食盡漿シテ主人ヲ迎フト稱シ日本國旗ヲ樹テ、喧
噪ス現王及駐在ノ「コントローラ」共ニ大ニ驚キ守備兵ノ派遣ヲ請ヒ首謀者拾數人ヲ捕ヘテ
「バンジュルマシ」ニ送リタリ爾來兵員ヲ同地ニ常置シ警戒スルト共ニ四十年五月中ハ何
等ノ故障ナク日本人ノ同地ニ開店スルヲ許セル吹矢業ハ爾後之ヲ嚴禁セリト

二、「コタワリシギン」支那人ノ説

「コタワリシギン」往復ノ船中ニハ多クノ在留地支那人アリタリ又同地ニハ日本最負ノ支那人
アリ彼等ノ説ヲ綜合スレハ當今ノ蕃王ハ正當ノ「ラジャ」ナラス或者ハ前王ノ妹ヲ妻トセル王

族中ノ一人ノミト云ヘリ正當相續者ハ王位繼承ノ際ニ於ケル蘭國ノ要求過大ナリシヲ以テ之
ヲ承諾スルコトヲ厭ヒ爲メニ同政府ノ嫌忌ニ觸レ其意ヲ迎ヘタル一族ノ老人ヲ王位ニ就ケダ
リ之ヲ以テ正當ノ權利者ハ生地ニ居ルニ安ンセス終ニ亡命セリ土人ハ現王ノ誅求ニ堪ヘス前
王ノ子及宰相(頗ル評判宜シト云フ)ヲ慕フコト甚ダシク何時カ眞ノ王ノ君臨スルヲ待テリ其
際重臣歸來シテ「ラジャム」カ日本皇帝ト食ヲ共ニシ種々ノ物語ヲナシタリ日ナラス強大
ナル日本ノ援助ヲ得テ歸還セラルヘント傳ヘタルヲ以テ上流地方ノ「ダイヤタ」モ多數出テ來
リ歸還スト傳ヘラレタル日ヲ以テ日本國旗ヲ樹テ之ヲ待テリト

三、「コタワリシギン」駐在「コントローラ」ノ談

陸軍一等中尉ニシテ同地ノ「アズセラント、コントローラ」タル「ノードファス」ハ英語ヲ解セ
ス小官ノ馬來語ハ複雑ナル事件ノ要領ヲ問答スルニ堪ヘス同人訪問ノ際本件ニ關シ親シク小
官ノ聞キ取り得タルハ殊ニ些少ナルモ「現王ハ前王ノ第二子ニシテ新嘉坡ニ在ル者ハ親等上
甚タ隔タル者ニシテ何等權利ヲ主張シ得ル者ナラス」ト一葉ノ系圖ヲ示セリ之ニヨリテ説
明シテ曰ク前王三子アリ現王ハ其第二子ニシテ長子ニ四子アリ其内ノ第三子ノ子即チ前
王ヨリ算シテ曾孫ニ當ル「グステバクル」ナル者今回事件ノ發頭タリ蘭國政府ニ於テハ親等ノ
最モ近キ者ヲ取りテ王ト認メタルニ過キス亡命者ハ何ノ權利トモアルコトナク唯一身ヲ支
フル資力ヲキチ以テ他人ノ土地ヲ典シテ金錢ヲ得ントスルノミ之ヲ知ラスシテ金錢其他ノ援
助ヲナスハ其者ノ損失ノミ他ニ何等ノ關係ナシ日本國旗ヲ掲ケタルハ昨年六月ナリト

以上ノ諸説ニ「レヘーアリング、アルマナック」中土人自治政府ノ部ニ「サムバリユン」若シクハ「グヌンタブル」ノ如キ弱小ナル地ノ蕃王ヲモ「サルタン」ト記セルニ係ハラス「コタワリンギン」ニ
 Pangeran Ratoe. Solkma Negara, Hoofd van Het Landschap Kotawaringin, 25 July 1906
 ト記シテ「サルタン」ト呼ハス「バンゲラン」ハ王族普通ノ者ハ「ラデン」ト稱ス中ノ高位者ヲ呼フ稱號ニシテ「ラジヤ」トモ言ハサル事實及現王ハ年齢頗ル高ク馬來人等カ唯一ノ快樂トスル妻妾ヲ著フルコト能ハス又現ニ小官ノ往復航共ニ交替兵士ノ便乗セル如ク警戒ニ勉ムル事實等ヨリ見テ「コントロラー」カ示セル系圖中ノ前王ノ長子(是ニ關シテ説明ヲ與ヘス)ト云ヘル者コソ眞ノ前王ニシテ現王ト云ヘルハ正シク其弟若シクハ妹ノ夫タル者ナルヘク通シテ支那人說話ノ眞ニ近キヲ證スルカ如ク相見ヘ候
 所謂國旗揚揚事件ノ内容ハ斯ノ如キモノナリトシテ翻ツテ該王領地ノ實勢如何ヲ察スルニ一般視察報告書ニ添付セル地圖ニハ「コタワリンギン」蕃王所屬地ヲ「コマイ」河「コタワリンギン」河流域及「ゼライ」河左岸及同河左岸ノ「スカマラ」ヨリ上支流「ビラ」河流域一帯ノ地方ヲ之ニ當テタルモ眞ニ其ノ勢力ノ及フ處ハ「コタワリンギン」河ノ兩支流「ラマンダウ」河及「アルト」河ニ限ラレ面積三百平方地理哩ニ足ラス人口亦一萬ヲ超ユルコト多カラサルヘク現時ノ輸物ハ各種護謨中最劣等ナル「ガタゼリコント」ト稱スルモノヲ主トシ四十一年中ノ輸出總計二二三一九盾輸入總計二八、八五七盾ニ過キス地ハ東南部ノ西端ニ位シ殊ニ同河ノ

爲メニ建造セル吃水淺キ三百噸ノ小蒸汽船ニシテ始メテ航行ノ自由ヲ得ル等牽制的政略ノ必要アラハ兎ニ角何等格段ノ注意ヲ値セサルヘク思料致候小官ハ「コントロラー」ニ告ケテ「貴説ノ如クンハ一狂人ノ所爲ニ過キス」バタバヤ」領事館員タル小官モ今次ノ旅行ニヨリテ始メテ如斯事件ノアリシヲ知リタル程ナレバ日本政府ノ全ク關知スル處ナラサルハ斷言スルニ憚カラス又新嘉坡ニ在ル「アレテンダ」ノ關係セル者ノ何國ノ者ナルヤヲ知ラサルモ現ニ「バシ」又何等不心得ノ者アリテ狂人ノ惡戯ニ與ミシ延ヒテ兩國ヲ害スルアラシカ何レニスルモ小官ハ詳カニ本件ヲ我カ政府ニ報告シテ之カ防止ニ勉ムヘシト述ヘ置キ候
 先般政府發行ノ一般狀況報告書ニ依レハ「コタワリンギン」ノ政治的地位ハ満足ナルモ尙ホ幾分ノ騷擾ヲ免カレス是レ新主張カ或ル敵手ヨリ受ケタル反對ノ甚タシキニヨリテナリト輕ク記シ去リタルモ其内尙ホ支那人等カ言ノ眞實ナルヲ窺フニ足ルモノアリト存候
 第二諸蕃王ニ對スル蘭國政府ノ處置態度「コタワリンギン」ノ外「ボルネオ」東南部ニハ尙ホ五個ノ蕃王領アリ即チ

- 一、「コータイ」州
- 二、「サムバリユン」州
- 三、「グヌンタブル」州
- 四、「ブロンガン」州及「ナドン」州

○蘭領「ボルネオ」島東部視察報告中機密ニ歩ル事項

五、「クサン」州

右ノ内「コータイ」州ハ最モ大ニシテ首府ヲ「サマリンド」ト云ヒ近ク「サンガサンガ」ノ石油地アリ石油積出港ニシテ蘭領「ボルネオ」中唯一ノ良港タル「バリクバベン」亦其管下ニシテ護謨、燕巢等ノ産出多ク國頗ル富ム其「サルタン」宗ハ「ボギス」ノ血統ヲ引クモノ、如シ現「サルタン」ハ「モハマツト、アリムザン、アザイル、カリフアツール、ムーミニン」ト呼ビ前王ノ長子ヲ以テ去ル二十三年位ニ就ク年齢五十餘リ頗ル文明流ニシテ嘗テ太子タリシ時歐洲ニ到リ現蘭國女皇ニ謁シテ高貴ノ勳章ヲ受ケ女皇ヨリ公ニ「サルタン」ト稱スルヲ許サレ其「二弟ハ共ニ「プリンス」ト稱ス兄弟二人相共ニ國政ヲ見總テノ契約皆三人ノ署名ヲ要スル由ニ候頗ル世事ニ通シ早クヨリ鋸木場等ヲ起シテ英人ヲ雇用シ製氷器械ヲ買入レ或ハ電氣工場ニ使用スル爲メ數人ノ邦人ヲ備ヒ來レル等蘭人以外ノ國人ニ接スルヲ好ミシカ蘭國政府ハ之ヲ忌ミ特ニ「コントローラ」ヲ王ノ住地タル「ダンガロン」ニ置キ其行動ヲ監視セシメ候近來殊ニ甚シク王若シクハ其兄弟カ邦人ニ面會スル時ハ以後暫ク「コントローラ」ノ機嫌頗ル惡シク甚タ迷惑ナリト一邦人ニ語レコトアリシ由ナレハ小官ハ同地ニ赴クヲ避ケシカ商事ニ關スル問合セノ爲メ同地ノ巨商「ボルネオ、スマトラ」會社ヲ訪ヒタルニ其支配人ハ「ダンガロン」ニ行キ「サルタン」ヲ訪ヒシヤト尋ネ候故否ト答ヘシニ何故ト反問セラレ「余ハ「サルタン」ニ何ノ用モナケレハ」ト答ヘ候同室内ノ者ノ問答ヲ注意セル有様ヨリ察スルニ何事カナ豫期セルニ「ダンガロン」ニモ行カサリシテ怪シムモノ、如ク被思候

前「サルタン」ノ歿後現蕃王ハ數次ニ阿片專賣稅、關稅、賭博稅等ヲ蘭國政府ニ引渡シ其代償トシテ政府ヨリ年額拾萬盾ヲ受ケ其他石油、石炭共其採出量一噸ニ付五十仙ヲ得一般一民ヨリハ籐一把及輸出物ノ十分ノ一ヲ徵スル規定ナルモ部下ノ監督者ニ欺瞞セラレ多クノ脫稅アル趣ニ候本徵稅法ニ關シ一昨四十一年中理事官ト特別ノ協定ヲ遂ケタル由ニ候其外珍奇ナル物ヲ發見シタル者ハ悉ク之ヲ提出セシメ王ハ其意ニ從ヒテ幾分ノ賞ヲ與フルヲ例トスル趣ニ候元來蕃王政府ニテハ人民ノ財產ナルモノヲ認メス王族及殊ニ意ヲ得タル者ノ土人頭目タル外一切王ノ奴隸ニシテ王ノ地ニ住シ王ノ食ヲ食シ王ノ命ニ從フテ勤勞ニ服スル外何モノサモ認メス其輸出物ト云フモ王族（「ラデン」）若シクハ頭目カ奴隸ヲ養フ代リニ彼等ヲ使役シテ採集シタル物ニ過キス候

蘭國政府ハ舊來ノ慣習タル是等ノ徵稅ヲ認ムルモ收入金ノ支途ヲ王ノ意ノ儘ナラシメサル様種々ノ制限ヲ附シ候尙ホ同政府ハ土人ト同待遇ナル支那人「アラブ」人等所謂「フォーレン」、アジャナツクス」ニ對シテハ其管轄權ヲ認メス皆之ヲ直轄シテ王ノ容喙ヲ許サス殊ニ異トスルニ足ルヘキハ舊來ノ市ノ附近ニ於テヨリ便利ナル地ヲ撰ミ新タニ市ヲ建設スルコトニ候「サマリンド」ヲ始メ諸他蕃王領地皆然ラサルハナク一昨年中是等諸地方ノ「サルタン」ト協定シテ其ノ重要市街即チ「サマリンド」、「レテブ」、「セーロー」等ニ於ケル市街地ノ無償授受ヲ了シ尙ホ新市街ノ建設及擴張ニ要スル土地ヲモ無償ニテ蘭國政府ニ引渡スコトヲ契約致候又「コータイ、サルタン」トハ一昨年中新タニ契約ヲ結ビテ「ロングイラム」以西ノ廣大ナル地

○蘭領「ボルネオ」島東部視察報告中機密ニ歩ル事項

積(從來多く捨テ置カレタル中部山岳地方)ヲ蘭政府直轄ノ下ニ移シ史員ヲ派シテ其境界ヲ決定致候之ニ關シテモ別段報償ナカリシ趣ニ候

「サマリンド」ノ蘭人小學校ニハ蘭人子弟ト共ニ王族ノ子弟ヲモ教育シ居リ現ニ「コータイ、サルタン」ノ三子其弟「パニヅラン、マンコ」ノ一子及「サムバリユン、サルタン」ノ長子在校シ「グメンダプール、サルタン」ノ一子ハ一昨年中已ニ其ノ教育ヲ終ヘ歸國致候趣ニ候

二ノ「サムバリユン」ハ頗ル微ダタル王領地ニ有之「コータイ」ニ接シテ其ノ北ニ位シ其首府ハ「ブラウ」河ヲ隔テ、「グメン、ダプール」ノ首府(共ニ同名)ト相對ス二ノ「グメン、ダプール」ハ領地狹小ナルモ產物多ク稍富ミ共ニ「コータイ、サルタン」ノ姻戚ナル趣ニ候

一昨年中右兩地及「コータイ」尙ホ北ナル四ノ「ブロンガン」王領地ニ對シ去ル明治二十九年「コタワリンギン」ノ王領地ニ關シテ實行セルカ如ク地方豫算ノ編成ニ關スル法制ヲ定メ尙ホ土地貸下料ノ半額、鑛山貸下料中「サルタン」ノ收入タルヘキ分ノ他ノ四分ノ一、十分ノ一稅及罰金等ヲ皆地方豫算ニ組入レ之ニ依リテ地方歳入ノ増加ヲ計ルコト、致候如斯シテ蕃王ノ自由ヲ拘束シ漸次其權力ヲ奪フモノ、如クニ候

四ノ「ブロンガン」及「ナド」州ハ蘭領「ボルネオ」ノ極北ニ位シ直チニ英領ト境ヲ接スル廣濶ナル地方ニ候モ樹上ニ屋ヲ構ヘ或ハ尾ヲ有スル人間棲メリト傳ヘラル、邊境ニシテ首府「ブロンガン」附近ニ置キシ蘭國市府「ダンジョンセーロ」モ甚ダ振ハス同地ノ「コントロラー」ハ兼テ英領境界ノ警備ニ任シ有名ナル「バジャウ」海賊ノ横行スル地方ナルヲ以テ其任務ハ甚ダ

輕カラサル趣ニ候

第三、王位繼承ノ際ヲ利用スル蘭政府ノ慣用手段

東印度會社時代ニ於テ「ソロト」王太子ノ弟ヲ「シヨクシヤ」ニ擁立シテ其勢力ヲ二分シ之ニ依リテ大ニ自己勢力ノ扶植ニ成功シタル以來王位繼承ノ際ヲ利用シテ七人王ノ權力利益ヲ蠶養スルハ上來記セル處ニ於テモ明ナルカ如ク當政府ノ慣用手段ナルカ如クニ候其ノ的確顯著ナル他ノ實例ハ之ヲ一昨年亡滅ニ歸シタル「バシル、サルタン」家ニ見ルヲ得ヘク候

蘭國政府カ「バシル」王ト始メテ條約ヲ締結シタルハ千八百四十四年ノコトニシテ當時ノ「サルタン」「アダム」ニヨリテ承認セラレ以後三回代ヲ替フル毎ニ條約ヲ改訂シ千八百八十六年三至リ當時ノ「サルタン」歿シテ後王位繼承者ニ關シテ議論アリシガ「バンゲラン、スリア」蘭政府ヲ承認シ經テ「サルタン」トナリシモ爭議尙ホ絶ヘス其結果八十九年ニ至リ「バンゲラン、ムーダ」ヲ太子トセリ然レトモ太子秘カニ「サルタン」ニ對シテ反ヲ謀リ「コントロラー」常ニ其間ヲ調停シ來リシモ容易ニ其効ヲ奏セス依テ九十六年ニ至リ理事官自ラ軍隊及軍艦ヲ率ヒテ之カ鎮定ヲ試ミ其結果新「サルタン」ヨリ一ヶ月百五十盾ヲ支給スル條件ヲ以テ位ヲ「バンゲラン、ムーダ」ニ譲リ之ヲ「サルタン、アブヅル、ラフマシ」ト稱ス此王ハ蘭國政府ニ忠實ナリシカ九十八年五月ニ死歿シ前「サルタン」亦同年十月ヲ以テ「バンジュルマシ」ニ死ス是ニ於テ又々王位繼承問題起リ政府ハ王族及重臣間ニ選舉ヲ行ハシメ千九百年「バンゲラン、マンコ」ヲ「サルタン」トシ新條約ヲ結ヒテ曩ニ被選者ダリシ「アザイ、ニエセイ」ヲ太子トス黨派紛爭



ノ結果ニヨルト云フ是ヨリ永ク「コントローラ」ヲ「バシル」附近「ダナー、グロコット」(今ハ全ク商業市街地トナリテ普通「バシル」ト呼フハ本市ヲ指スモノナリ)ニ置ク元來當國ニハ王族間ニ三黨派アリテ互ニ軋轢シ如斯シテ選舉セラレタル「サルタン」ト云フモ太子ト云フモ共ニ異ナル黨派ノ頭目ニ過キスシテ國川益々多キナ加フルニ一方政廳ヨリハ數次ノ條約改訂ニヨリテ甚ク其利益ヲ減殺セラレ其結果財政ノ紊亂トナリ土人ニ對スル誅求トナリ紛擾トナルヲ免カレズ四十年ニ至リ理事官ハ之カ鎮定ノ爲メニ兵員ヲ派遣セシカ忠實ナルルヘキ「サルタン」反抗ノ態度ヲ示セルヲ以テ終ニ其五月ヲ以テ斷然王家ヲ廢シ全地方ヲ直接管理ノ下ニ移シタルモノニ候

五ノ「ダナーブムブ」地方中ノ「クサン」州ハ面積小ナルモ金及金剛石ノ産地ヲ以テ名アリ加フルニ住民ニハ「ボギス」多ク皆勤勉ニシテ田園ノ業ニ勉メ多ク椰子山ヲ開キ且ツ漁利豐ナルヲ以テ王家モ亦頗ル富裕ナルモ四十年中「サルタン」歿シテ嗣ナク娘ノ配ナル「リオ」島生レノ馬來人現時其主長トシテ前王ノ業ヲ紹ク彼レ新嘉坡附近ニ生レタルヲ以テ頗ル時勢ニ通シ同地ニ多クノ借家ヲ買入レ又王家ノ末路ヲ氣遣ヒ盛ニ開墾ニ從事シ私産ノ増加ニ勉メ居ル趣ニ候當國政府ハ今日迄何等手ヲ下スコトナキモ未タ當主ヲ承認セス「レヘーアリンダ、アルマツク」中空シク點線ヲ留メ候或ハ遠カラス「バシル」ノ例ヲ逐フモノナランカ

第四、蘭國政府ノ土民統治方法及土人支那人ノ蘭國官民ニ對スル傾向

小官ノ面接セル土人支那人ノ數ハ甚々多カラス且ツ勉メテ政治問題ニ立入ルヲ避ケンテ以テ

特ニ之ヲ誦ヘントスルカ或ハ自然ニ不平ヲ洩ス外深ク之ヲ研究スルノ機會ナク本題ヲ立ツルノ大膽ニ過クルヲ信シ候モ各所見ヲ約言スレハ元來當地方ノ從屬關係ヲ見ルニ第二項ニ述ヘタルカ如ク人民トハ王ノ奴隸ニ外ナラス唯舊來ノ王ニ對シテハ年來ノ服從關係ヨリ忠實從順等ノ情義アリ王族ニ於テモ人種ヲ同フシ言語習慣ヲ同フシ且傳來ノ統治方法ニ依リ其間ノ情疑ヲ酌量スルコトヲ得テ多少土民悅服ノ素地ヲ有スルカ故ニ十ノ一ヲ取ルカ如キ過重ナル徵稅モ別段彼等ノ苦痛トスル處ナラサリシカ蘭國政府ノ直轄トナリテヨリハ第一ニ人種ノ相違アリ言語習慣ヲ異ニシ加フルニ標置スルコト頗ル高ク蘭人ノ眼ヨリハ唯租稅ヲ提供スル一團ノ生物ニ過キサルガノ觀アリ從ツテ土民間ノ情疑ヲ察スルコト能ハス善良ナル者小心ナル者ハ到底近ツクヘカラス阿附スル者ニ誠實ナル者少キハ必スシモ當殖民地ニ限ラル、事實ナラサルモ當地方ニ於テ殊ニ其甚ダシキヲ見ル即チ治者被治者間ノ聯絡ヲ缺如シ從ツテ土民自身ノ必要ヨリ打算セル施設ナルモノナク其ノ多クハ自己等ノ便益若シクハ虛榮心ノ満足ヨリ出テタルモノニシテ偶々土民ノ憤懣怨嗟ノ因トナルガ然ラサルモ越人ノ肥瘦ニ於ケルガ如シ是レ畢竟威壓ヲ主トスル蘭國傳來ノ政策カ表現セルモノニ外ナラサルヘキモ自國官吏ノ惡弊ヲ匡救スルニ急ニシテ理事官ノ任期ヲ制限シ或ハ以下ノ官吏ヲ頻々交替セシムルコト亦與ツテ力アルモノナルヘシ自己部内ノ整理上必要止ムヘカラサルニ出ツルモノナリテモ其結果當然避ケ得ヘキ紛擾ヲ起サシメ或ハ道路築造等不急ノ業ヲ起シ外觀ノ美ヲ以テ其功績ヲ示サントスルニ急ニシテ精神的結合ヲ窺視シ或ハ之カ爲メニ益々乖離シ行クヲ意トセサルニ至

ル後ノ殖民地ヲ治ムル者ノ再思スヘキ點ナリト信シ候然レトモ勉メテ土民ノ心ヲ攬ラントスルハ之ヲ押レシムルノ大害アリ此點ニ關シテハ全ク隔離スルノ寧ロ大ニ優レルヲ見ル熱帶地ノ暑サニ適應スル爲メ服裝ニ關シテ他ニ見ルヘカラサル風習アル外蘭人ノ威容ヲ示スニ急ザル事實ハ嘗テ其妻ノ姦通ニヨリテ其ノ職ヲ剝カレタル「コントロラー」アリ又本國民増殖ノ目的ヲ以テ多少少婦ヲ招致セシモ却テ淫靡ノ風ヲ示スニ懲リ幾何モナク之ヲ廢シタルニ見テモ明カナルヘク官民ヲ通シテ此點ニ關シテ頗ル意ヲ用フルモノ、如ク常ニ近ツクヘカラサル態度ヲ示セリ土民ノ面容ニ類セル本邦人カ往々蔑視セラル、ハ他ニ幾多ノ原因アルヘキモ此ノ平生ノ川意ニ累セララル、モ正ニ其一因ナルヘク候斯ノ如ク全ク隔離スルハ實質ヲ暴露スルノ危険少ナク威壓ニ都合ヨキハ勿論ニシテ住民ノ程度今日ノ如ク又其數少ナク無氣力ナル間ハ必然効果アル政策ナルヘク被存候實ニ小官カ會談セル官吏數名皆住民ヲ其眼中ニ置カヌ其身持ハ必スシモ善良ナリトハ云フヘカラサルモ概シテ之ヲ言ヘハ謹嚴ナル方ニ有之妾二三人ヲ蓄フル者アルモ醜聲ノ外ニ洩ル、コトナキ由ニ候

土民ニ對スル蘭國官民ノ態度右ノ如クナル以上土民ノ之ヲ嫌忌スルハ免カルヘカラサル數ニ有之小官ノ親シク語ヲ交ヘタル者ニシテ是等ノ問題ニ觸レタルハ皆先ツ賦課ノ過重ヲ訴ヘ候全然片務的ナル租稅賦役ヲ負擔スル土民ニ於テハ當然ノコトニシテ何等異トスヘキ現象ナラス唯其程度ト徵收方法ノミ多少參考ニ供シ得ヘント存シ候其額當部中行政區ヲ異ニスル毎ニ多少ノ相違アルカ如クニ有之今聞ケル處ヲ舉ゲシニ「バンジュルマシ」及其附近

人頭稅	一ケ年	三、五〇	成年男子ニシテ 勞働シ得ル者
苦力賦稅	金代納一日分	〇、七五	
街燈稅	毎月一戸	〇、二五	
街頭掃除稅	同	〇、二五	
「サムビット」附近ノ「ダイヤク」			
人頭稅	一ケ年	五、七五	同
同上	「カバラカムボン」 (村長)ノ手數料	〇、七五	同
街燈稅	一ケ年毎戸	一、八〇	
「コタパール」及附近			
人頭稅	一ケ年	五、〇〇	同
水稅	毎月毎戸	〇、二五	
「サマリンド」及附近市			
人頭稅	一ケ年	七、五〇	夫婦 一五、〇〇

右ノ外人頭稅ヲ納ムル男子ハ一ケ年二十六日若シクハ二十七日間勞働ニ服スル義務アリ其服務スヘキ勞働ノ種類ハ道路、橋梁及水路、水門ノ築造修繕、官衙番人、官吏宿泊所(「パツサン」ラハン)ト稱ス)用、軍隊雜役(雇入レ得ザル時)、村番人、政府用荷物ノ輸送、官吏服務中ノ荷物

○蘭領「ボルネオ」島東部視察報告中機密ニ渉ル事項

九十一

運搬等ニシテ今年四十一年中ノ是等ニ使用シタル日數ヲ擧ケレハ

管 區 名	勞働ニ服ス ヘキ男子數	使用シ得ヘ キ延日數	實際使用シ タル延日數
「バンジユルマシ」及附近	一九、三一六	五〇二、二一六	一二一、一一九
「マ ー タ プ ラ	一三、九七五	三六三、三五〇	二七四、九七四
「カンダシガシ	五二、一四六	一、三二九、九七六	五六四、七〇四
「ア ム シン タ イ	三二、六〇九	八四七、八三四	二八〇、〇四二
「ドウスンランデン	八、〇〇四	二〇八、一〇四	七二、六九二
「ダイヤクランデン	三、七六六	九七、九一六	六二、七六五
「サ ム ビ ッ ト	七、三〇六	一八九、九五六	一三三、〇〇八
「タ ナ ー プ ム プ	八、五二二	二二一、五七二	九三、三六九
「コ ー タ イ」其他	七六四	一九、八六四	一四、二八八
合 計	一四五、四〇八	三、七八〇、六〇八	一、五〇七、九六一

右ノ表中勞働ニ服スヘキ男子數ハ各管區中蘭政府ノ直轄下ニ在ル人口ノ多少ヲ示スモノニ候而シテ此強制勞働ハ懈怠ナル土民ノ最モ苦痛トスル處ニシテ殊ニ土民ニ臨ムコト嚴酷ナル蘭國官吏及之カ意ヲ受クル土人監督者等ハ就業中少許ノ怠慢ヲモ假借セス先年「バンジユルマシ」ヨリ「サムビット」ニ通スル掘割工事中其苦痛ニ堪ヘス終ニ自殺セル者アリシト云フ

尙又物納ヲ金納ニ改メタルモ土民ヲシテ苦痛ヲ感セシムルコト甚ダシキモノニシテ通シテ之ヲ言ヘハ十分一ヨリ幾分輕減セラレタルハキモ彼等ノ多クハ一定ノ勞役ニ服シテ一定ノ收入ヲ樂シムモノニアラス性來懈怠ニシテ多少ノ金錢アル間ハ業ニ就クヲ欲セス生活ノ資盡クルニ及ンテ始メテ食料其他ノ必需品ヲ清商等ヨリ借り受ケ山澤中ニ入りテ籐又ハ護謨ヲ採集シ來リ之ヲ鬻リ清商等ニ渡シテ金數ニ代フルモノナレハ利益ノ多クハ清商等ニ收メラレ常ニ憫レムヘキ状態ニ在ル者ニ候之ニ對シテ期日ヲ限リ一定ノ税金ノ納入ヲ迫ルハ一定ノ歲入ヲ得ル利益アルト同時ニ一層の確ニ其苦痛ヲ感セシムルニ至レル次第ナルヘク思料致候

彼等自身何等ノ結果ヲ得ルコトナク右ノ如キ苦痛ヲ負ハシメラルト信スル土民カ蘭國官吏ニ對スル感情ハ又多言ヲ要セサルヘク候

支那人ニ對スル蘭國官吏ノ態度ハ茲ニ改メテ記スノ要ナカルヘキカ到ル處錮銖ノ利ヲ集ムルニ銳ニシテ簡易ナル生活ニ甘ンスル彼等ノ性情ハ勢力ノ源泉タル金錢ノ集積ヲ來タシ且其數ノ多キ當地方ニ於テ嚴タル地歩ヲ占メ孟買、アラブ等多少同地位ニ在ル者ナキニアラサルモ到底其敵ニアラス若シ之ニ政治的能力ヲ加味セハ「ボルネオ」東南部ノ如キ疾ク其ノ主權者ヲ代ヘシナルヘシ蘭國官民カ之ヲ恐ル、ノ甚タシキ惡疾ノ身ニ在ルカ如ク洵ニ其處ニシテ延ヒテ同人種ナル我國民ニ對スル猜忌トナルモ止ムヲ得サル數ナルヘク候支那人ノ當地方ニ來住セル歴史ハ頗ル古ク勿論蘭國東印度會社ノ比ニアラス唯土民カ遊牧民ノ性情ヲ傳フルカ如ク彼等ハ利ヲ逐フテ來去スル外多ク其能力ヲ示セルコトナク其居室ヲ高大ニシ多ク妻妾ヲ蓄

ヘ以テ其同輩ニ誇ルコトヲ得ハ彼等ノ能事終レリトス之ニ加フルニ「キヤアテン」「レフテナ
ント」等ノ稱號及同國人ニ對スル一部ノ支配權ヲ與ヘテ其虛榮心ヲ満足セシム多少現狀ニ慊
ラサル處アルモ利益追求ニ急ナル彼等ハ騷擾ヲ視ルコト蛇蝎ノ如クナレハ當政府力之ニ對シ
テ過重ノ稅ヲ課スルハ政策トシテ其當ヲ得タルモノナルヘク候
尙又彼等ノ内父祖ノ代ヨリ來住セル者ト新タニ渡來セル者トノ間ニ互ニ融和セサル傾向アリ
且其生兒男ナレハ必ラス辨髮セシムル習癖アルハ統治上蘭國ニ便セルコト大ナルモノト被存
候今彼等ノ負擔トシテ聞キ得タル處ヲ舉ケレハ

住居稅 最低額一ヶ年 七、五〇

所得稅 純益ノ 三步半

街燈稅 一ヶ年 七、二〇

通常歐洲人及同等者ノ倍額ニ有之住居稅ノ内ニハ家具稅ヲ含ミ多キハ二三百盾ヲ負擔スル者
アリ所得稅ハ普通各自其利得ヲ書キ出スモノナルモ支那人ニハ當局者ノ見込ニヨリテ割當ツ
ルヲ常トシ小官滞在中「バリクバベン」ニ於テ其賦課甚タ多額ナリトテ居住商民閉店ヲ決議セ
ルコト有之候其ノ最高額ハ八百五十盾ニシテ前年ノ約五倍ニ相當スル趣ニ候今其原因ヲ詳ニ
セサルモ同地ハ石油會社借地内ニ在リ商民ハ是レ必ス會社ニテ商店撲滅ヲ策セルモノナルヘ
シト中居候支那人ノ支配ニ任セル者(ソナヤイ)ト稱スル由之ニ關係セルヤ否ヤハ明ラカ
ナラサルモ支那人ノ「レフテナント」等カ當局者ノ意ヲ迎ヘ或ハ之ト協議シテ不當ノ徵收ヲナ

スハ屢耳ニスル處ニ有之土民及同待遇者ニ共通ナル内地通行券(一村ヨリ他村ニ到ルニモ每
回之ヲ要ス)ノ發給ニモ規定トシテハ拾仙ノ收入印紙ヲ貼用スルノミニシテ現ニ土民等ノ旅
行ニハ此以外ニ課セラル、コトナキモ支那人ニハ普通書記料ノ名義ヲ以テ五拾仙ヲ徵ス時ニ
ハ五盾ヲ貧ル者アリタリトノ事ニ候

金錢ニ對スル欲望盛ナル彼等カ右ノ如キ多額ノ賦課ヲ負ヒ且ツ商用上是非共必要ナル旅行ヲ
制限セラル、ナレハ如何ナル感想ヲ蘭國官吏ニ對シテ抱クカハ想見スルニ難カラスト存候
蘭國商民ハ商業上彼等ノ手ヲ經ルニアラサレハ利ヲ得ルコト能ハサル關係上表面ナリトモ好
意ヲ示シ居候是又幾分惡感ヲ緩和スルニ便利ナルカ如クニ候

第五、本邦人ニ對スル土人及支那人ノ意向

前項ニ説ケルカ如ク蘭國官吏ノ土民ニ對スル方法ハ永ク原始的狀態ヨリ脱セザリシ彼等サシ
テ痛苦ト感セシムルコト甚ダシク其現狀ヨリ免カレンコトヲ希望セシメシカ如クニ候而カモ
彼等ノ無氣力ナル自己ノ力ニテハ之ヲ如何トモスルコト能ハサルヲ知リ(千八百六十四年「バ
ンシユルマシ」王國ノ没落後時々反抗ヲ企テシモ毎ニ征服セラレ今ヤ全ク反抗ノ氣力ヲ失
ヘリ)他人ノ力ニ倚ラシコトヲ希望シテ止マス此際東方ニ於ケル帝國ノ威名ヲ耳ニスルヤ渡
リニ船ノ感ヲ以テ之ニ倚リテ幾分ノ苦ヲ免カレントスルハ事情當ニ然ルヘキ處ニ有之嘗テ遠
ク「マハカム」河上ノ蠻地ヨリ狸々「オランウーダン」ヲ「サマリンド」ノ邦人ノ許ニ送り程經テ
窃ニ彼ヲ訪ヒ來レル土人酋長アリ是非共日本ノ領地トセシコトヲ願ヒ或ハ前項ニ記セル堀割

工事中ハ五人七人手ヲ聯ネテ出テ來リ同様ノ事ヲ乞フテ止マサリシト云ヒ或ハ内地ニ於テ邦人ヲ歡待シ或ハ賣藥行商者カ成功セリト云フモ其意皆之ニ基ク小官亦親シク此希望ヲ聞ケル者ノ一人ニ候之ヲ傳聞シテ奇ナリトシ快ナリトシ或ハ事情ニ通セサル者ノ進ンテ事ヲ構ヘントスル者ヲ出スニ至ルモ無理ナラヌ次第ト存候然レトモ彼等ノ所謂不平ナルモノニ適法ナル根據アルヘキ敷上來記ス處ニ於テ已ニ明ラカナルカ如ク蘭國施政ノ巧拙ハアルヘキモ實際ニ於テハ從前ノ負擔ヨリ幾分ナリトモ輕減セルモノアリ將タ以前ニ於テハ政令施行ノ洽ネカラサリシヨリ或ハ免カレタル者ノ全ク意外ナル取立ヲ蒙ルコトアランモ以テ外間ヨリ云爲スヘキ辭柄トハナラス要スルニ簡單ナル賦課課稅ニ對スル不平ニシテ自國民ニ於テスラ免カレ難キ現象ニ屬ス又之ヲ希望スル程度ニ於テモ現狀ヲ苦痛ト感スル普通ノ傾向ニ過キサルナキヤヲ疑ハシムルモノアリ且小官ハ本邦人ノ言動カ此希望ヲ實現セシメンニ與ツテ力アリシニハ非サルヤヲ疑フ者ニ候少ナクトモ蘭國官吏ハ如斯信スル者ナル様被見受候今之ヲ日本ト當領地トノ關係ニ見ルニ右ノ如キ取ルニ足ラサル希望ノ士民間ニ在ルアリテ其事ノ傳ヘラレテ蘭國官吏ノ耳ニ入ルアリ又其際「コダワリンギン」事件(脱出ノ手引ヲナシタルハ本邦人)ノ如キ公然タル出來事アリタリトスレハ常ニ本國ノ弱小ヲ嘆ク蘭國人カ鬼胎ヲ抱クコト一層ノ深キヲ加フルハ當然ノ勢ニシテ其結果邦人ノ當方面ニ於ケル平和的發展ニ大障害ヲ與フルニ至ツテハ捨テ置クヘカラサル事態ト被存候

支那人等ハ士民ト多少趣ヲ異ニスル狀態ニ在ル者ニ候ヘハ出資ヲ得テ共同營業ニ從事セント

希望スル者アルモ將タ賦課ノ過重ニ對シ大ニ苦情ヲ述フルモ之ヲ如何セント迄ハ窮迫シ居ラサル様被見受候滞在中日貨排斥ノ檄文廻リ來リ候由ナルモ一應集會ノ上實行セサルコトニ決シ候中ニハ多少面白カラサル感想ヲ抱ク者或ハ蘭國人ノ意ヲ迎フルニ急ニシテ邦人ニ對シ冷淡ナル者ナキニアラサルヘキモ概シテ言ヘハ好意ヲ表スル者多キ様ニ候

第六、臺灣人黃清讀並ニ井上尙ニ關スル件

約二十年前福建人黃清讀ナル者アリ「バンジュルマシ」ヨリ「サマリンド」ニ來リ今モ尙ホ行ハル、カ如キ物々交換ノ法ニヨル土人貿易ニ從事シ手廣ク輸出入業ヲ營ムコト十餘年其間ニ石油ノ發見會社ノ設立等アリ巨萬ノ富ヲ作り同地唯一ノ資産家名望家トシテ蘭政府ヨリ「レフテナント」ノ職ヲ授ケラレ在留清人ノ支配ニ任セシカ去ル三十五年三月四十八歳ニシテ鬼籍ニ入レリ臺灣人、黃清讀(昨年三十五歳)ハ其甥ニシテ十五六ノ頃ヨリ實兄黃清田ト共ニ叔父ノ許ニ來リ居リ清泉死歿ノ際ハ「サマリンド」ヲ距ルコト遠カラサル「バリクバメン」ナル支店ヲ預リ居リシカ其死後最近親タル清田ハ遺子黃祝三(當時八歳)ノ後見人トシテ「サマリンド」ニ止マリ清讀ハ輸出物賣捌店タル新嘉坡支店ヲ支配シ以テ今日ニ至レリ清泉ハ多クノ債權ヲ殘セシカ現ニ存スル債權中大ナル分ニ在「タンガロ」蕃王ニ對スルモノアリ七ヶ年間產物採集ノ契約ヲ結ヒ約二萬盾ヲ豫納セシカ契約實行後二年ニシテ清泉死ス蕃王ハ當事者一方ノ死去ニヨリ契約ハ無効ニ歸シタリトシテ新タニ一英人ト契約ヲ結ヒ其採集ヲ許セルト同時ニ已納金錢額返却ノ請求ニ對シ當事者ナラサル者ニ返付ノ義務ナシトテ之ヲ拒ミタル由ニ候其他

ノ債權合計約二十萬盾ニ達スル由是等債權ノ取立ニ對シ元新嘉坡領事館雇井上尙ハ「ローヤ
ー」(サマリンダ)副理事官ノ言ニヨル)トシテ邦語ヲ解スル臺灣人孫龍門ヲ從カヘ黃清讀ト共
ニ昨年六月「サマリンダ」ニ到リ候其意蓋シ本邦人ノ助力ニヨリテ見込ナキ債權ノ回收ヲ得ン
トスルニ在リ同地著後井上ハ屢副理事官及裁判官ニ對シ黃清讀ノ日本人ナルヲ幾回トナク繰
返シタルモ何等別段ノ効果ナカリシ由ニ候小官同地ニ到著ノ際ハ同人ハ「バタビヤ」領事館ニ
出頭スヘキ命令ニ接シタリト僞ハリ同地ヲ去レル後ナリシカ在留邦人ハ舉ツテ井上カ領事館
員ト稱シ清人ト共ニ亂醉シテ街路ヲ横行シ不體裁極マリナカリシヲ訴ヘ尙ホ其副理事官ヲ訪
フヤ案内ヲ乞ハスシテ同官ノ事務室(室前ニ使丁在リ)ニ入り先ツ椅子ニ倚リテ名刺ヲ出シ温
厚ナル同官ニ其ノ不禮ヲ尤メラレシト云ヒ在留歐人ハ彼カ放逐ヲ副理事官ニ要求シタルコト
アリ同官ハ響聲セシモ事端ヲ速カンコトヲ恐レテ何等ノ手段ヲ採ルコトナカリシカ日トシテ
同人ノ風評ノ歐人、邦人、清人、土人ノ各階級ヲ通シテ其口ニ上ラサルコトナカリシト訴ヘテ止
マス住民少ナク狭小ナル市ニ於テハ有リ得ヘキ事ニシテ殊ニ當地方ニ於テ重大ナル宿題タル
支那人ヲ助クルモノナルニ於テ些少ノ瑕疵ヲモ見免カサシトスルハ人情洵ニ然ルヘキコト、
存候之カ爲メ領事館員トシテ同地ニ赴ケル小官ノ迷惑ハ一方ナラス幾分カ辯疎ノ機ヲ得ント
シテ副理事官ニ面會ノ際先ツ在留邦人ニ對スル保護ノ勞ヲ謝スルト共ニ何等カ彼等ニ對シ苦
情ナキヤヲ尋ネ候モ何事モナシトテ他テ言ハス其後事ヲ以テ「ボルネオ、スマトラ」會社支配人
ヲ訪ヒシ際突如井上ノ新嘉坡領事館員ナルカヲ問ハレ一時補助員トシテ雇入レシコトアル様

承知スルモ今ハ然ラサルヲ答ヘ候ニ然ラハ彼ハ官名ヲ詐稱セル者ナリ日本政府ハ何故ニ如斯
詐欺漢ヲ罰セサルヤト難語致候小官ハ小官カ當地ニ來ル迄ハ「バタビヤ」領事館ニ於テスラ其
事實ヲ知ラス如何ソ本國政府ニ於テ之ヲ知ルコトヲ得ン若シ之ヲ事實トセハ余ハ之ヲ副領事
官ニ確メタル上本國政府ニ報告スヘント告ケ翌日暇乞旁副理事官ヲ訪ヒ糺スニ此事ヲ以テシ
タルニ同官ハ「井上ハ清國人ノ「ローヤ」トシテ來レル由ニテ S. Inouye Japanese Consulate
Singapore ト記セル名刺ヲ持參シ「チャンセロ」ナリト云ヒ屢來リテ日本人ナリ日本人ニ
關スル事件ナレハ保護アリタシト述ヘ本官ノ日本人ナル由ハ承知セリト云フニモ係ハラス實
ニ A thous and times 同一ノ言ヲ繰返セリ本官ニ於テハ日本人ナリトテ獨人、英人、佛人等
ヨリ以上ノ保護ヲナスコト能ハサレハ幾回同一事ヲ繰返サル、モ其以上施スベキ手段ナシ」
ト答ヘ候小官ハ其意ヲ了スルト共ニ彼カ一時新嘉坡領事館ニ於テ小官ノ同僚カ館務ヲ代理セ
ル内補助員トシテ使用セルコトアルモ何等政府ト關係アル者ニアラサルヲ告ケ置キ候
右黃清讀ノ臺灣人ナルヤ否ヤニ關シテハ頗ル疑フヘキモノアリ去ル二十九年以來「サマリ
ンダ」ニ在リテ雜貨店ヲ營ム本邦人ニ浦得松ハ在留ノ始メヨリ黃一家ト交際シ清讀ヲ知ル者ナ
ルカ當時既ニ彼ハ叔父ノ家ニ在リ日清戰役後幾何モナカリシ際ナレハ若シ臺灣人ナリトスレ
ハ之ヲ耳ニスヘキモ爾來嘗テ其事ナク今回井上ノ同伴スルニ至リ始メテ之ヲ聞キ頗ル驚キ怪
シミタリト云ヒ一臺灣人亦其然ラサルヲ陳フルト共ニ彼ハ新嘉坡ナル一清富豪ニシテ厚ク領
事館員ニ賄ヒ旅券ヲ得タル者ナリ彼等ノ存在ニヨリテ眞ノ臺灣人ハ大ニ迷惑ヲ蒙ルコト、ナ

○蘭領「ボルネオ」島東部視察報告中機密ニ渉ル事項
 百
 リタリト憤慨致候小官ハ其眞僞ヲ知ラサルモ右ノ次第ニ候得ハ「サマリンド」在留清國人ヲ始
 メ(若シ臺灣人ト詐稱スルコト眞ナラハ彼カ同郷人ニシテ彼ニ對シ怨ヲ有スル者モ在留シ居
 ルヘク候)長ク同地ニ住スル蘭人等ノ目スルニ臺灣人ヲ以テセス却ツテ一般臺灣人ニ下付セ
 ル帝國旅券ノ價值ヲ疑フモ決シテ無理ナラスト存候支那人問題ノ當地方ニ痛切ナル關係アル
 ハ已ニ屢々論議ヲ經タル處ニ候カ本邦人問題ト關聯スル一表題トモ見ルヘキハ副理事官ト會
 談ノ際在留本邦人間ニ共濟會ノ如キモノヲ組織スルノ議アリ小官モ之ニ賛成シ置ケリ之カ成
 立ノ曉ニハ可然保護アリタシト述ヘ候處卒然支那人ト日本人トノ會ナリヤ反問セラレ候話題
 ノ日本人ニ限ラレアルニ何等ノ聯絡モナク突然支那人ナル語點出セラレタルニハ一驚ヲ吃セ
 ルト共ニ其間ニ對スル彼等ノ疑悞ノ如何ニ深キカヲ想像スルニ足ルモノアリト思料致候

○安重根外三名ニ對スル判決

判決

韓國平安道鎮南浦 無職 安應七事 根 三十二年

韓國京城東署東大門內養士洞 煙草商 禹連俊事 禹 德 淳 三十四年

韓國咸鏡南道洪原郡景浦面 洗濯業 曹 道 先 三十八年

韓國咸鏡南道元山 無職 柳江露事 劉 東 夏 十九年

右四名ニ對スル殺人被告事件ニ付キ本院ハ審理ヲ遂ケ判決スルコト左ノ如シ

主 文
 ○安重根外三名ニ對スル判決
 百一

○安重根外三名ニ對スル判決

被告安重根ヲ死刑ニ處ス

被告禹德淳ヲ懲役參年ニ處ス

被告曹道先劉東夏ヲ各懲役壹年六月ニ處ス

押收物中被告安重根ノ所有ニ係ル拳銃壹挺、彈丸壹個、彈巢貳個、彈丸七個、(檢領特第一號ノ一、二、五、六)及ヒ被告禹德淳ノ所有ニ係ル拳銃壹挺(彈丸拾六個添)(檢領特第一號ノ十七)ハ之ヲ沒收シ其他ハ各所有者ニ還付ス

理 由

被告安重根ハ明治四十二年十月二十六日午前九時過露國東清鐵道哈爾濱停車場内ニ於テ樞密院議長公爵伊藤博文並ニ其隨行員ヲ殺害スルノ意思ヲ以テ之ニ目撃ケ其所有ニ係ル拳銃(檢領特第一號ノ一)ヲ連射シ其二彈ハ公爵ニ中リテ之ヲ死ニ致シ又隨行員タル哈爾濱總領事川上俊彦宮内大臣秘書官森泰二郎南滿洲鐵道株式會社理事事田中清次郎ニハ各一彈命中シ其手足又ハ胸部ニ銃創ヲ負ハシメタルモ三名ニ對シテハ被告ノ目的ヲ遂ケサリシモノナリ
被告禹德淳ハ被告安重根カ前項伊藤公爵ヲ殺害スルノ目的ナルコトヲ知り其犯行ヲ幫助スルノ意思ヲ以テ明治四十二年十月二十一日其所有ニ係ル拳銃(檢領特第一號ノ十七)及ヒ彈丸數個ヲ犯罪供用ノ目的ニテ携帶シ被告安重根ト共ニ露國浦鹽斯德ヲ發シテ哈爾濱ニ到リ同月二十四日共ニ南行シテ蔡家溝驛ニ赴キ同驛ハ公爵ノ通過ヲ待テ犯罪ヲ決行スルニ適當ナルヤ否ヤヲ知ル爲メ翌二十五日ニ至ルマテ同驛ノ形勢ヲ共ニ視察シ以テ安重根ノ犯罪豫備ニ加功シ

タルモノナリ

被告曹道先及劉東夏ハ前掲被告禹德淳ト同一ノ意思ヲ以テ曹道先ハ前記安重根禹德淳カ蔡家溝驛ノ形勢ヲ視察スルニ當リ哈爾濱ヨリ同行シ其途上並ニ蔡家溝驛ニ於テ同人等ノ爲メニ露語ノ通譯ヲ爲シ劉東夏ハ安重根カ同月二十四日蔡家溝驛ヨリ公爵ノ着否ヲ問合セタル電報ニ對シ哈爾濱ヨリ「明日朝來ル」トノ返電ヲ發シテ同人ヲ翌二十五日哈爾濱ニ招致シ以テ何レモ安重根ノ犯罪豫備ニ加功シタルモノナリ

以上ノ事實ハ左記ノ理由ニ依リ證據十分ナリト認ム

被告安ハ明治四十二年十月二十六日哈爾濱停車場ニ到着シタル伊藤公爵及ヒ其隨行員ヲ殺害スルノ目的ヲ以テ該停車場ニ於テ露國軍隊ノ前面ヲ通過スル一行中先頭ニ立テタル人ヲ公爵ナリト思料シ其右後方ヨリ先ツ之ニ向テ拳銃ヲ連射シ又更ニ方向ヲ轉シ後方ニ隨ヒ來レル人ニ向ヒ續キテ拳銃ヲ連射シタル處ヲ捕縛セラレタル旨ヲ自認シ

(一) 露國東清鐵道警察署長心得「ニキフオーロフ」ハ露曆十月十三日午前九時半頃伊藤公爵カ隨員ト共ニ軍隊ノ右翼ニ向ヒ通行セル時證人モ軍隊ノ後方ニテ公爵一行ニ並行シ進ミ居タルニ日本人群集中ヨリ一人ノ兇漢進ミ出テ拳銃ヲ發射シタルヲ認メ證人ハ急速突進シ兇漢ヲ取押ヘタル旨(露國國境地方裁判所始審判事「ストラーツフ」作成訊問調書記載)ヲ陳述シ

(二) 露國大藏大臣官房長「リウオーフ」ハ哈爾濱停車場ニ於テ伊藤公爵及露國大藏大臣「ヨ
○安重根外三名ニ對スル判決

「コフツエフ」ニ隨從中公爵ハ軍隊ノ前面ヲ通過シ市民ノ一團ニ到リ歩ヲ轉シテ引返シ證人モ之ニ隨ヒタルトキ數發ノ銃聲ヲ耳ニシ直チニ後方ヲ振返リタルニ公爵等ヲ目蒐ケ日本人ヲシキ一人カ發砲シ居タルヲ認メタル旨(同判事作成訊問調書記載)ヲ陳述シ

(三) 總領事川上俊彦ハ十月二十六日午前九時伊藤公爵搭乘ノ特別列車哈爾濱驛ニ到着シ露國大藏大臣ハ公爵ヲ迎フル爲メ車内ニ入り約二十五分間懇談ヲ爲シタル後公爵ハ大藏大臣ト共ニブラツトホームニ出テ整列セル露國軍隊ノ前面ヲ通過シ外國代表者ノ數人ト握手ヲ交換シ再ヒ軍隊ノ方ニ引返シ二三間ヲ進ミタリト思フ頃發銃ノ音ヲ聞キ振返リタルニ一人ノ兇漢ノ發射シ居タルヲ見受ケタリ此時證人ハ公爵ノ右側後方一步位ノ處ヲ進ミ居リ恰モ公爵ト兇漢トノ中間ノ位置ニ在リテ爲メニ右手ニ一彈ヲ被リ負傷シタル旨(檢察官作成訊問調書記載)ヲ陳述シ

(四) 式部官古谷久綱ハ十月二十六日午前九時伊藤公爵ニ隨行シ哈爾濱ニ到着後公爵ハ露國大藏大臣ト共ニ整列セル露國軍隊ノ前面ヲ通過シ外國領事ニ挨拶シ夫レヨリ引返シ數歩ヲ進ミタルトキ洋裝シタル一人ノモノ現ハレ公爵ヲ目蒐ケ拳銃ヲ三發發射シ尙續キテ隨行員ノ一團ニ向ヒ三發發射シタリ當時公爵ハ兇漢ト僅カニ一問程ヲ隔タリシニ過キシテ爲メ公爵ハ其場ニ於テ負傷シタル旨(檢察官作成訊問調書記載)ヲ陳述シ

(五) 侍醫小山善ハ伊藤公爵ニ隨行シ哈爾濱停車場ニ到着後露國軍隊ノ前面ヲ通行中恰モ爆竹ノ如キ音ノ起ルヲ聞キ同時ニ公爵ノ負傷シタルヲ見受ケ直チニ駈付ケ看護ニ從ヒタル旨(檢察官作成訊問調書記載)ヲ陳述シ

(六) 宮内大臣秘書官森泰二郎ハ伊藤公爵ニ隨從シ哈爾濱停車場ニ到着シタル後公爵ハ露國藏相ト共ニ整列セル露國軍隊ノ前面ヲ通過シ各國代表員ト握手ヲ爲シ更ニ軍隊ノ前面ニ引返シ數歩ヲ進ミタルトキ突然洋服ヲ着シ烏打帽ヲ被リタル一人ノモノ群衆中ヨリ現ハレ公爵ノ背後ニ逼リ恰モ川上總領事ノ右側ニ出テ拳銃ヲ以テ公爵ノ右側ヨリ數發狙撃シタリ隨行員ハ直チニ此急變ヲ知り公爵ヲ列車内ニ助ケ入レ其負傷ノ看護ニ從ヒタリ而シテ證人モ其際左肩胛部ニ貫通銃創ヲ負ヒ川上總領事田中理事モ亦負傷シタル旨(東京地方裁判所檢事作成聽取書記載)ヲ陳述シ

(七) 南滿洲鐵道株式會社理事田中清次郎ハ伊藤公爵ノ隨行員ニ加リ哈爾濱停車場ニ到着シ下車シタルニ公爵ハ外國代表員ノ處ニテ握手ノ交換ヲ爲シ引返シテ再ヒ露國軍隊ノ前面ニ達シタルトキ一人ノ者出テ來リ發銃スルヲ見受ケタリ其時證人ハ公爵ヨリ遠ク後方ニ在リテ兇漢トノ間モ四五間ヲ隔テ居タルニ兇漢ハ更ニ銃身ノ方向ヲ變ヘ證人ニ向ヒ發射シ同時ニ證人ハ足部ニ負傷シテ倒レタル旨(檢察官作成訊問調書記載)ヲ陳述シ是等ノ陳述ヲ參照スルトキハ前記被告ノ自白ハ毫モ疑ヲ容ル、ノ餘地ナク加之被告ハ押收ニ係ル檢領特第一號ノ一、二、五、六、ナル拳銃(番號第二六三三三六號)彈丸彈藥ハ自己ノ所有ニシテ當時被告ノ豫備携帯シタルモノナルコトヲ自白シ露國國境地方裁判



所始審判事「ストライプ」ノ作成ニ係ル検査調査書ニハ第二六一三三六號ノブラウニング式拳銃ヲ分解検査シタルニ七個ノ彈丸ヲ裝填シ得ヘキ其彈巢ハ空虚ナルモ銃口中ニ一個ノ彈丸裝填シテ其銃身ハ火藥ノ硝煙ヲ以テ汚レタル旨記載シテ又押收ノ藥莢七個(檢領特第一號ノ三)ニ存在スル所ヲ以テ之ヲ觀レハ被告カ當時發射シタル數ハ七彈ナルコト明白ナリトス而シテ其中三彈ハ伊藤公爵ニ中リ之ヲ死ニ致シタルコトハ

(一)露國大藏大臣「ユーロフツエ」カ伊藤公爵負傷後治療ノ效ナク終ニ薨去ノ報ニ接シタル時ハ多少ノ相違アルヘキモ公爵着驛後四十分間ヲ過キサル頃ナル旨(露國國境地方裁判所始審判事「ストライプ」作成訊問調査記載)ヲ陳述シ

(二)式部官古谷久綱侍醫小山善ハ何レモ公爵負傷後少時ニシテ薨去セラレタル旨(前顯各官訊問調査記載)ヲ陳述シ尚

(一)侍醫小山善ニ於テ公爵ノ負傷ハ第一、右上膊中央外面ヨリ射入シ右胸脇ヨリ水平ニ兩肺ヲ穿通シ左肺ニ留マル第二、右關節後面ノ外側ヨリ射入シ右胸脇ヨリ胸腹ヲ穿通シ左季助下ニ留マル第三、右上膊中央ノ外面ヲ擦過シテ上腹中央ニ射入シ腹筋中ニ留マル三個ノ銃創ニシテ第一、第二ノ創傷ハ内出血ニ因ル虚脱ヲ來シ致命ノ原因ヲ爲シタル旨(檢察官作成訊問調査記載)ヲ鑑定シタル所ニ依リ之ヲ認メ得ヘク
残り四彈ノ中三彈モ亦有効ニ發射セラレ川上總領事森秘書官田中理事ノ三名ニ各創傷ヲ負ハシメタルコトハ

(一)陸軍二等軍醫正徳岡照敬ノ鑑定書ニ川上總領事ノ負傷ハ右上膊骨折貫通銃創及右胸壁ヲ擦過銃創ニシテ治癒日數約三ヶ月ヲ要スル旨ノ記載アリ

(二)侍醫小山善ハ森秘書官ノ創傷ハ左上膊中央ヲ後方ニ貫通シ更ニ左側背部ノ軟部ヲ貫通セル銃創ニシテ治癒日數約一ヶ月ヲ要スル旨(前顯訊問調査記載)ヲ鑑定シ

(三)醫學博士尾見薰ノ鑑定書(明治四十二年十一月二十二日付)ニ田中理事ノ創傷ハ左足内顆前下方一仙迷ノ部位ヨリ外後方ニ向ヒ外顆前下方ニ仙迷ノ部ニ貫通セル銃創ニシテ治癒日數今後仍三四週間ヲ要スル旨ヲ記載シアリテ

之ニ前顯各被害者ノ供述ヲ參照シ明瞭ナリトス

被告禹ハ陰曆九月七日(十月二十日)露國浦鹽斯德ニ於テ被告安ヨリ伊藤公爵ヲ滿洲巡視ノ途ニ要シ殺害セントノ決意ヲ爲シタルコトヲ聽キ且ツ其實行ノ爲メ共ニ哈爾濱地方ニ往カンコトヲ求メテラレタルニ直ニ之ニ贊同シテ同行ヲ諾シ殺害ノ用ニ供スル目的ヲ以テ豫テ所有ノ拳銃(檢領特第一號ノ十七)ヲ携ヘ安ト共ニ翌八日浦鹽斯德ヲ出發シテ哈爾濱ニ到着シ更ニ十日通譯トシテ被告曹道先ヲ伴ヒ安ト共ニ南行シテ蔡家溝驛ニ停リタル旨ヲ自白シ此事實ハ被告安ノ全部是認スル所ナルヲミナラス被告曹モ亦安ヨリ露語ノ通譯ヲ爲スヘキ依頼ヲ受ケテ之ヲ承諾シ安、禹兩名ト共ニ陰曆九月十一日(十月二十四日)哈爾濱ヲ發シテ蔡家溝驛ニ到リタル旨ヲ自認シ又被告劉モ陰曆九月八日(十月二十一日)被告安ヨリ哈爾濱ニ赴キ露語ノ通譯ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケ「ボアラニチナヤ」ヲ出發シ安、禹兩名ト共ニ九日哈爾濱ニ着シ

親戚ナル同國人金成白方ニ三人同宿シ安禹兩名ハ被告曹ヲ伴ヒ十一日哈爾濱ヲ出發シテ南行シタル旨ヲ陳述スルヲ以テ明白ナリトス而シテ被告等カ蔡家溝ニ於テ其目的ヲ實行スルノ豫備トシテ共ニ同驛ノ情況ヲ視察シタルコトハ

(一) 被告安カ寬城子驛ニ於テ伊藤公爵ノ來着ヲ待テ事ヲ決行セント欲シタルモ旅費ニ不足シタル爲メ先ツ最近ノ列車行違驛ナル蔡家溝ニ到リ同所ニ一泊シ哈爾濱ニ歸リタル旨並ニ蔡家溝ニ到レル途上彈頭ニ十字形ノ截痕アル彈丸五六個ヲ禹ニ分配シタル旨ヲ供述シ

(二) 被告禹ニ對スル第二回訊問調書(檢察官作成)ノ記載ニ被告安ハ二人モ蔡家溝ニ居ルノ要ナシト云ヒテ十一日自分等ヲ同所ニ留メ置キ獨リ哈爾濱ニ向ヒ出發シタリトノ供述アリ

(三) 蔡家溝停車場詰軍曹「セミン」ハ露曆十月十二日(十月二十四日)正午三名ノ韓國人第三列車ニテ蔡家溝驛ニ到着シ同驛ニテ行違ノ列車アルヤヲ問ヒタルヲ以テ恰モ寬城子ヨリ第四列車ノ到着スルコトヲ告ゲタルニ三名ハ第四列車ヲ横切ラスシテ其側方ヲ迂廻シ又アラットホームニ歸來リ終ニ蔡家溝驛ニ留マリ夕方ニ至ルマテ三名共ニ停車場アラットホームヲ散步シ居リ其夜ハ同驛ニ宿泊シタリ翌十二日列車行違ノ一時間前彼等ハ共ニ停車場アラットホームニ出テ來リ第三第四列車ヲ通り抜ケ暫時互ニ相談ノ上同行者ノ一人ヲ第四列車ニ乗込マシメテ見送りタル旨(露國國境地方裁判所始審判

事「ストライプ」作成調書記載ヲ供述シ

之ヲ綜合スルトキハ是亦明白ナリト謂ハサルヲ得ス被告曹ハ安禹カ犯罪ノ豫備ヲ爲スコトヲ知ラカリシ旨抗辯スルモ被告曹ニ對スル第三回訊問調書(檢察官作成)ニハ十一日蔡家溝到着ノ後同日午後劉ニ向ヒ電報ヲ發スルニ當リ安禹ヨリ伊藤公殺害ノ目的ナルコトヲ聞キタル旨供述ノ記載アリテ單ニ此陳述ニ依ルモ被告安禹カ犯罪ヲ爲スノ情ヲ知リテ同驛ノ情況視察ヲ半途ヨリ幫助シタルコトヲ認メ得ヘキノミナラス被告禹ニ對スル第二回訊問調書(檢察官作成)ニ安ハ既ニ蔡家溝ニ至ル汽車中ニ於テ其目的ヲ曹ニ告ゲタル旨ノ供述ヲ記載シアルニ依レハ被告曹ハ蔡家溝ニ到着スルニ先タ安等ノ目的ノ存スル所ヲ知リ同人等ノ豫備行為ニ加擔シタルモノト認定ス

被告劉ハ陰曆九月十一日(十月二十四日)安等三名カ蔡家溝ニ向ケ哈爾濱ヲ出發スルニ當リ安禹ヨリ伊藤公着哈ノコトヲ電信ヲ以テ通知スヘキ旨ノ依頼ヲ受ケ之ヲ承諾シ同日午後安禹ヨリ蔡家溝ニテ待ツ若シ哈爾濱ニ來タルナラハ知ラセヨトノ電信ヲ受取りタルヲ以テ當時被告ノ間知スル所ニ基キ同日夜安ニ向ケ「明日朝來ル」トノ返電ヲ發シ爲メニ翌十二日午後安ハ哈爾濱ニ引返シ來リタル旨ヲ自白シ被告安モ亦蔡家溝ニ於テ劉ノ返電ヲ受ケタル爲メ哈爾濱ニ引返シタリト供述スルヲ以テ該自白ハ十分ニ信用スルニ足ル而シテ劉モ亦前記曹ト同一ノ抗辯ヲ爲スモ

(一) 被告劉ハ十日(十月二十二日)夜金成白宅ニ於テ安及禹カ劉ト同室ニ在リテ浦潮大東

共報社李剛ニ宛テタル書簡ヲ認メタル時其封筒ニ露文ノ表書ヲ爲サシコトヲ求メラレシ
之ヲ認メ遣リ尙翌日安等ノ出立スル前其書狀檢領第二號ノ十二ヲ郵便ニ付シ發送ス
ルニ依リヘキコトヲ依頼セラレ安ヨリ之ヲ受取りタル旨(檢察官作成第三回訊問調書記載)ヲ供
陳シ又

(子)押收ノ檢領特第一號ノ十一ナル書狀中ニ「伊哥事今月十二日寬城子發程露國鐵道總
務局ノ特送ノ特別列車ニ搭乘同日午後十一時哈爾濱ニ到着ノ趣ニ付弟等ハ曹友道先氏
ト與ニ弟ノ家眷出迎ノ爲ニ寬城子ニ赴クト稱シテ借ニ寬城子ヲ距ル我卡韓里手前ナル
某停車場ニテ之ヲ待テ事ヲ行フノ心算ニ有之(中略)事ノ成不成ハ天ニ在リ幸ニ同胞
善禱ヲ須テ助テ受ケンコトヲ伏望致候中畧」大韓獨立萬々歲ナル文詞ヲ記載シアリ
之ニ依リハ劉ハ既二十日ノ夜被告安、禹カ伊藤公ヲ殺害スルノ目的ヲ以テ翌日南行スヘキヲ
知り前記ノ如ク其出立前公ノ來否ヲ通知スヘキヲ約シ安ニ向ケ返電ヲ發シタルコト明カニシ
テ安ノ犯行ヲ幫助スルノ意思アリタルコトヲ認定スルニ足ル
以上認定シタル被告等ノ犯罪事實ニ付キ法律ヲ適用スルニ當リテハ先ツ本件ニ關シ本院方法
律上正當管轄權ヲ有スルコトヲ說明セサルヘカラス本件ノ犯罪地及ヒ被告人ノ逮捕地ハ共ニ
清國ノ領土ナリト雖モ露國東清鐵道附屬地ニシテ露國政府ノ行政治下ニ在リ然レトモ本件記
録ニ添付セル露國政府ノ廻送ニ係ル同國國境地方裁判所刑事訴訟記録ニ依リハ露國官憲ハ被
告ヲ逮捕シタル後直ニ被告ヲ審問シ尤モ迅速ニ證據ノ蒐集ヲ爲シタル上即日被告等ハ何レ

モ韓國ニ國籍ヲ有スルコト明白ナリトシ露國ノ裁判ニ附スヘカラスルモノト決定シタリ而シ
テ明治三十八年十一月十七日締結セラレタル日韓協約第一條ニ依リハ日本國政府ハ在東京外
務省ニ由リ今後韓國ノ外國ニ對スル關係及ヒ事務ヲ監理指揮スヘク日本國ノ外交代表者及領
事ハ外國ニ於ケル韓國ノ臣民及利益ヲ保護スヘシトアリ又光武三年九月十一日締結セラレタ
ル韓清通商條約第五款ニハ韓國ハ清國內ニ於テ治外法權ヲ有スルコトヲ明記セルヲ以テ右犯
罪地及逮捕地ヲ管轄スル哈爾濱帝國領事官ハ明治三十二年法律第七十號領事官ノ職務ニ關ス
ル法律ニ規定スル所ニ從ヒ本件被告等ノ犯罪ヲ審判スルノ權限アルモノト謂ハサル可ガラス
然ルニ明治四十一年法律第五十二號第三條ニハ滿洲ニ駐在スル領事官ノ管轄ニ屬スル刑事ニ
關シ國交上必要アルトキハ外務大臣ハ關東都督府地方法院ヲシテ其裁判ヲ爲サシムルコトヲ
得ト規定シアリ本件ニ在リテハ外務大臣ハ此規定ニ基キ明治四十二年十月二十七日日本院ニ裁
判ヲ移ス旨ヲ命令シタルモノナレハ即チ其命令ハ適法ニシテ之ニ依リ本院カ本件ノ管轄權ヲ
有スルコト亦明白ナリトス

被告辯護人ハ日本政府カ前顯日韓協約第一條ニ依リ外國ニアル韓國臣民ヲ保護スルハ固ト韓
國政府ノ委任ニ因ルモノナルヲ以テ領事官ハ韓國臣民ノ犯シタル犯罪ヲ處罰スルニ當リテモ
宜シク之ニ韓國政府ノ發布シタル刑法ヲ適用ス可ク帝國刑法ヲ適用スヘキモノニアラスト論
スルモ日韓協約第一條ノ趣旨ハ日本政府カ其臣民ニ對シテ有スル公權作用ノ下ニ均シク韓國
臣民ヲモ保護スルニ在ルモノト解釋スヘキニ依リ公權作用ノ一部ニ屬スル刑事法ノ適用ニ當

リ韓國臣民ヲ以テ帝國臣民ト同等ノ地位ニ置キ其犯罪ニ帝國刑法ヲ適用處斷スルハ最モ協約ノ本旨ニ協ヒタルモノト謂ハサル可ラス故ニ本院ハ本件ノ犯罪ニハ帝國刑法ノ規定ヲ適用スヘキモノニシテ韓國法ヲ適用スヘカラサルモノト判定ス

案スルニ被告安重根ノ伊藤公爵ヲ殺害シタル所爲ハ帝國刑法第九十九條ニ人ヲ殺シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役ニ處ストアルニ該當シ其川上總領事森秘書官田中理事ヲ殺害セントシテ目的ヲ遂ケザリシ各所爲ハ同法第四十三條、第四十四條、第九十九條、第二百三條、第六十八條ニ該當シ即四個ノ殺人罪ノ併合シタルモノトス然ルニ其中被告カ伊藤公爵ヲ殺害シタル行爲タルヤ其決意私憤ニ由ルモノニアラスト雖モ深謀熟慮ニ出テ且ツ嚴肅ナル警護ヲ犯シ全都知名ノ人士ノ集合セル場所ニ於テ敢行シタルモノナレハ之ニ殺人罪ノ極刑ヲ科スルヲ以テ至當ナリト認メ此所爲ニ依リ被告安重根ヲ死刑ニ處スヘキモノトス而シテ此一罪ニ付キ死刑ニ處スルヲ以テ帝國刑法第四十六條第一項ノ規定ニ從ヒ他ノ三個ノ殺人未遂罪ニ就テハ其刑ヲ科セス

被告禹德淳、曹道先、劉東夏ハ何レモ被告安重根カ伊藤公爵殺害ノ行爲ヲ補助シタルモノニシテ帝國刑法第六十二條第一項、第六十三條ニ依リ同法第九十九條ノ刑ニ照シテ減輕スヘキモノトス依テ同法第六十八條ノ規定ニ從ヒ減輕シタル刑期範圍内ニ於テ被告禹德淳ヲ懲役三年ニ處シ又被告曹道先、劉東夏ハ禹德淳ニ比シ各犯狀輕キヲ以テ最短期ナル一年六ヶ月ノ懲役ニ處スヘキモノトス

押收品中被告安重根カ犯罪ノ用ニ供シタル拳銃壹挺又其用ニ供セントシタル彈丸壹個、彈巢貳個、彈丸七個(檢領特第一號一、二、五、六)及ヒ被告禹德淳カ犯罪ノ用ニ供セントシタル拳銃壹挺、彈丸拾六個(檢領特第一號ノ十七)ハ各其所有ニ係ルヲ以テ(各被告ノ自認ニ依リ之ヲ認ム)帝國刑法第十九條第二號ニ依リ之ヲ沒收シ其他ノ押收品ハ關東州裁判事務取扱令第六十七條帝國刑事訴訟法第二百二條ニ依リ各所有者ニ還付スヘキモノトス

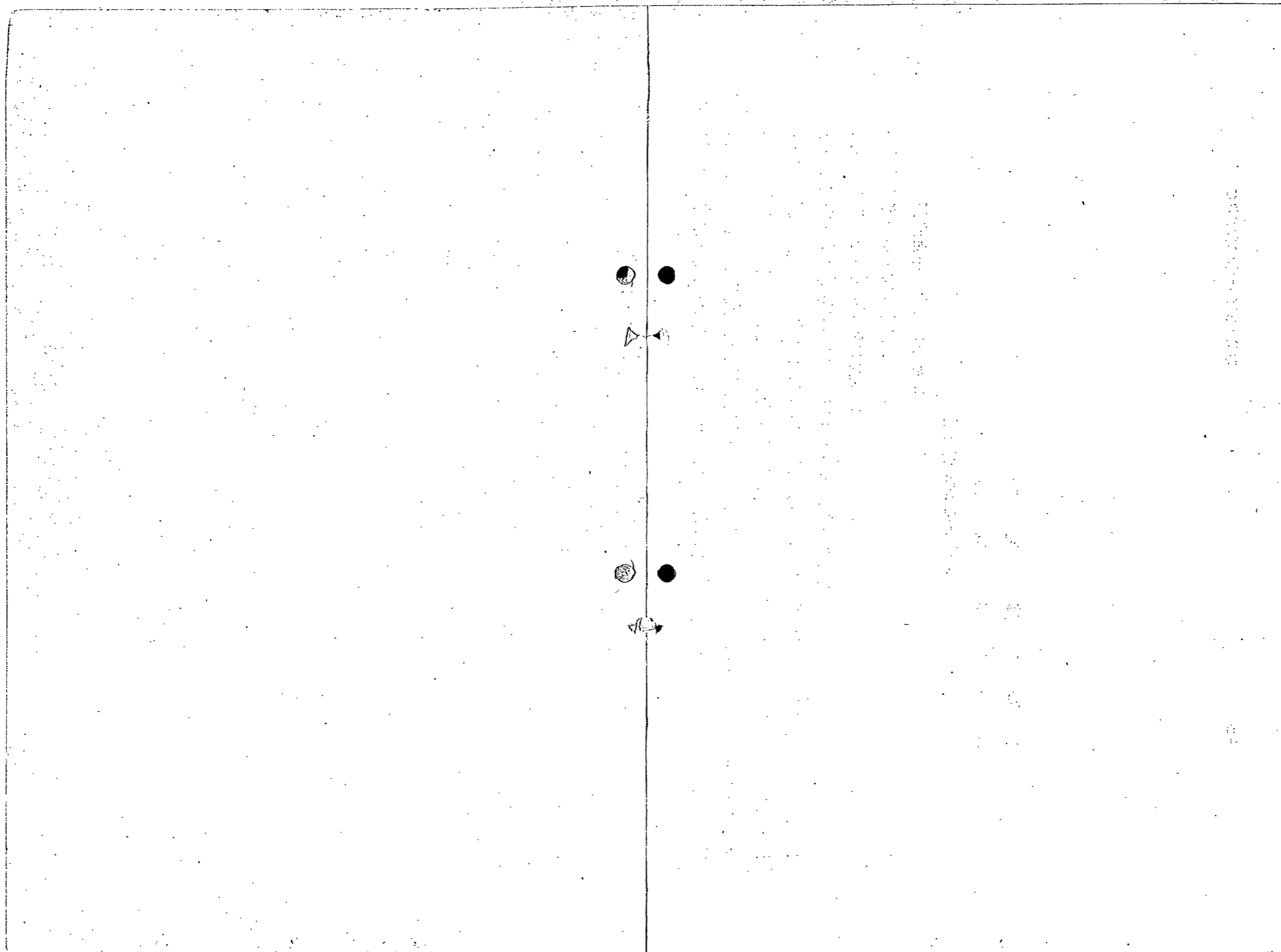
以上ノ理由ニ因リ主文ノ如ク判決ス

檢察官溝淵孝雄本件ニ干與ス

明治四十三年二月十四日

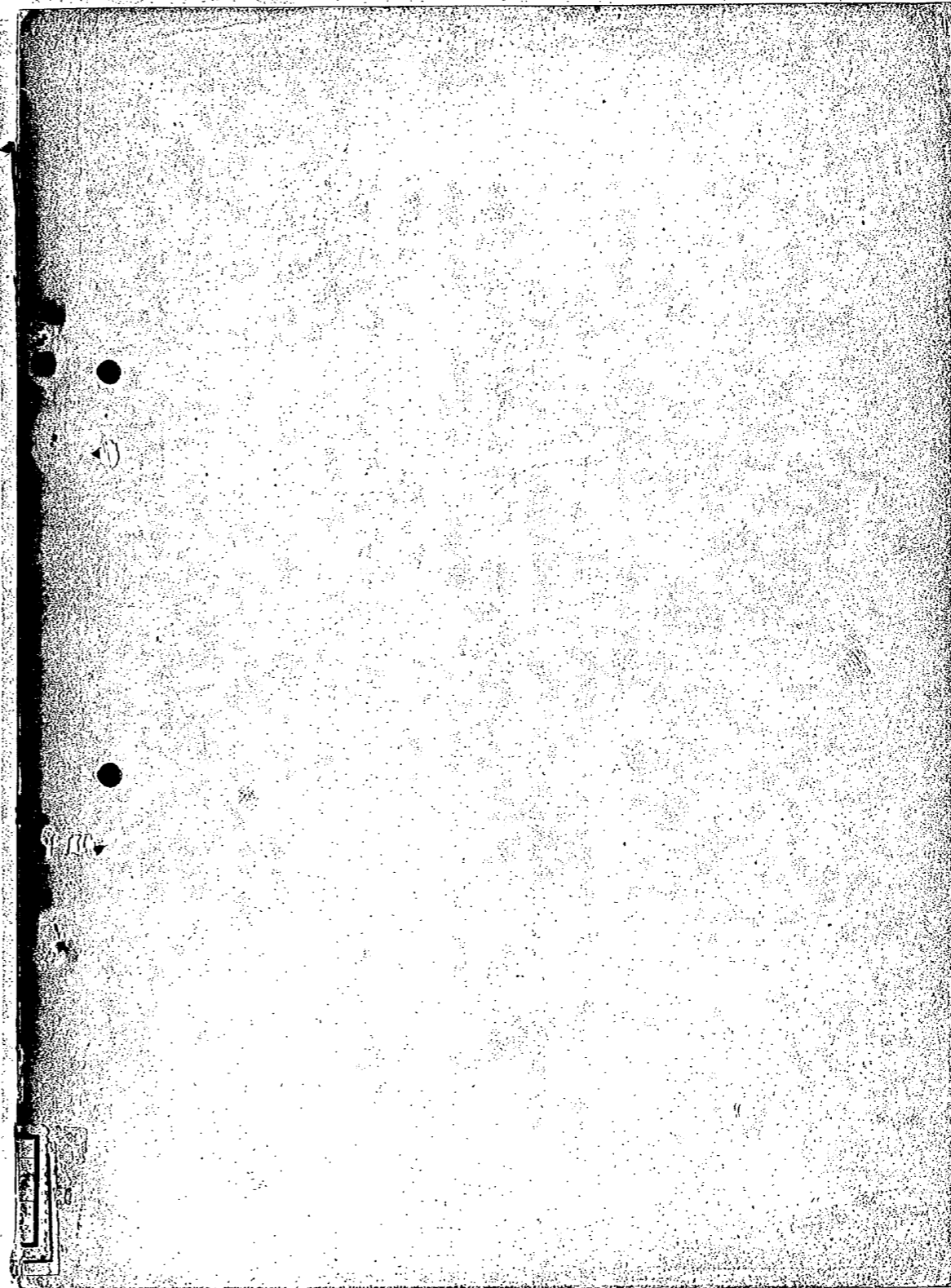
關東都督府地方法院

判 官 眞 鍋 十 藏
 書 記 渡 邊 良 一



7-0179

0186



7-0179

0187